

Society5.0の実現に関するアンケート

調査結果

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 主たる調査事項	1
3. 調査対象	1
4. 調査期間	1
5. 回答状況	1
6. 回答者のプロフィール	1
II. 調査の結果	2
セクション1. Society5.0 について.....	2
セクション2. Society5.0 にふさわしい経営のあり方について.....	11
セクション3. 研究開発の現在と今後について	23
セクション4. 社会のダイバーシティについて	35
セクション5. 生活者の幸福度に影響を与える要因について	40
セクション6. その他ご意見	41
III. アンケート調査表	42

I. 調査の概要

1. 調査の目的

政府は次世代の社会像である Society5.0 を提唱している。

これを中部圏に当てはめた場合、どのような将来像を描けるかは、中部圏にとって重大な関心事である。

そこで、会員の Society5.0 に対する認識、期待、不安、および現在から準備すべきことなどを調査する目的で、本アンケートを実施した。

2. 主たる調査事項

- ・ Society5.0 に対する認識、期待、不安および ICT が社会に及ぼす影響の認識
- ・ Society5.0 にふさわしい経営のあり方
- ・ 現在の研究開発の状況と今後の変化の方向
- ・ 会員の組織内部のダイバーシティの状況
- ・ 生活者の幸福度向上に寄与する要因

3. 調査対象

中部経済連合会の会員全数を対象

4. 調査期間

2017 年 10 月 19 日～11 月 15 日

5. 回答状況

発送先 788 に対し、回答総数 191 社 回答率:24.23%

6. 回答者のプロフィール

①産学別

産学の別	回答数	比率
産	184	96%
学	7	4%
合計	191	100%

②業種別

業種	回答数	比率
製造業	78	41%
非製造業	113	59%
合計	191	100%

※「学」は非製造業に含む

③規模（従業員数）別

従業員数	回答数	比率
300人未満	50	26%
300～1,000人未満	39	20%
1,000～5,000人未満	64	34%
5,000人以上	38	20%
合計	191	100%

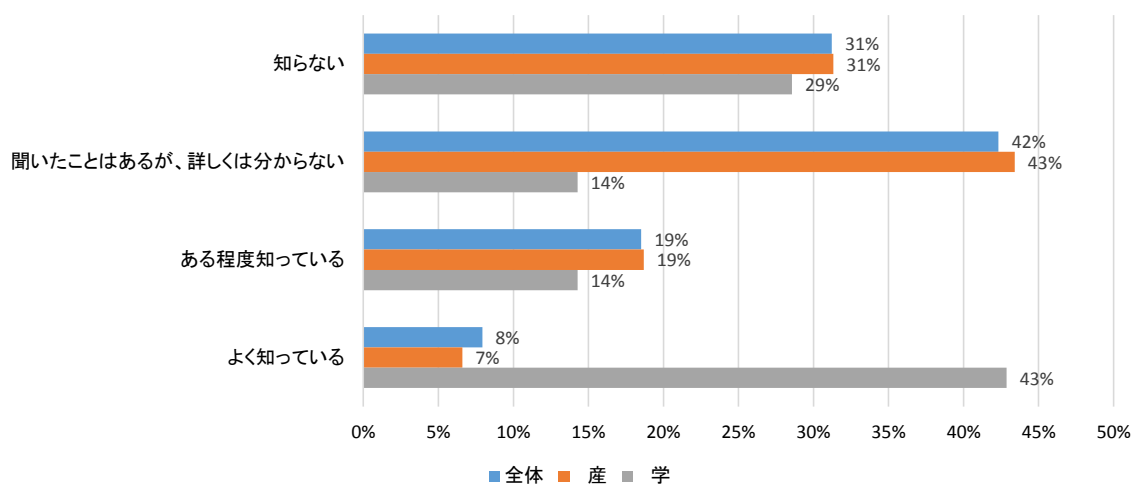
Ⅱ. 調査の結果

セクション1. Society5.0 について

問1 Society5.0 という言葉に対するご認識について、お尋ねします。該当する選択肢をお選びください。（一つだけ）

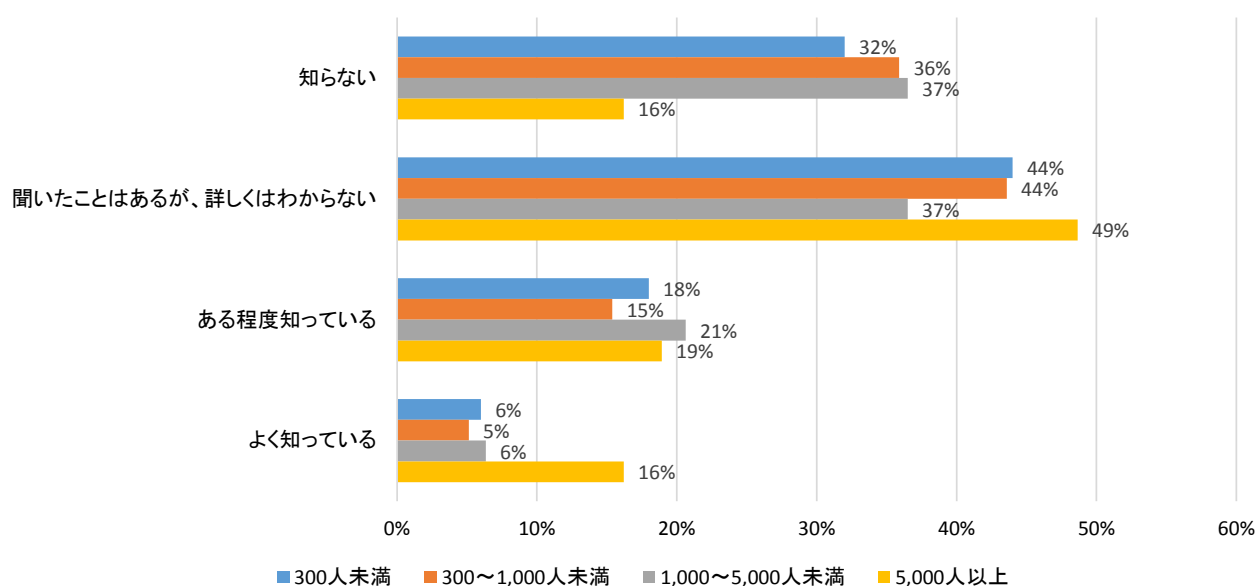
【「産」「学」共通】

	全体	産	学
知らない	31%	31%	29%
聞いたことはあるが、詳しくは分からない	42%	43%	14%
ある程度知っている	19%	19%	14%
よく知っている	8%	7%	43%



規模別

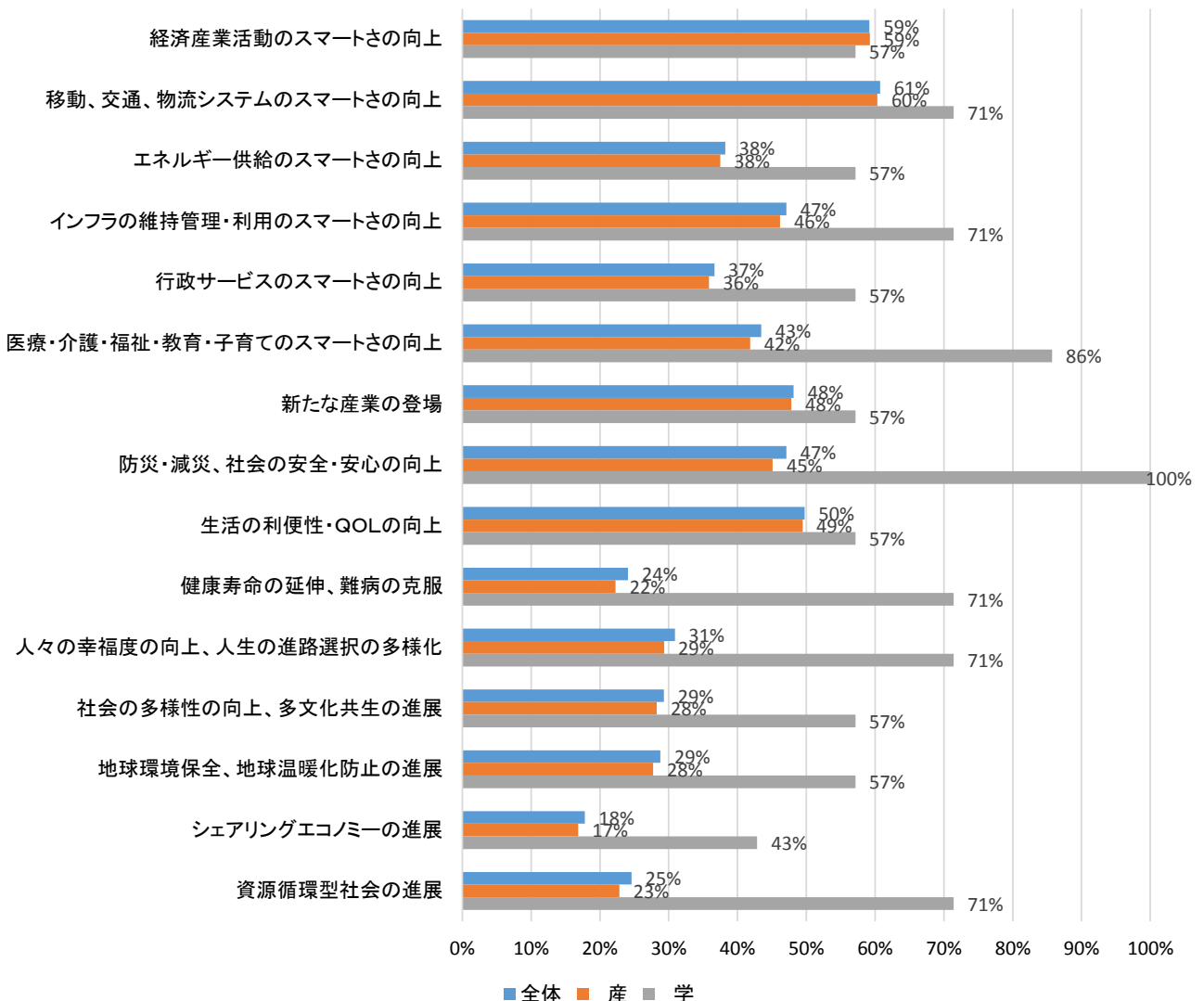
	300人未満	300～1,000人未満	1,000～5,000人未満	5,000人以上
知らない	32%	36%	37%	16%
聞いたことはあるが、詳しくは分からない	44%	44%	37%	49%
ある程度知っている	18%	15%	21%	19%
よく知っている	6%	5%	6%	16%



問2 Society5.0 に対する貴方のご期待についてお尋ねします。お考えに該当する選択肢をお選びください（いくつでも）

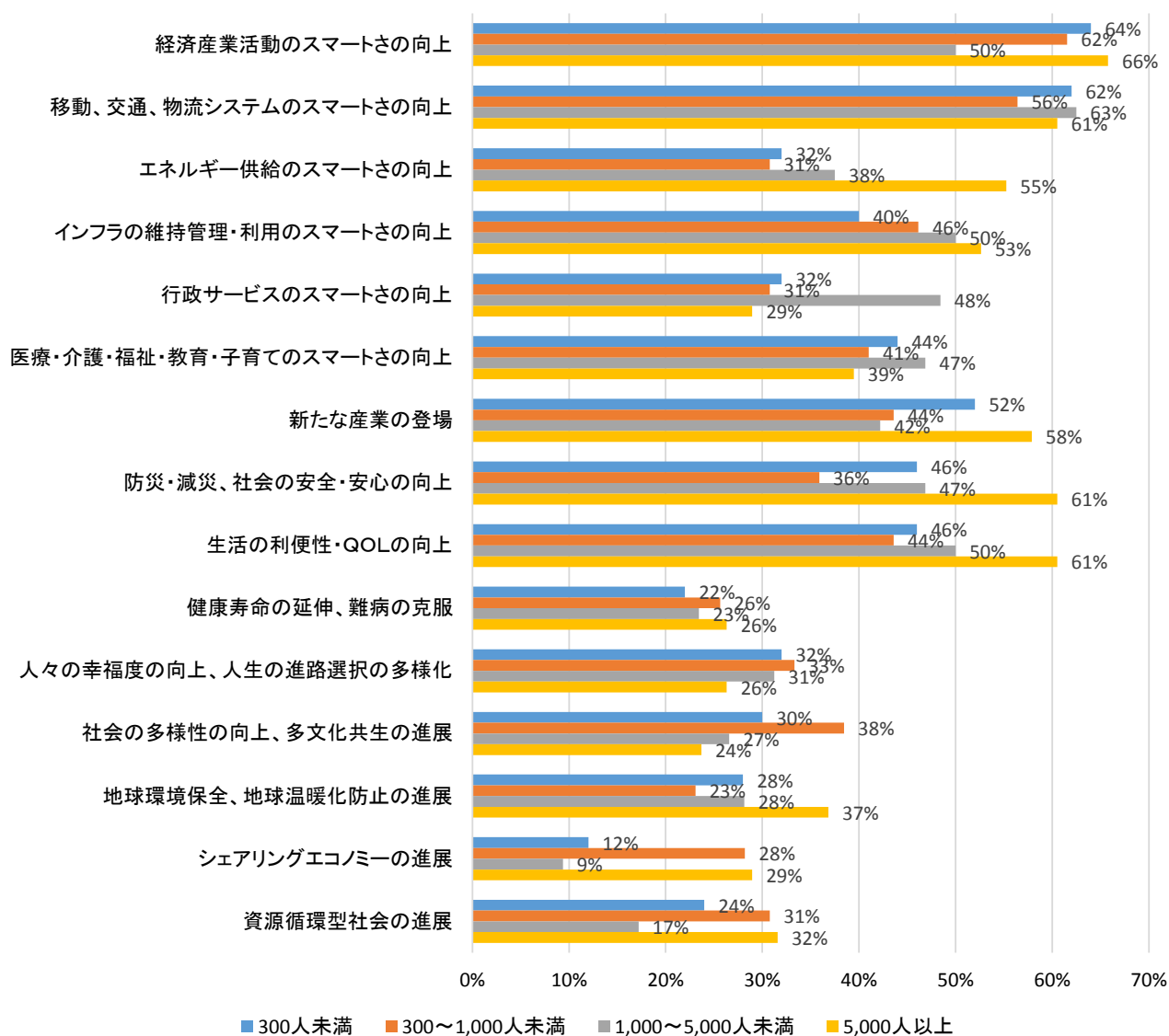
【「産」「学」共通】

	全体	産	学
経済産業活動のスマートさの向上	59%	59%	57%
移動、交通、物流システムのスマートさの向上	61%	60%	71%
エネルギー供給のスマートさの向上	38%	38%	57%
インフラの維持管理・理容のスマートさの向上	47%	46%	71%
行政サービスのスマートさの向上	37%	36%	57%
医療・介護・福祉・教育・子育てのスマートさの向上	43%	42%	86%
新たな産業の登場	48%	48%	57%
防災・減災、社会の安全・安心の向上	47%	45%	100%
生活の利便性・QOLの向上	50%	49%	57%
健康寿命の延伸、難病の克服	24%	22%	71%
人々の幸福度の向上、人生の進路選択の多様化	31%	29%	71%
社会の多様性の向上、多文化共生の進展	29%	28%	57%
地球環境保全、地球温暖化防止の進展	29%	28%	57%
シェアリングエコノミーの進展	18%	17%	43%
資源循環型社会の進展	25%	23%	71%



規模別

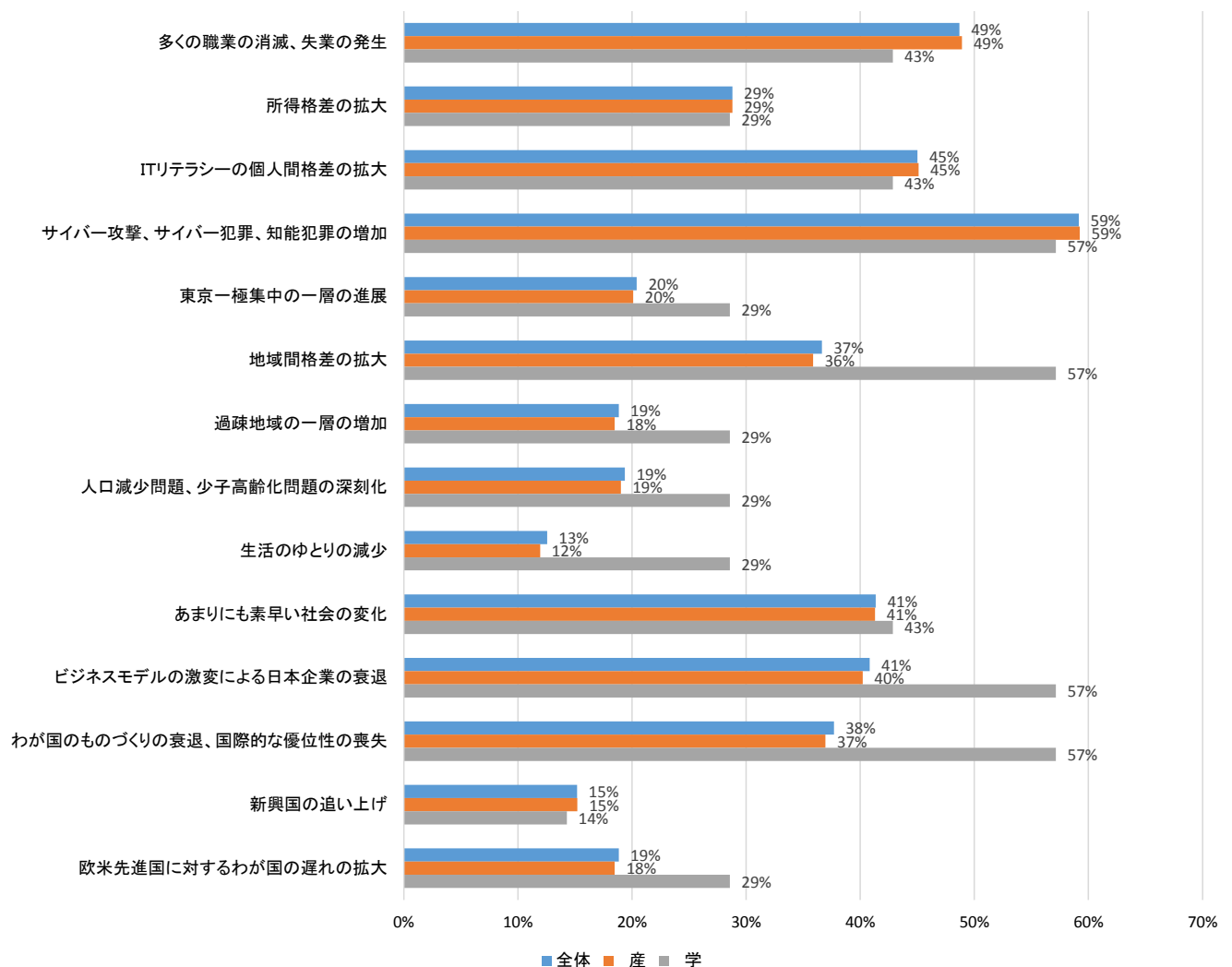
	300人未満	300～1,000人未満	1,000～5,000人未満	5,000人以上
経済産業活動のスマートさの向上	64%	62%	50%	66%
移動、交通、物流システムのスマートさの向上	62%	56%	63%	61%
エネルギー供給のスマートさの向上	32%	31%	38%	55%
インフラの維持管理・利用のスマートさの向上	40%	46%	50%	53%
行政サービスのスマートさの向上	32%	31%	48%	29%
医療・介護・福祉・教育・子育てのスマートさの向上	44%	41%	47%	39%
新たな産業の登場	52%	44%	42%	58%
防災・減災、社会の安全・安心の向上	46%	36%	47%	61%
生活の利便性・QOLの向上	46%	44%	50%	61%
健康寿命の延伸、難病の克服	22%	26%	23%	26%
人々の幸福度の向上、人生の進路選択の多様化	32%	33%	31%	26%
社会の多様性の向上、多文化共生の進展	30%	38%	27%	24%
地球環境保全、地球温暖化防止の進展	28%	23%	28%	37%
シェアリングエコノミーの進展	12%	28%	9%	29%
資源循環型社会の進展	24%	31%	17%	32%



問3 Society5.0 に対する貴方のご不安について、お尋ねします。お考えに該当する選択肢をお選びください（いくつでも）

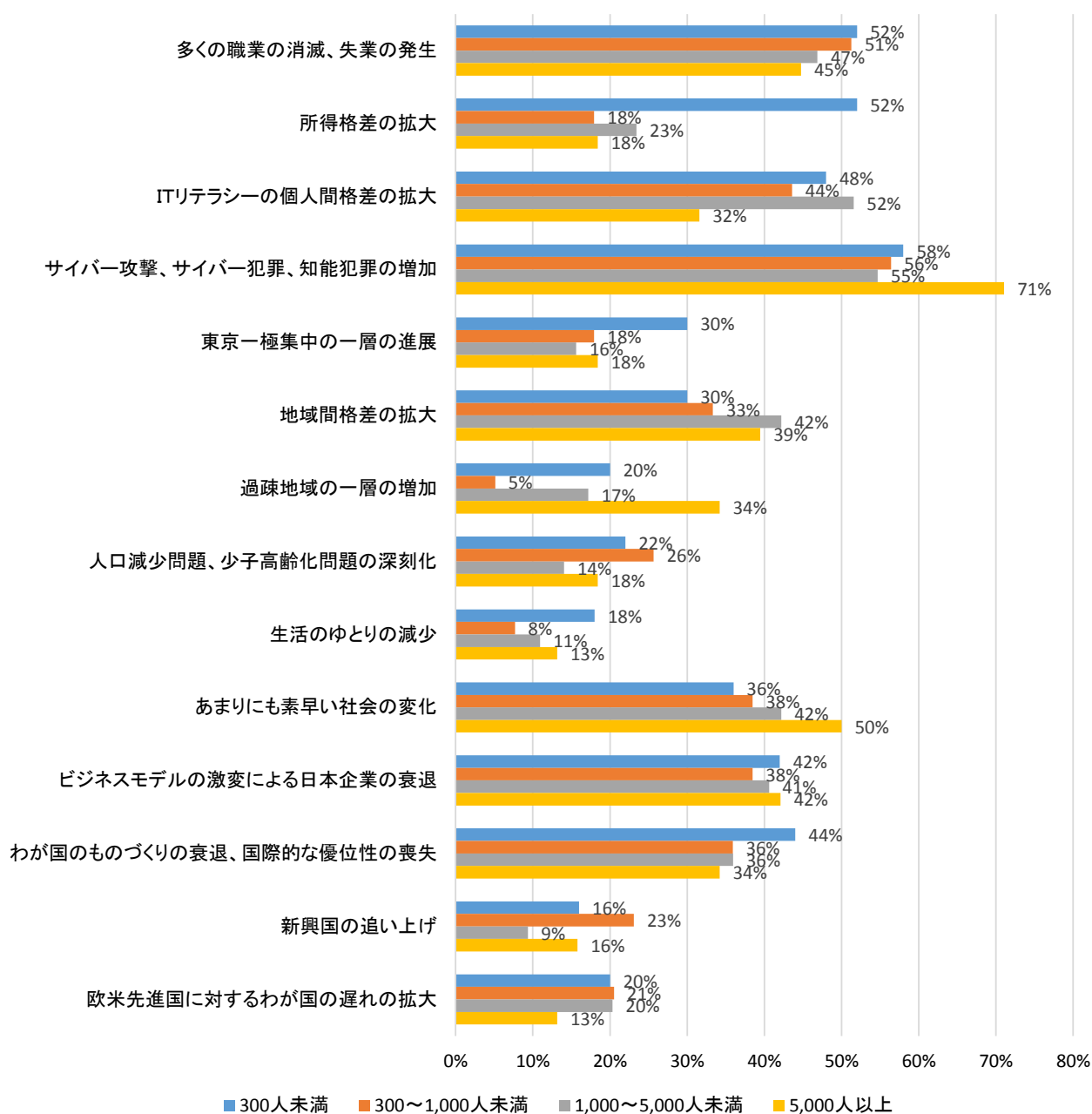
【「産」「学」共通】

	全体	産	学
多くの職業の消滅、失業の発生	49%	49%	43%
所得格差の拡大	29%	29%	29%
ITリテラシーの個人間格差の拡大	45%	45%	43%
サイバー攻撃、サイバー犯罪、知能犯罪の増加	59%	59%	57%
東京一極集中の一層の進展	20%	20%	29%
地域間格差の拡大	37%	36%	57%
過疎地域の一層の増加	19%	18%	29%
人口減少問題、少子高齢化問題の深刻化	19%	19%	29%
生活のゆとりの減少	13%	12%	29%
あまりにも素早い社会の変化	41%	41%	43%
ビジネスモデルの激変による日本企業の衰退	41%	40%	57%
わが国のものづくりの衰退、国際的な優位性の喪失	38%	37%	57%
新興国の追い上げ	15%	15%	14%
欧米先進国に対するわが国の遅れの拡大	19%	18%	29%



規模別

	300人未満	300～1,000人未満	1,000～5,000人未満	5,000人以上
多くの職業の消滅、失業の発生	52%	51%	47%	45%
所得格差の拡大	52%	18%	23%	18%
ITリテラシーの個人間格差の拡大	48%	44%	52%	32%
サイバー攻撃、サイバー犯罪、知能犯罪の増加	58%	56%	55%	71%
東京一極集中の一層の進展	30%	18%	16%	18%
地域間格差の拡大	30%	33%	42%	39%
過疎地域の一層の増加	20%	5%	17%	34%
人口減少問題、少子高齢化問題の深刻化	22%	26%	14%	18%
生活のゆとりの減少	18%	8%	11%	13%
あまりにも素早い社会の変化	36%	38%	42%	50%
ビジネスモデルの激変による日本企業の衰退	42%	38%	41%	42%
わが国のものづくりの衰退、国際的な優位性の喪失	44%	36%	36%	34%
新興国の追い上げ	16%	23%	9%	16%
欧米先進国に対するわが国の遅れの拡大	20%	21%	20%	13%

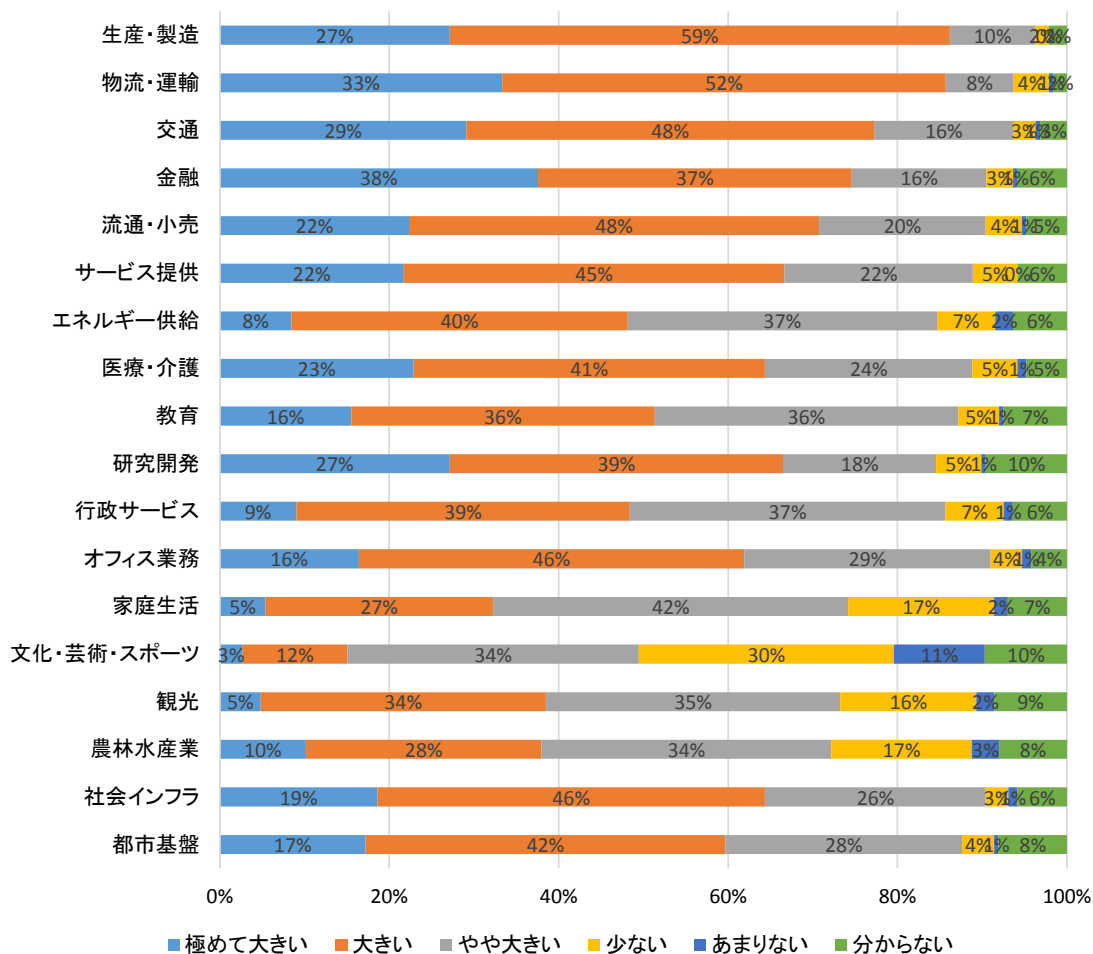


問4 ICTの一層の浸透が社会の各分野へ及ぼす影響度について、お尋ねします。

下記の表の各分野が受けると考えられる影響度について、お考えに該当する選択肢をお選びください。（いくつでも） 【「産」「学」共通】

全体

	極めて大きい	大きい	やや大きい	少ない	あまりない	分からない
生産・製造	27%	59%	10%	2%	0%	2%
物流・運輸	33%	52%	8%	4%	1%	2%
交通	29%	48%	16%	3%	1%	3%
金融	38%	37%	16%	3%	1%	6%
流通・小売	22%	48%	20%	4%	1%	5%
サービス提供	22%	45%	22%	5%	0%	6%
エネルギー供給	8%	40%	37%	7%	2%	6%
医療・介護	23%	41%	24%	5%	1%	5%
教育	16%	36%	36%	5%	1%	7%
研究開発	27%	39%	18%	5%	1%	10%
行政サービス	9%	39%	37%	7%	1%	6%
オフィス業務	16%	46%	29%	4%	1%	4%
家庭生活	5%	27%	42%	17%	2%	7%
文化・芸術・スポーツ	3%	12%	34%	30%	11%	10%
観光	5%	34%	35%	16%	2%	9%
農林水産業	10%	28%	34%	17%	3%	8%
社会インフラ	19%	46%	26%	3%	1%	6%
都市基盤	17%	42%	28%	4%	1%	8%



「産」「学」別

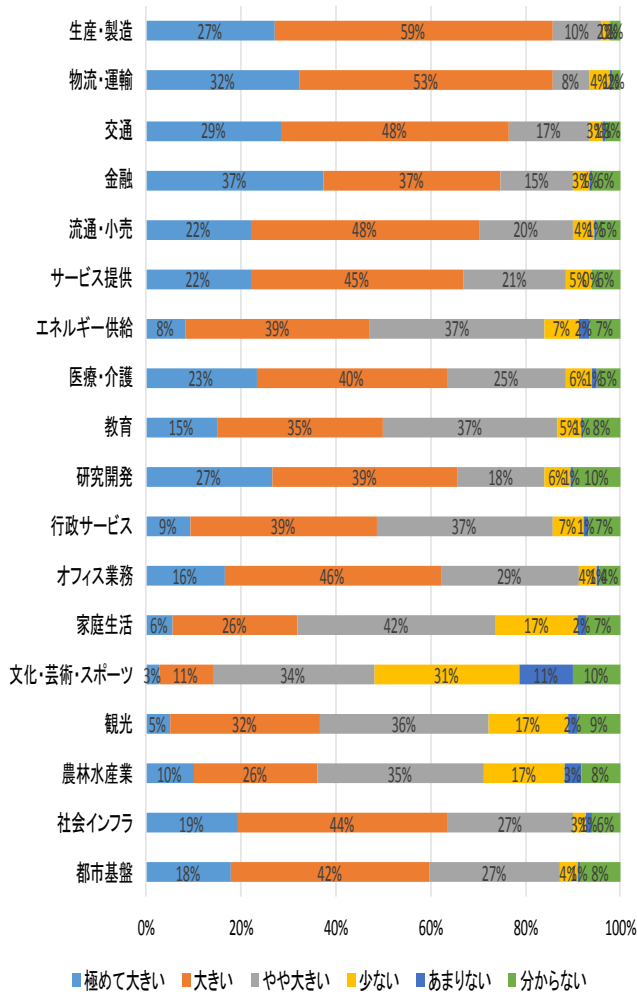
産

	極めて大きい	大きい	やや大きい	少ない	あまりない	分らない
生産・製造	27%	59%	10%	2%	0%	2%
物流・運輸	32%	53%	8%	4%	1%	2%
交通	29%	48%	17%	3%	1%	3%
金融	37%	37%	15%	3%	1%	6%
流通・小売	22%	48%	20%	4%	1%	5%
サービス提供	22%	45%	21%	5%	0%	6%
エネルギー供給	8%	39%	37%	7%	2%	7%
医療・介護	23%	40%	25%	6%	1%	5%
教育	15%	35%	37%	5%	1%	8%
研究開発	27%	39%	18%	6%	1%	10%
行政サービス	9%	39%	37%	7%	1%	7%
オフィス業務	16%	46%	29%	4%	1%	4%
家庭生活	6%	26%	42%	17%	2%	7%
文化・芸術・スポーツ	3%	11%	34%	31%	11%	10%
観光	5%	32%	36%	17%	2%	9%
農林水産業	10%	26%	35%	17%	3%	8%
社会インフラ	19%	44%	27%	3%	1%	6%
都市基盤	18%	42%	27%	4%	1%	8%

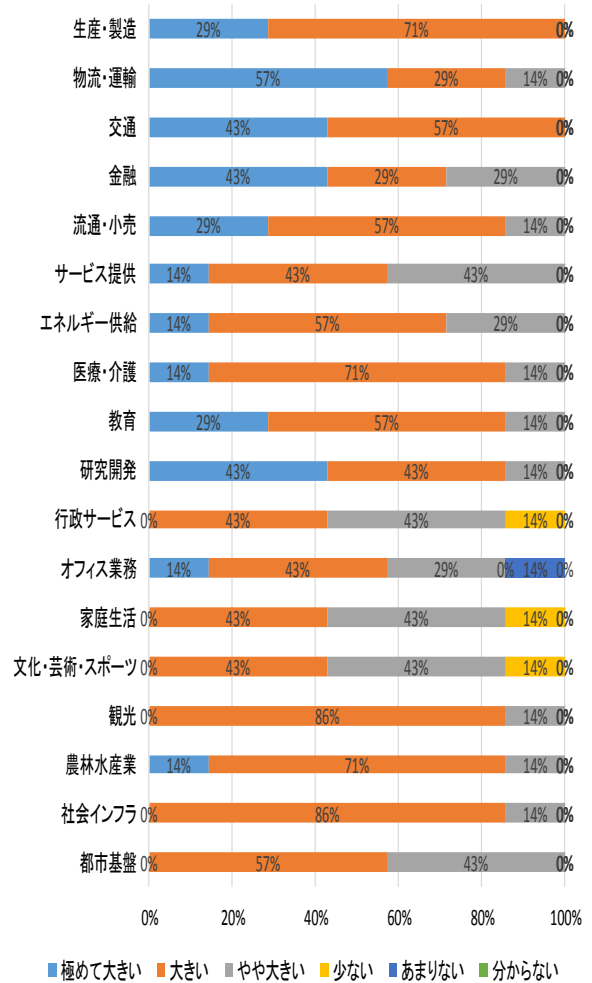
学

	極めて大きい	大きい	やや大きい	少ない	あまりない	分らない
生産・製造	29%	71%	0%	0%	0%	0%
物流・運輸	57%	29%	14%	0%	0%	0%
交通	43%	57%	0%	0%	0%	0%
金融	43%	29%	29%	0%	0%	0%
流通・小売	29%	57%	14%	0%	0%	0%
サービス提供	14%	43%	43%	0%	0%	0%
エネルギー供給	14%	57%	29%	0%	0%	0%
医療・介護	14%	71%	14%	0%	0%	0%
教育	29%	57%	14%	0%	0%	0%
研究開発	43%	43%	14%	0%	0%	0%
行政サービス	0%	43%	43%	14%	0%	0%
オフィス業務	14%	43%	29%	0%	14%	0%
家庭生活	0%	43%	43%	14%	0%	0%
文化・芸術・スポーツ	0%	43%	43%	14%	0%	0%
観光	0%	86%	14%	0%	0%	0%
農林水産業	14%	71%	14%	0%	0%	0%
社会インフラ	0%	86%	14%	0%	0%	0%
都市基盤	0%	57%	43%	0%	0%	0%

産



学



規模別

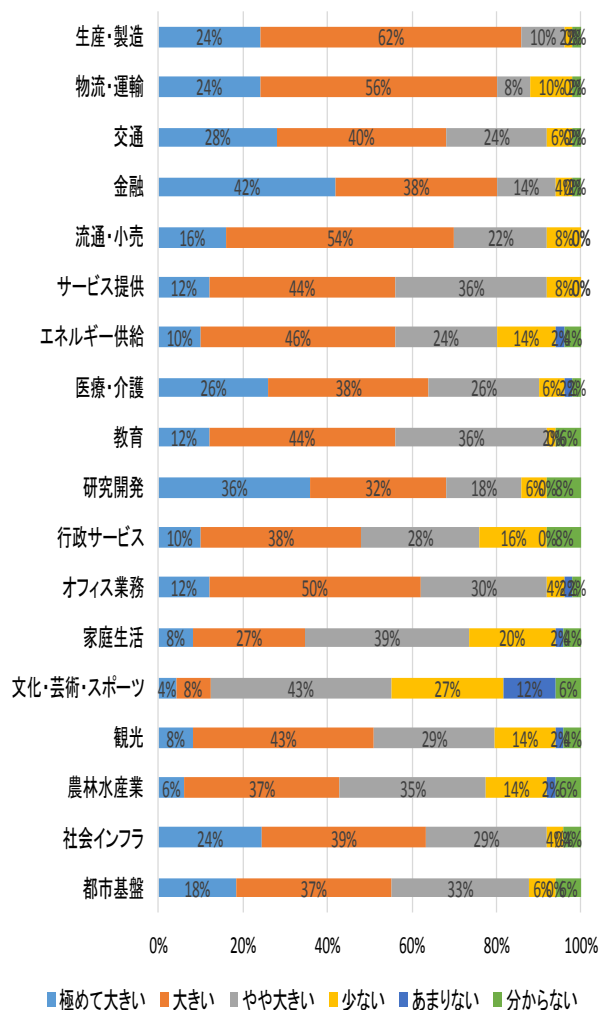
300人未満

	極めて大きい	大きい	やや大きい	少ない	あまりない	分からない
生産・製造	24%	62%	10%	2%	0%	2%
物流・運輸	24%	56%	8%	10%	0%	2%
交通	28%	40%	24%	6%	0%	2%
金融	42%	38%	14%	4%	0%	2%
流通・小売	16%	54%	22%	8%	0%	0%
サービス提供	12%	44%	36%	8%	0%	0%
エネルギー供給	10%	46%	24%	14%	2%	4%
医療・介護	26%	38%	26%	6%	2%	2%
教育	12%	44%	36%	2%	0%	6%
研究開発	36%	32%	18%	6%	0%	8%
行政サービス	10%	38%	28%	16%	0%	8%
オフィス業務	12%	50%	30%	4%	2%	2%
家庭生活	8%	27%	39%	20%	2%	4%
文化・芸術・スポーツ	4%	8%	43%	27%	12%	6%
観光	8%	43%	29%	14%	2%	4%
農林水産業	6%	37%	35%	14%	2%	6%
社会インフラ	24%	39%	29%	4%	0%	4%
都市基盤	18%	37%	33%	6%	0%	6%

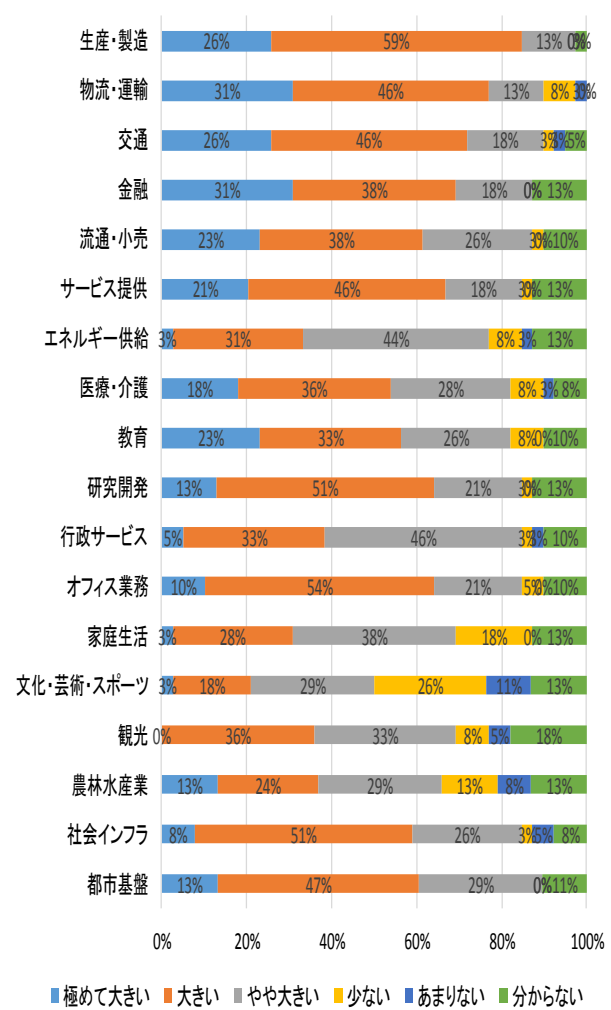
300～1,000人未満

	極めて大きい	大きい	やや大きい	少ない	あまりない	分からない
生産・製造	26%	59%	13%	0%	0%	3%
物流・運輸	31%	46%	13%	8%	3%	0%
交通	26%	46%	18%	3%	3%	5%
金融	31%	38%	18%	0%	0%	13%
流通・小売	23%	38%	26%	3%	0%	10%
サービス提供	21%	46%	18%	3%	0%	13%
エネルギー供給	3%	31%	44%	8%	3%	13%
医療・介護	18%	36%	28%	8%	3%	8%
教育	23%	33%	26%	8%	0%	10%
研究開発	13%	51%	21%	3%	0%	13%
行政サービス	5%	33%	46%	3%	3%	10%
オフィス業務	10%	54%	21%	5%	0%	10%
家庭生活	3%	28%	38%	18%	0%	13%
文化・芸術・スポーツ	3%	18%	29%	26%	11%	13%
観光	0%	36%	33%	8%	5%	18%
農林水産業	13%	24%	29%	13%	8%	13%
社会インフラ	8%	51%	26%	3%	5%	8%
都市基盤	13%	47%	29%	0%	0%	11%

300人未満



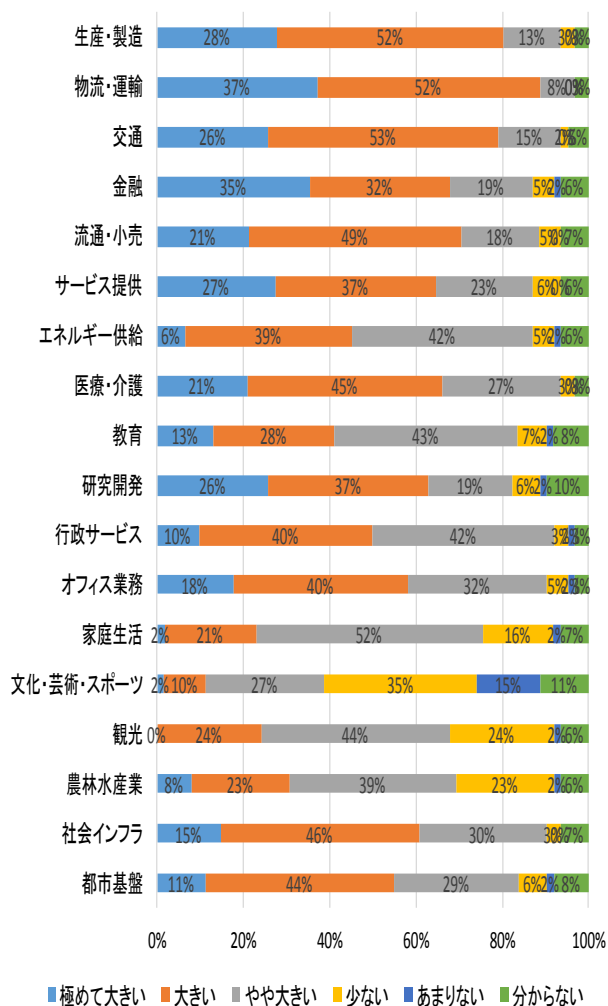
300～1,000人未満



1,000～5,000人未満

	極めて大きい	大きい	やや大きい	少ない	あまりない	分からない
生産・製造	28%	52%	13%	3%	0%	3%
物流・運輸	37%	52%	8%	0%	0%	3%
交通	26%	53%	15%	2%	0%	5%
金融	35%	32%	19%	5%	2%	6%
流通・小売	21%	49%	18%	5%	0%	7%
サービス提供	27%	37%	23%	6%	0%	6%
エネルギー供給	6%	39%	42%	5%	2%	6%
医療・介護	21%	45%	27%	3%	0%	3%
教育	13%	28%	43%	7%	2%	8%
研究開発	26%	37%	19%	6%	2%	10%
行政サービス	10%	40%	42%	3%	2%	3%
オフィス業務	18%	40%	32%	5%	2%	3%
家庭生活	2%	21%	52%	16%	2%	7%
文化・芸術・スポーツ	2%	10%	27%	35%	15%	11%
観光	0%	24%	44%	24%	2%	6%
農林水産業	8%	23%	39%	23%	2%	6%
社会インフラ	15%	46%	30%	3%	0%	7%
都市基盤	11%	44%	29%	6%	2%	8%

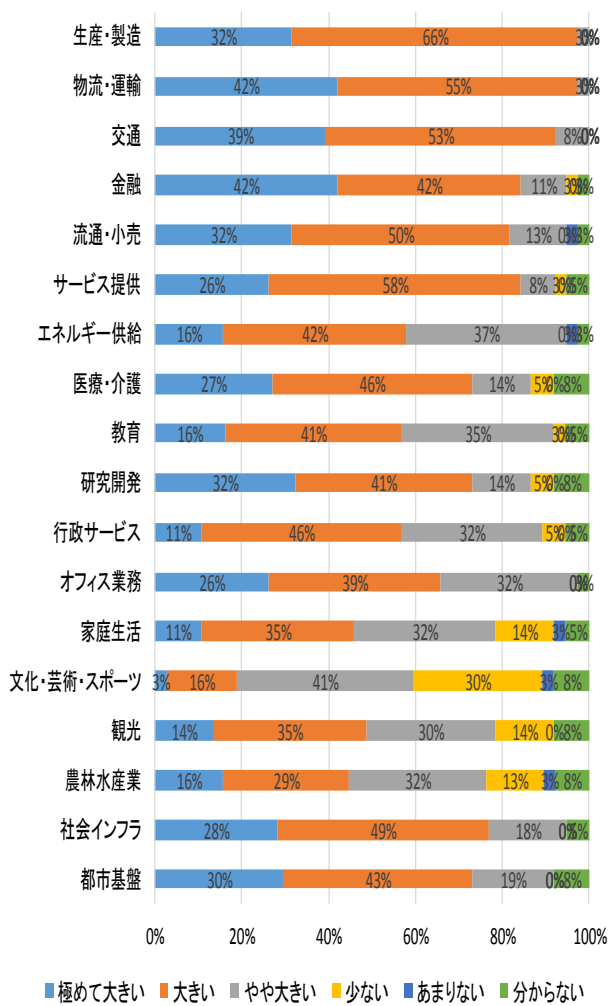
1,000～5,000人未満



5,000人以上

	極めて大きい	大きい	やや大きい	少ない	あまりない	分からない
生産・製造	32%	66%	3%	0%	0%	0%
物流・運輸	42%	55%	3%	0%	0%	0%
交通	39%	53%	8%	0%	0%	0%
金融	42%	42%	11%	3%	0%	3%
流通・小売	32%	50%	13%	0%	3%	3%
サービス提供	26%	58%	8%	3%	0%	5%
エネルギー供給	16%	42%	37%	0%	3%	3%
医療・介護	27%	46%	14%	5%	0%	8%
教育	16%	41%	35%	3%	0%	5%
研究開発	32%	41%	14%	5%	0%	8%
行政サービス	11%	46%	32%	5%	0%	5%
オフィス業務	26%	39%	32%	0%	0%	3%
家庭生活	11%	35%	32%	14%	3%	5%
文化・芸術・スポーツ	3%	16%	41%	30%	3%	8%
観光	14%	35%	30%	14%	0%	8%
農林水産業	16%	29%	32%	13%	3%	8%
社会インフラ	28%	49%	18%	0%	0%	5%
都市基盤	30%	43%	19%	0%	0%	8%

5,000人以上



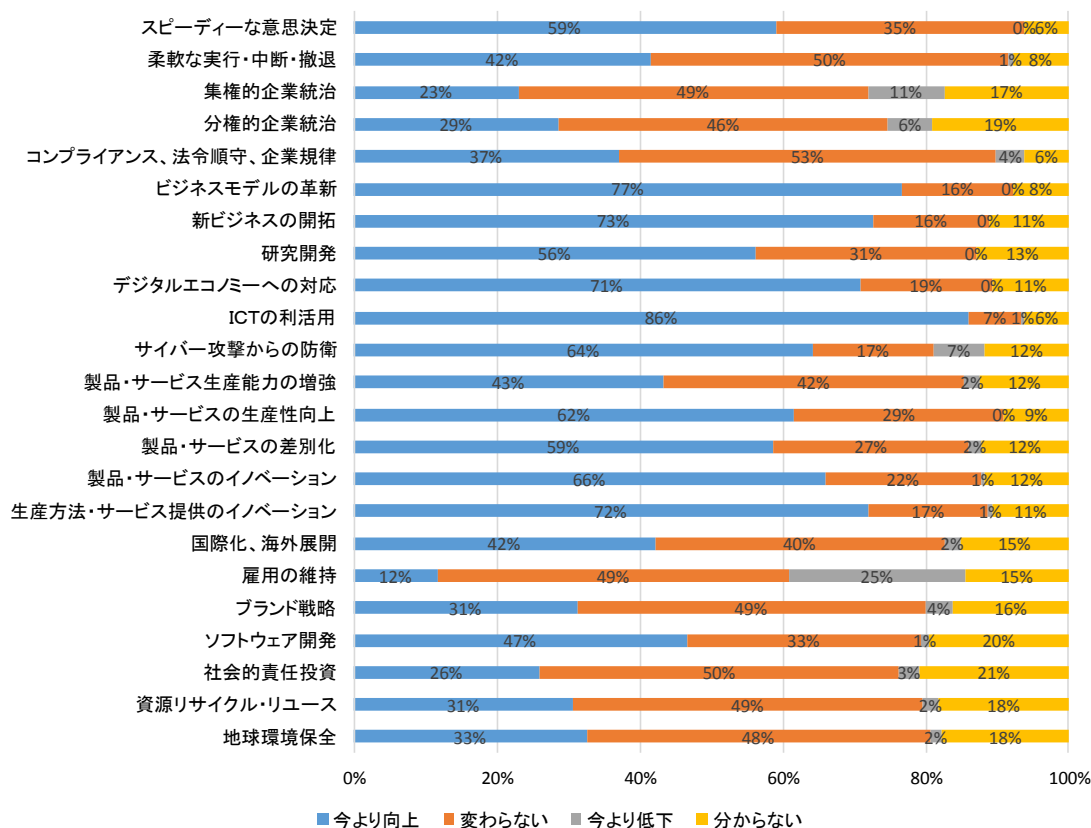
セクション2. Society5.0 にふさわしい経営のあり方について

問5 Society5.0 への移行に伴って生じる貴方の経営施策等のプライオリティーの変化について、お尋ねします。

下記の表にある各経営方針や経営施策のプライオリティーの変化方向について、お考えに該当する選択肢をお選びください。（各々につき一つだけ） 【「産」会員のみ】

全体

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
スピーディーな意思決定	59%	35%	0%	6%
柔軟な実行・中断・撤退	42%	50%	1%	8%
集権的企業統治	23%	49%	11%	17%
分権的企業統治	29%	46%	6%	19%
コンプライアンス、法令順守、企業規律	37%	53%	4%	6%
ビジネスモデルの革新	77%	16%	0%	8%
新ビジネスの開拓	73%	16%	0%	11%
研究開発	56%	31%	0%	13%
デジタルエコノミーへの対応	71%	19%	0%	11%
ICTの利活用	86%	7%	1%	6%
サイバー攻撃からの防衛	64%	17%	7%	12%
製品・サービス生産能力の増強	43%	42%	2%	12%
製品・サービスの生産性向上	62%	29%	0%	9%
製品・サービスの差別化	59%	27%	2%	12%
製品・サービスのイノベーション	66%	22%	1%	12%
生産方法・サービス提供のイノベーション	72%	17%	1%	11%
国際化、海外展開	42%	40%	2%	15%
雇用の維持	12%	49%	25%	15%
ブランド戦略	31%	49%	4%	16%
ソフトウェア開発	47%	33%	1%	20%
社会的責任投資	26%	50%	3%	21%
資源リサイクル・リユース	31%	49%	2%	18%
地球環境保全	33%	48%	2%	18%



規模別

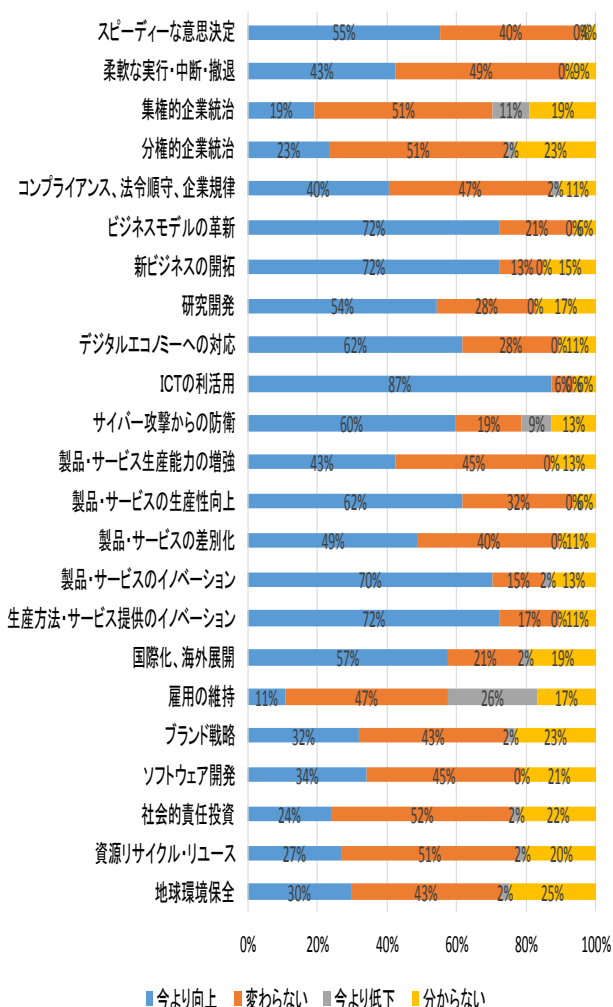
300人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
スピーディーな意思決定	55%	40%	0%	4%
柔軟な実行・中断・撤退	43%	49%	0%	9%
集権的企業統治	19%	51%	11%	19%
分権的企業統治	23%	51%	2%	23%
コンプライアンス、法令順守、企業規律	40%	47%	2%	11%
ビジネスモデルの革新	72%	21%	0%	6%
新ビジネスの開拓	72%	13%	0%	15%
研究開発	54%	28%	0%	17%
デジタルエコノミーへの対応	62%	28%	0%	11%
ICTの利活用	87%	6%	0%	6%
サイバー攻撃からの防衛	60%	19%	9%	13%
製品・サービス生産能力の増強	43%	45%	0%	13%
製品・サービスの生産性向上	62%	32%	0%	6%
製品・サービスの差別化	49%	40%	0%	11%
製品・サービスのイノベーション	70%	15%	2%	13%
生産方法・サービス提供のイノベーション	72%	17%	0%	11%
国際化、海外展開	57%	21%	2%	19%
雇用の維持	11%	47%	26%	17%
ブランド戦略	32%	43%	2%	23%
ソフトウェア開発	34%	45%	0%	21%
社会的責任投資	24%	52%	2%	22%
資源リサイクル・リユース	27%	51%	2%	20%
地球環境保全	30%	43%	2%	25%

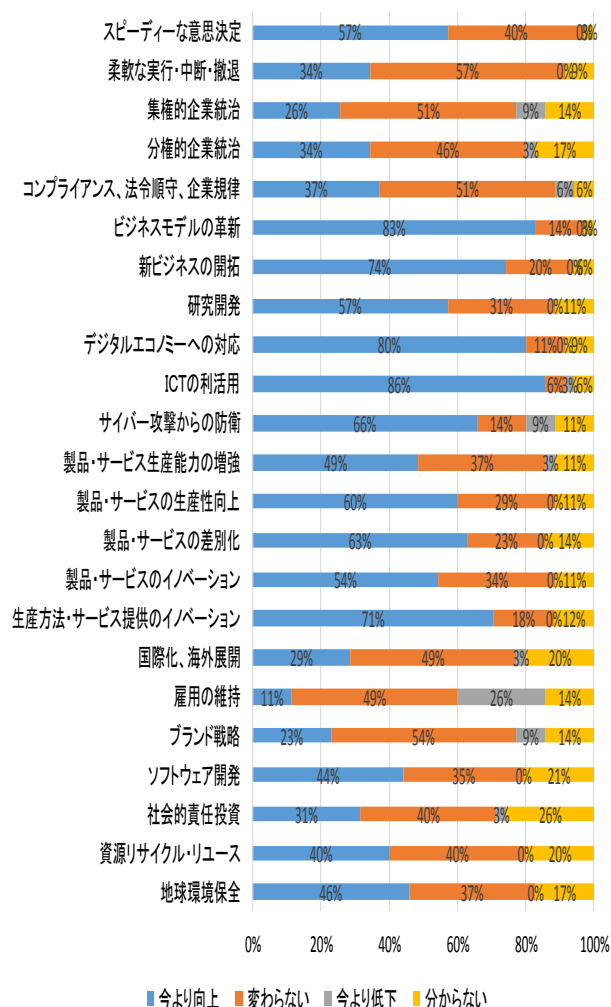
300～1,000人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
スピーディーな意思決定	57%	40%	0%	3%
柔軟な実行・中断・撤退	34%	57%	0%	9%
集権的企業統治	26%	51%	9%	14%
分権的企業統治	34%	46%	3%	17%
コンプライアンス、法令順守、企業規律	37%	51%	6%	6%
ビジネスモデルの革新	83%	14%	0%	3%
新ビジネスの開拓	74%	20%	0%	6%
研究開発	57%	31%	0%	11%
デジタルエコノミーへの対応	80%	11%	0%	9%
ICTの利活用	86%	6%	3%	6%
サイバー攻撃からの防衛	66%	14%	9%	11%
製品・サービス生産能力の増強	49%	37%	3%	11%
製品・サービスの生産性向上	60%	29%	0%	11%
製品・サービスの差別化	63%	23%	0%	14%
製品・サービスのイノベーション	54%	34%	0%	11%
生産方法・サービス提供のイノベーション	71%	18%	0%	12%
国際化、海外展開	29%	49%	3%	20%
雇用の維持	11%	49%	26%	14%
ブランド戦略	23%	54%	9%	14%
ソフトウェア開発	44%	35%	0%	21%
社会的責任投資	31%	40%	3%	26%
資源リサイクル・リユース	40%	40%	0%	20%
地球環境保全	46%	37%	0%	17%

300人未満



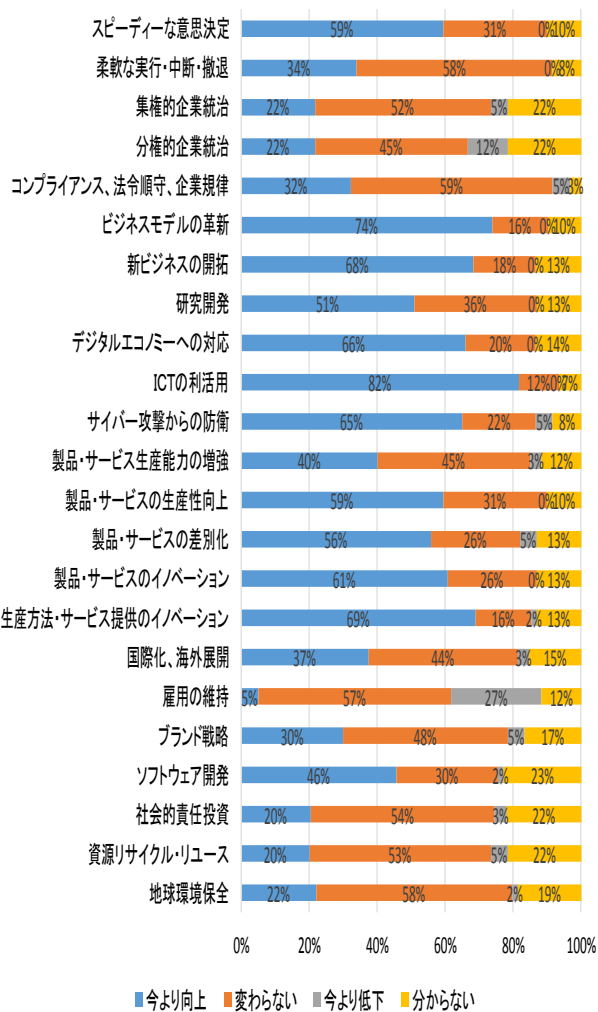
300～1,000人未満



1,000～5,000人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
スピーディーな意思決定	59%	31%	0%	10%
柔軟な実行・中断・撤退	34%	58%	0%	8%
集権的企業統治	22%	52%	5%	22%
分権的企業統治	22%	45%	12%	22%
コンプライアンス、法令順守、企業規律	32%	59%	5%	3%
ビジネスモデルの革新	74%	16%	0%	10%
新ビジネスの開拓	68%	18%	0%	13%
研究開発	51%	36%	0%	13%
デジタルエコノミーへの対応	66%	20%	0%	14%
ICTの利活用	82%	12%	0%	7%
サイバー攻撃からの防衛	65%	22%	5%	8%
製品・サービス生産能力の増強	40%	45%	3%	12%
製品・サービスの生産性向上	59%	31%	0%	10%
製品・サービスの差別化	56%	26%	5%	13%
製品・サービスのイノベーション	61%	26%	0%	13%
生産方法・サービス提供のイノベーション	69%	16%	2%	13%
国際化、海外展開	37%	44%	3%	15%
雇用の維持	5%	57%	27%	12%
ブランド戦略	30%	48%	5%	17%
ソフトウェア開発	46%	30%	2%	23%
社会的責任投資	20%	54%	3%	22%
資源リサイクル・リユース	20%	53%	5%	22%
地球環境保全	22%	58%	2%	19%

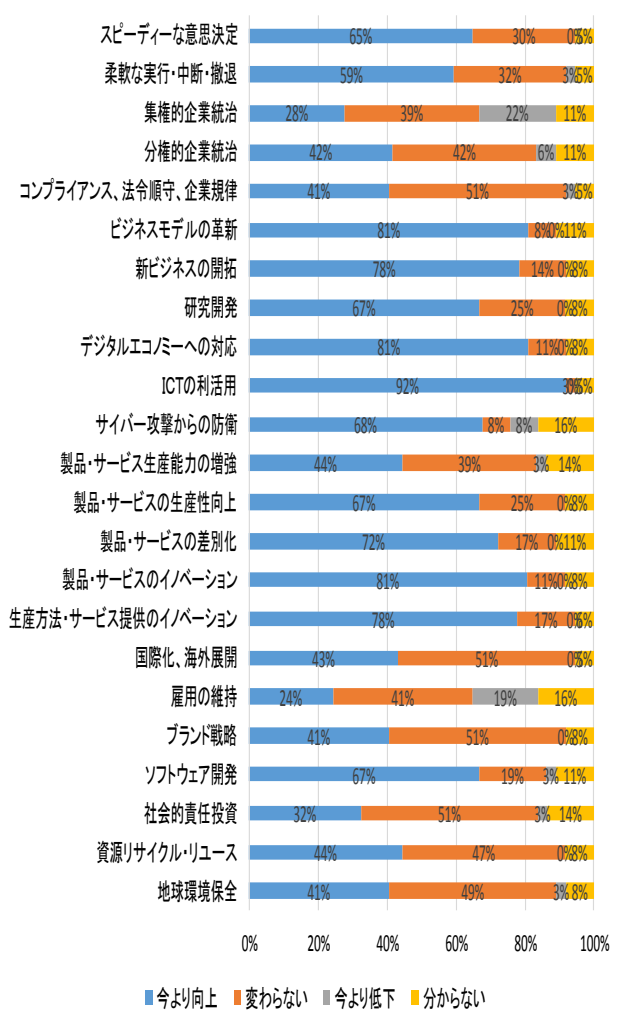
1,000～5,000人未満



5,000人以上

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
スピーディーな意思決定	65%	30%	0%	5%
柔軟な実行・中断・撤退	59%	32%	3%	5%
集権的企業統治	28%	39%	22%	11%
分権的企業統治	42%	42%	6%	11%
コンプライアンス、法令順守、企業規律	41%	51%	3%	5%
ビジネスモデルの革新	81%	8%	0%	11%
新ビジネスの開拓	78%	14%	0%	8%
研究開発	67%	25%	0%	8%
デジタルエコノミーへの対応	81%	11%	0%	8%
ICTの利活用	92%	3%	0%	5%
サイバー攻撃からの防衛	68%	8%	8%	16%
製品・サービス生産能力の増強	44%	39%	3%	14%
製品・サービスの生産性向上	67%	25%	0%	8%
製品・サービスの差別化	72%	17%	0%	11%
製品・サービスのイノベーション	81%	11%	0%	8%
生産方法・サービス提供のイノベーション	78%	17%	0%	6%
国際化、海外展開	43%	51%	0%	5%
雇用の維持	24%	41%	19%	16%
ブランド戦略	41%	51%	0%	8%
ソフトウェア開発	67%	19%	3%	11%
社会的責任投資	32%	51%	3%	14%
資源リサイクル・リユース	44%	47%	0%	8%
地球環境保全	41%	49%	3%	8%

5,000人以上



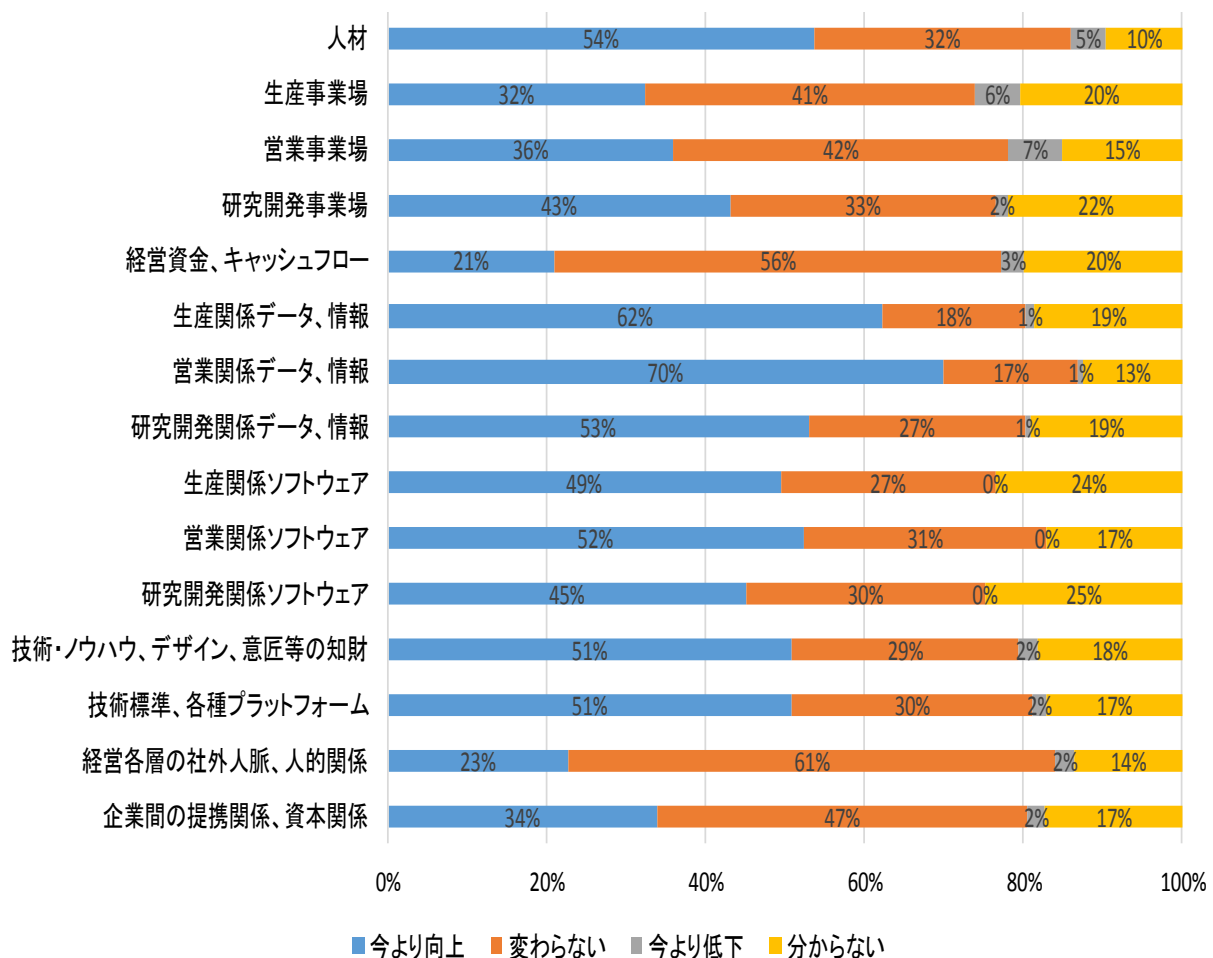
問6 Society5.0 への移行に伴って生じる貴方の経営資源のプライオリティーの変化について、お尋ねします。

下記の表にある経営資源のプライオリティーの変化方向について、お考えに該当する選択肢をお選びください。（各々につき一つだけ）

【「産」会員のみ】

全体

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
人材	54%	32%	5%	10%
生産事業場	32%	41%	6%	20%
営業事業場	36%	42%	7%	15%
研究開発事業場	43%	33%	2%	22%
経営資金、キャッシュフロー	21%	56%	3%	20%
生産関係データ、情報	62%	18%	1%	19%
営業関係データ、情報	70%	17%	1%	13%
研究開発関係データ、情報	53%	27%	1%	19%
生産関係ソフトウェア	49%	27%	0%	24%
営業関係ソフトウェア	52%	31%	0%	17%
研究開発関係ソフトウェア	45%	30%	0%	25%
技術・ノウハウ、デザイン、意匠等の知財	51%	29%	2%	18%
技術標準、プラットフォーム	51%	30%	2%	17%
経営各層の社外人脈、人的関係	23%	61%	2%	14%
企業間の提携関係、資本関係	34%	47%	2%	17%

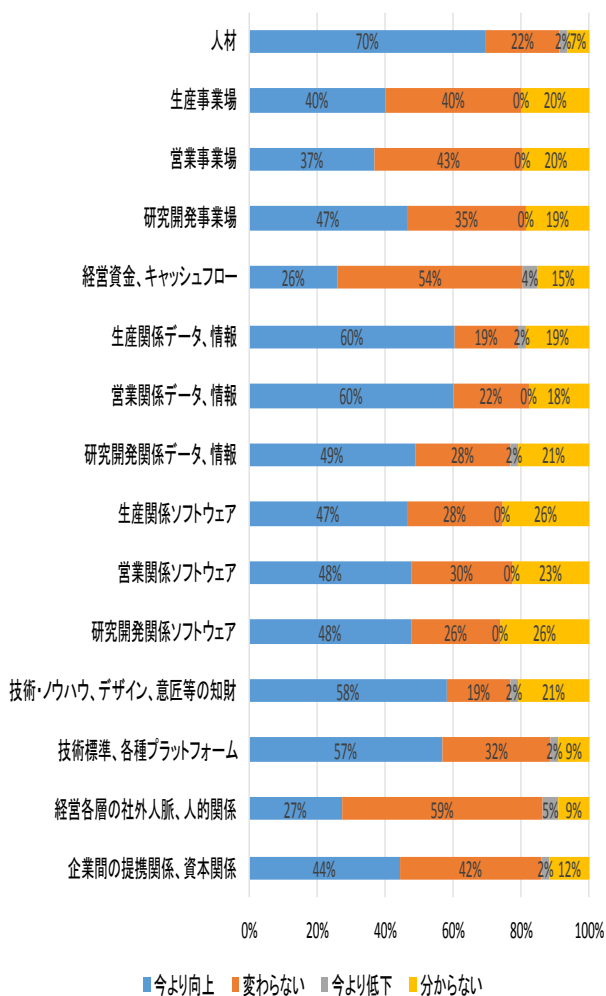


規模別

300人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
人材	70%	22%	2%	7%
生産事業場	40%	40%	0%	20%
営業事業場	37%	43%	0%	20%
研究開発事業場	47%	35%	0%	19%
経営資金、キャッシュフロー	26%	54%	4%	15%
生産関係データ、情報	60%	19%	2%	19%
営業関係データ、情報	60%	22%	0%	18%
研究開発関係データ、情報	49%	28%	2%	21%
生産関係ソフトウェア	47%	28%	0%	26%
営業関係ソフトウェア	48%	30%	0%	23%
研究開発関係ソフトウェア	48%	26%	0%	26%
技術・ノウハウ、デザイン、意匠等の知財	58%	19%	2%	21%
技術標準、プラットフォーム	57%	32%	2%	9%
経営各層の社外人脈、人的関係	27%	59%	5%	9%
企業間の提携関係、資本関係	44%	42%	2%	12%

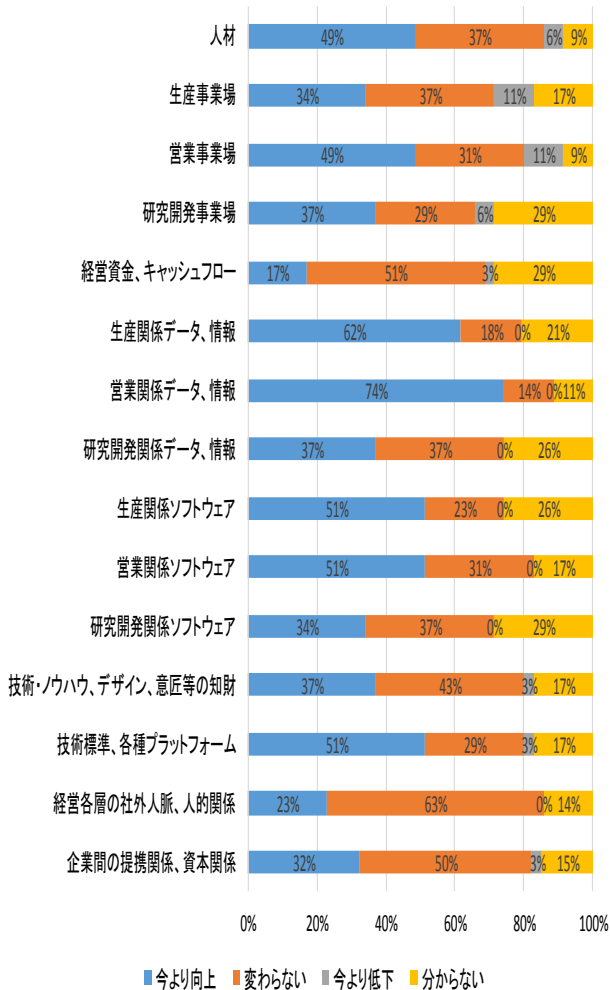
300人未満



300~1,000人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
人材	49%	37%	6%	9%
生産事業場	34%	37%	11%	17%
営業事業場	49%	31%	11%	9%
研究開発事業場	37%	29%	6%	29%
経営資金、キャッシュフロー	17%	51%	3%	29%
生産関係データ、情報	62%	18%	0%	21%
営業関係データ、情報	74%	14%	0%	11%
研究開発関係データ、情報	37%	37%	0%	26%
生産関係ソフトウェア	51%	23%	0%	26%
営業関係ソフトウェア	51%	31%	0%	17%
研究開発関係ソフトウェア	34%	37%	0%	29%
技術・ノウハウ、デザイン、意匠等の知財	37%	43%	3%	17%
技術標準、プラットフォーム	51%	29%	3%	17%
経営各層の社外人脈、人的関係	23%	63%	0%	14%
企業間の提携関係、資本関係	32%	50%	3%	15%

300~1,000人未満



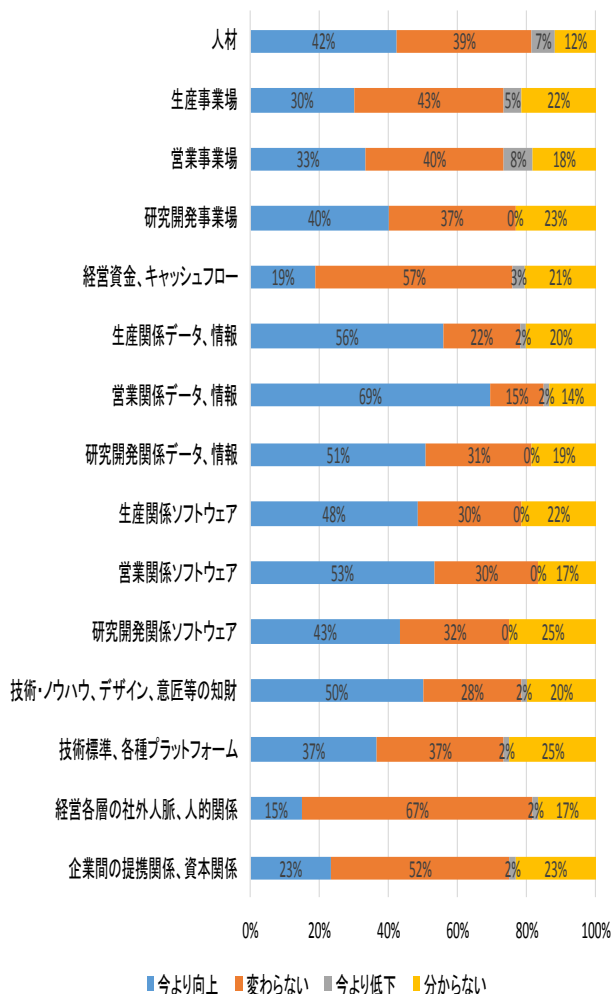
1,000～5,000人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
人材	42%	39%	7%	12%
生産事業場	30%	43%	5%	22%
営業事業場	33%	40%	8%	18%
研究開発事業場	40%	37%	0%	23%
経営資金、キャッシュフロー	19%	57%	3%	21%
生産関係データ、情報	56%	22%	2%	20%
営業関係データ、情報	69%	15%	2%	14%
研究開発関係データ、情報	51%	31%	0%	19%
生産関係ソフトウェア	48%	30%	0%	22%
営業関係ソフトウェア	53%	30%	0%	17%
研究開発関係ソフトウェア	43%	32%	0%	25%
技術・ノウハウ、デザイン、意匠等の知財	50%	28%	2%	20%
技術標準、プラットフォーム	37%	37%	2%	25%
経営各層の社外人脈、人的関係	15%	67%	2%	17%
企業間の提携関係、資本関係	23%	52%	2%	23%

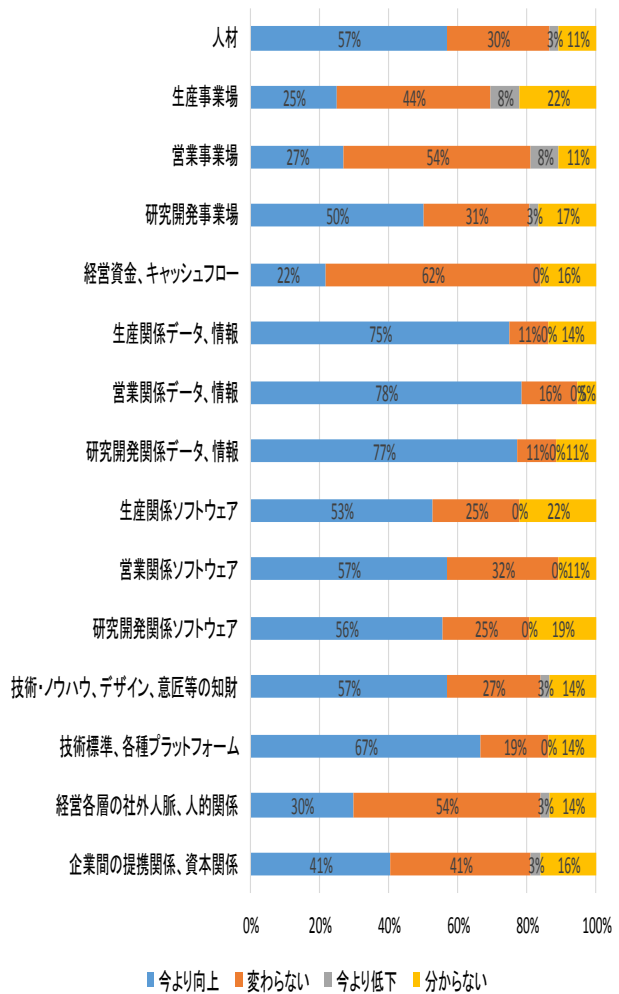
5,000人以上

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
人材	57%	30%	3%	11%
生産事業場	25%	44%	8%	22%
営業事業場	27%	54%	8%	11%
研究開発事業場	50%	31%	3%	17%
経営資金、キャッシュフロー	22%	62%	0%	16%
生産関係データ、情報	75%	11%	0%	14%
営業関係データ、情報	78%	16%	0%	5%
研究開発関係データ、情報	77%	11%	0%	11%
生産関係ソフトウェア	53%	25%	0%	22%
営業関係ソフトウェア	57%	32%	0%	11%
研究開発関係ソフトウェア	56%	25%	0%	19%
技術・ノウハウ、デザイン、意匠等の知財	57%	27%	3%	14%
技術標準、プラットフォーム	67%	19%	0%	14%
経営各層の社外人脈、人的関係	30%	54%	3%	14%
企業間の提携関係、資本関係	41%	41%	3%	16%

1,000人～5,000人未満



5,000人以上



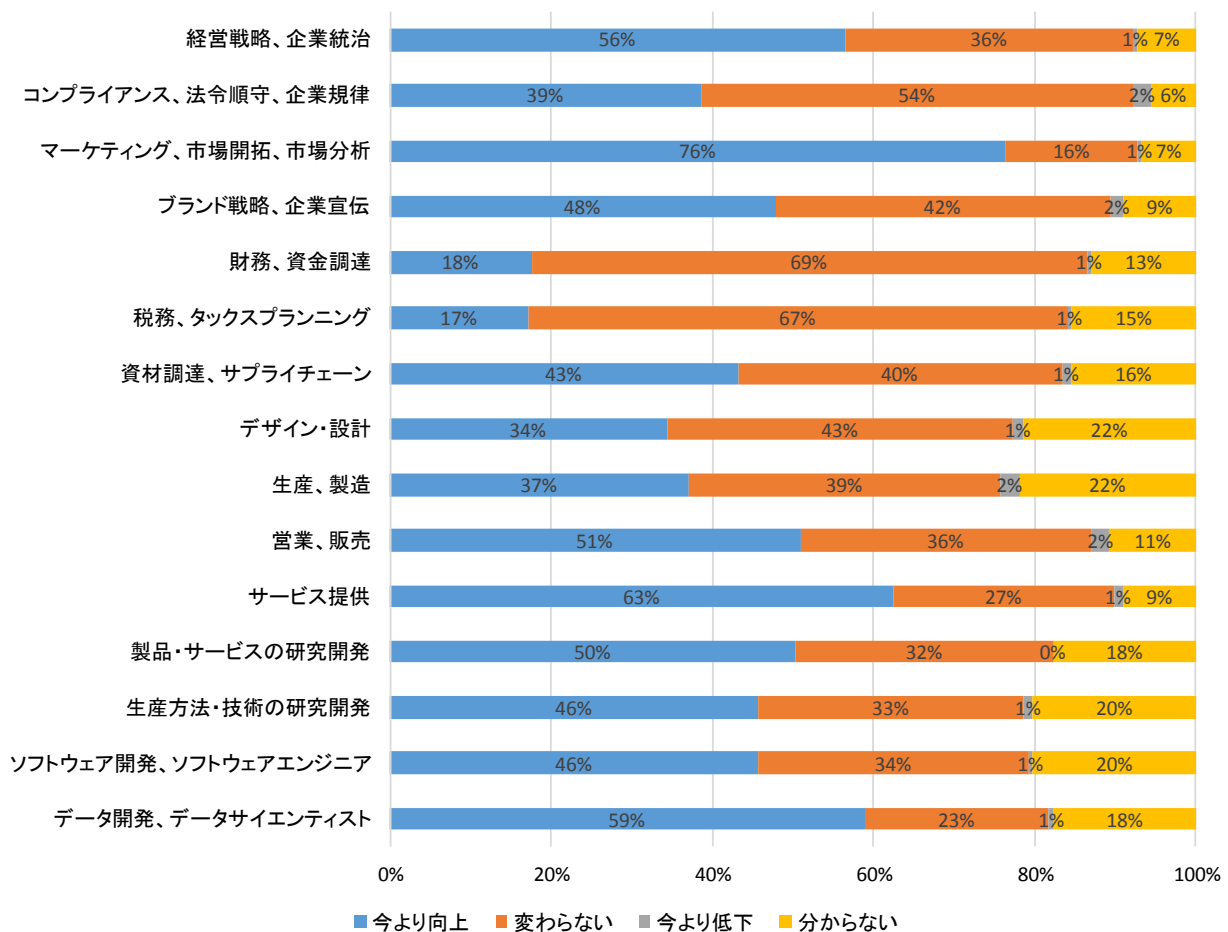
問7 Society5.0 への移行に伴って生じる貴方組織における部門や職種のプライオリティーの変化について、お尋ねします。

下記の表にある各部門や職種のプライオリティーの変化方向について、お考えに該当する選択肢をお選びください。（各々につき一つだけ）

【「産」会員のみ】

全体

	今より向上	変わらない	今より低下	分らない
経営戦略、企業統治	56%	36%	1%	7%
コンプライアンス、法令順守、企業規律	39%	54%	2%	6%
マーケティング、市場開拓、市場分析	76%	16%	1%	7%
ブランド戦略、企業宣伝	48%	42%	2%	9%
財務、資金調達	18%	69%	1%	13%
税務、タックスプランニング	17%	67%	1%	15%
資材調達、サプライチェーン	43%	40%	1%	16%
デザイン・設計	34%	43%	1%	22%
生産、製造	37%	39%	2%	22%
営業、販売	51%	36%	2%	11%
サービス提供	63%	27%	1%	9%
製品・サービスの研究開発	50%	32%	0%	18%
生産方法・技術の研究開発	46%	33%	1%	20%
ソフトウェア開発、ソフトウェアエンジニア	46%	34%	1%	20%
データ開発、データサイエンティスト	59%	23%	1%	18%

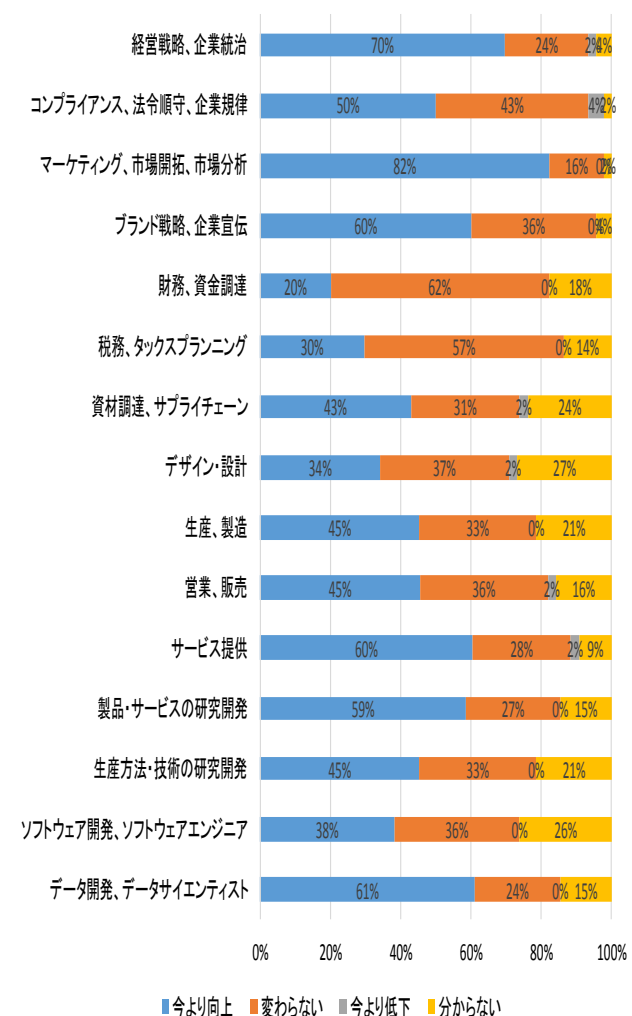


規模別

300人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
経営戦略、企業統治	70%	24%	2%	4%
コンプライアンス、法令順守、企業規律	50%	43%	4%	2%
マーケティング、市場開拓、市場分析	82%	16%	0%	2%
ブランド戦略、企業宣伝	60%	36%	0%	4%
財務、資金調達	20%	62%	0%	18%
税務、タックスプランニング	30%	57%	0%	14%
資材調達、サプライチェーン	43%	31%	2%	24%
デザイン・設計	34%	37%	2%	27%
生産、製造	45%	33%	0%	21%
営業、販売	45%	36%	2%	16%
サービス提供	60%	28%	2%	9%
製品・サービスの研究開発	59%	27%	0%	15%
生産方法・技術の研究開発	45%	33%	0%	21%
ソフトウェア開発、ソフトウェアエンジニア	38%	36%	0%	26%
データ開発、データサイエンティスト	61%	24%	0%	15%

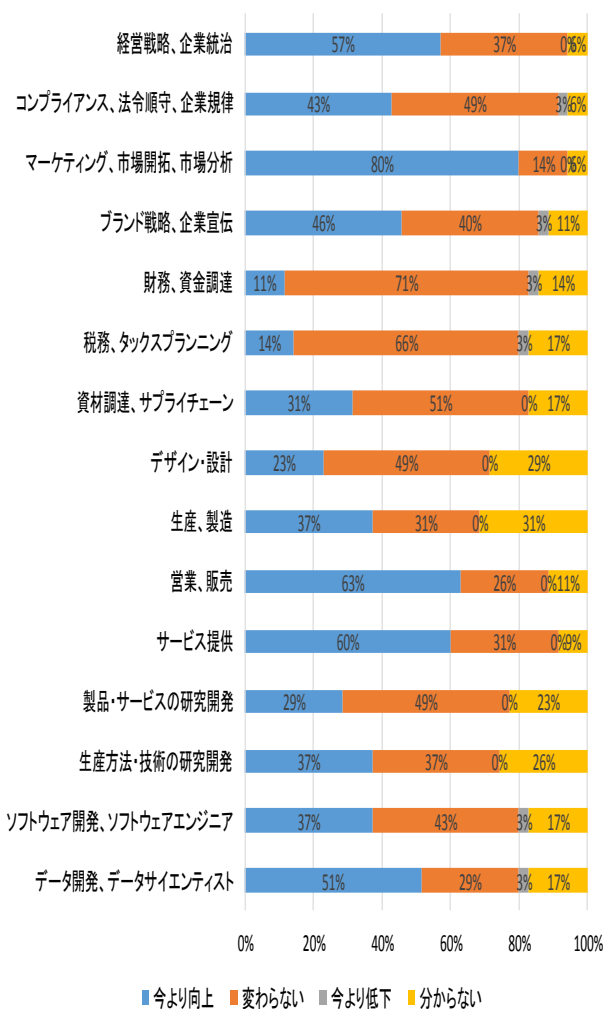
300人未満



300～1,000人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
経営戦略、企業統治	57%	37%	0%	6%
コンプライアンス、法令順守、企業規律	43%	49%	3%	6%
マーケティング、市場開拓、市場分析	80%	14%	0%	6%
ブランド戦略、企業宣伝	46%	40%	3%	11%
財務、資金調達	11%	71%	3%	14%
税務、タックスプランニング	14%	66%	3%	17%
資材調達、サプライチェーン	31%	51%	0%	17%
デザイン・設計	23%	49%	0%	29%
生産、製造	37%	31%	0%	31%
営業、販売	63%	26%	0%	11%
サービス提供	60%	31%	0%	9%
製品・サービスの研究開発	29%	49%	0%	23%
生産方法・技術の研究開発	37%	37%	0%	26%
ソフトウェア開発、ソフトウェアエンジニア	37%	43%	3%	17%
データ開発、データサイエンティスト	51%	29%	3%	17%

300～1,000人未満



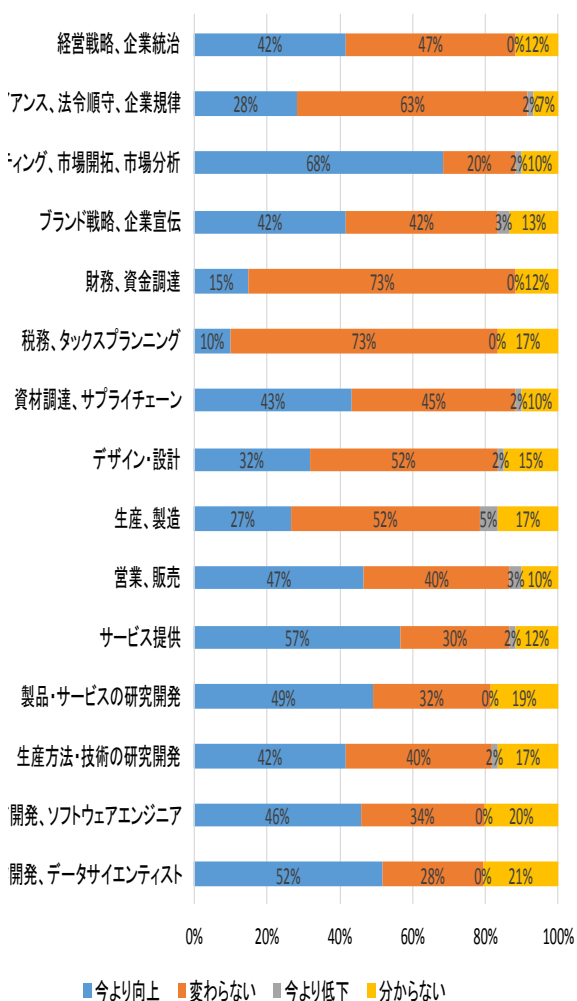
1,000～5,000人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
経営戦略、企業統治	42%	47%	0%	12%
コンプライアンス、法令順守、企業規律	28%	63%	2%	7%
マーケティング、市場開拓、市場分析	68%	20%	2%	10%
ブランド戦略、企業宣伝	42%	42%	3%	13%
財務、資金調達	15%	73%	0%	12%
税務、タックスプランニング	10%	73%	0%	17%
資材調達、サプライチェーン	43%	45%	2%	10%
デザイン・設計	32%	52%	2%	15%
生産、製造	27%	52%	5%	17%
営業、販売	47%	40%	3%	10%
サービス提供	57%	30%	2%	12%
製品・サービスの研究開発	49%	32%	0%	19%
生産方法・技術の研究開発	42%	40%	2%	17%
ソフトウェア開発、ソフトウェアエンジニア	46%	34%	0%	20%
データ開発、データサイエンティスト	52%	28%	0%	21%

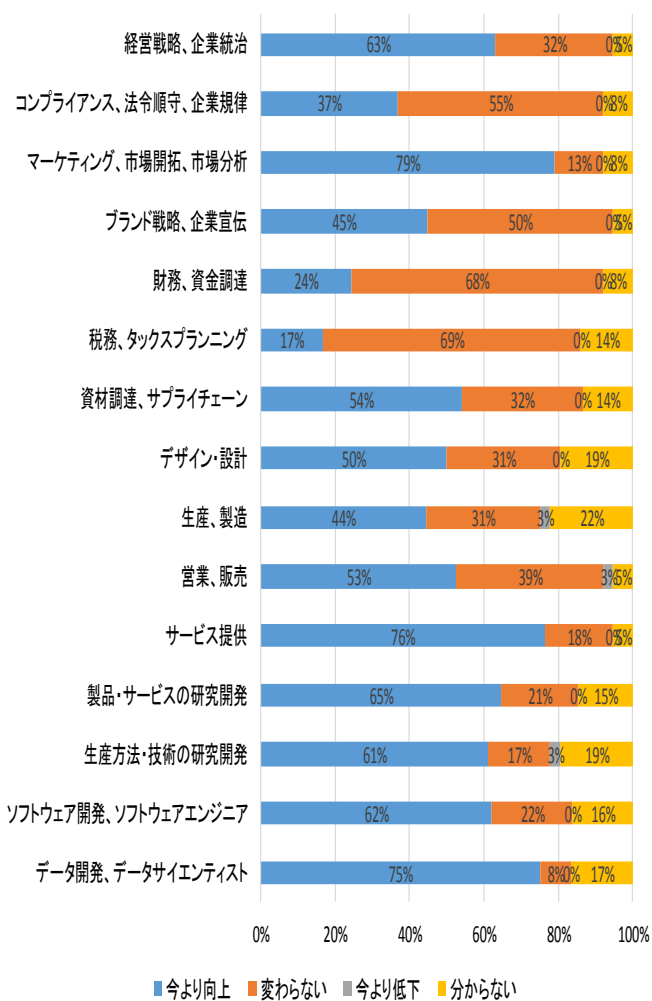
5,000人以上

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
経営戦略、企業統治	63%	32%	0%	5%
コンプライアンス、法令順守、企業規律	37%	55%	0%	8%
マーケティング、市場開拓、市場分析	79%	13%	0%	8%
ブランド戦略、企業宣伝	45%	50%	0%	5%
財務、資金調達	24%	68%	0%	8%
税務、タックスプランニング	17%	69%	0%	14%
資材調達、サプライチェーン	54%	32%	0%	14%
デザイン・設計	50%	31%	0%	19%
生産、製造	44%	31%	3%	22%
営業、販売	53%	39%	3%	5%
サービス提供	76%	18%	0%	5%
製品・サービスの研究開発	65%	21%	0%	15%
生産方法・技術の研究開発	61%	17%	3%	19%
ソフトウェア開発、ソフトウェアエンジニア	62%	22%	0%	16%
データ開発、データサイエンティスト	75%	8%	0%	17%

1,000人～5,000人未満



5,000人以上



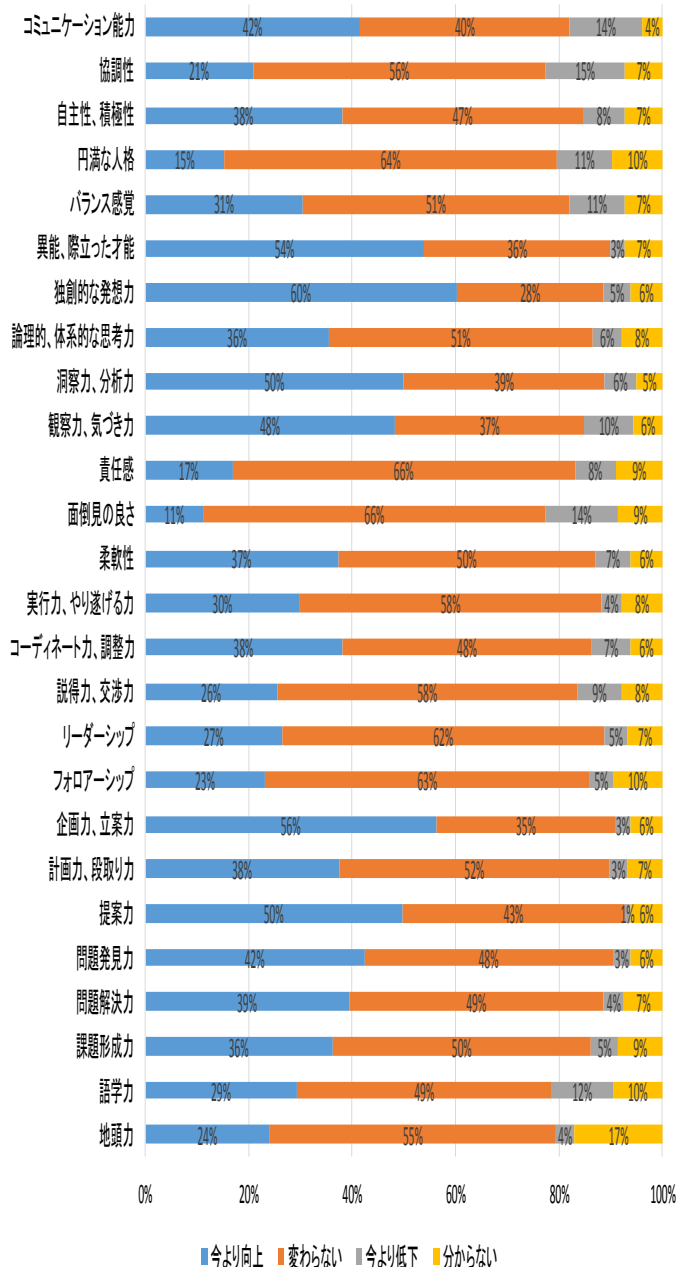
問8 Society5.0 への移行に伴って生じる貴方が期待する人材の能力特性のプライオリティーの変化について、お尋ねします。

下記の表にある人材の各能力特性のプライオリティーの変化方向について、お考えに該当する選択肢をお選びください。（各々につき一つだけ）

【「産」会員のみ】

全体

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
コミュニケーション能力	42%	40%	14%	4%
協調性	21%	56%	15%	7%
自主性、積極性	38%	47%	8%	7%
円満な人格	15%	64%	11%	10%
バランス感覚	31%	51%	11%	7%
異能、際立った才能	54%	36%	3%	7%
独創的な発想力	60%	28%	5%	6%
論理的、体系的な思考力	36%	51%	6%	8%
洞察力、分析力	50%	39%	6%	5%
観察力、気づき力	48%	37%	10%	6%
責任感	17%	66%	8%	9%
面倒見の良さ	11%	66%	14%	9%
柔軟性	37%	50%	7%	6%
実行力、やり遂げる力	30%	58%	4%	8%
コーディネート力、調整力	38%	48%	7%	6%
説得力、交渉力	26%	58%	9%	8%
リーダーシップ	27%	62%	5%	7%
フォローアップ	23%	63%	5%	10%
企画力、立案力	56%	35%	3%	6%
計画力、段取り力	38%	52%	3%	7%
提案力	50%	43%	1%	6%
問題発見力	42%	48%	3%	6%
問題解決力	39%	49%	4%	7%
課題形成力	36%	50%	5%	9%
語学力	29%	49%	12%	10%
地頭力	24%	55%	4%	17%

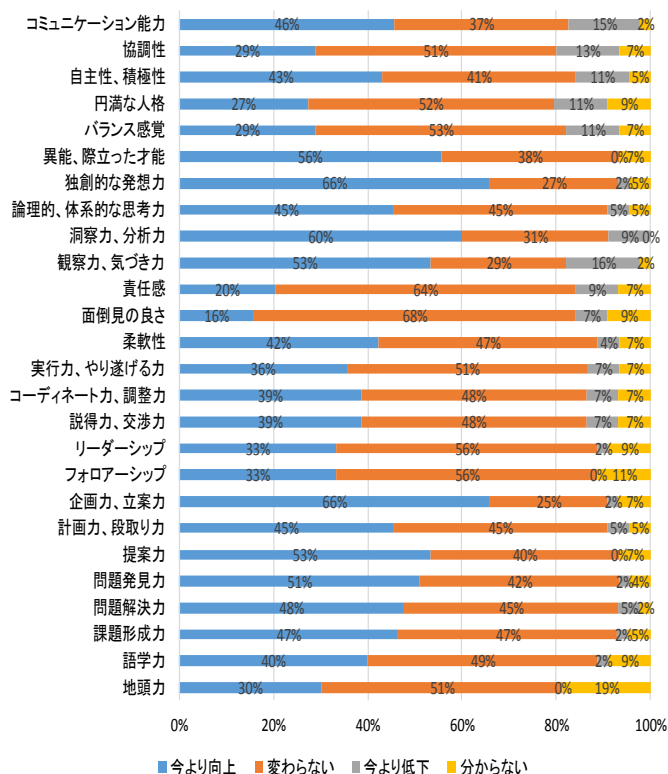


規模別

300人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
コミュニケーション能力	46%	37%	15%	2%
協調性	29%	51%	13%	7%
自主性、積極性	43%	41%	11%	5%
円満な人格	27%	52%	11%	9%
バランス感覚	29%	53%	11%	7%
異能、際立った才能	56%	38%	0%	7%
独創的な発想力	66%	27%	2%	5%
論理的、体系的な思考力	45%	45%	5%	5%
洞察力、分析力	60%	31%	9%	0%
観察力、気づき力	53%	29%	16%	2%
責任感	20%	64%	9%	7%
面倒見の良さ	16%	68%	7%	9%
柔軟性	42%	47%	4%	7%
実行力、やり遂げる力	36%	51%	7%	7%
コーディネート力、調整力	39%	48%	7%	7%
説得力、交渉力	39%	48%	7%	7%
リーダーシップ	33%	56%	2%	9%
フォロアーズ	33%	56%	0%	11%
企画力、立案力	66%	25%	2%	7%
計画力、段取り力	45%	45%	5%	5%
提案力	53%	40%	0%	7%
問題発見力	51%	42%	2%	4%
問題解決力	48%	45%	5%	2%
課題形成力	47%	47%	2%	5%
語学力	40%	49%	2%	9%
地頭力	30%	51%	0%	19%

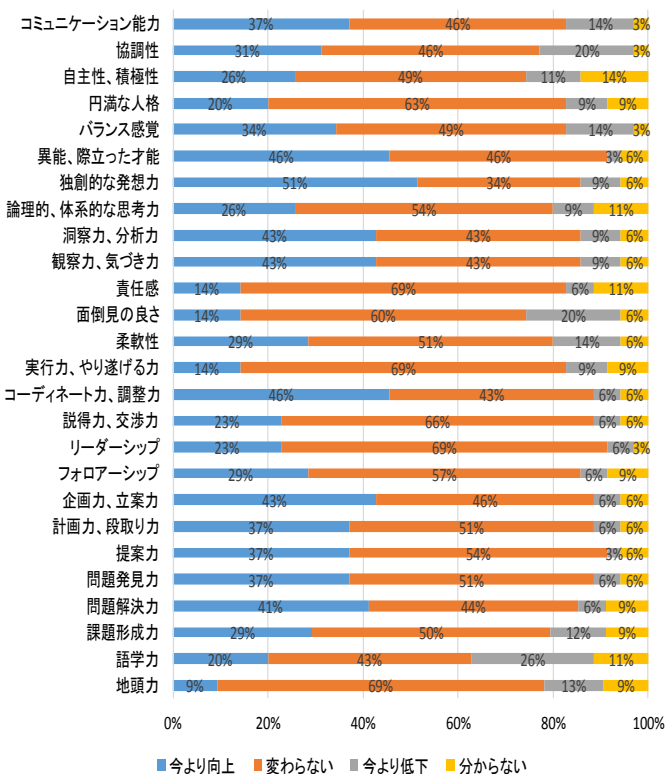
300人未満



300～1,000人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
コミュニケーション能力	37%	46%	14%	3%
協調性	31%	46%	20%	3%
自主性、積極性	26%	49%	11%	14%
円満な人格	20%	63%	9%	9%
バランス感覚	34%	49%	14%	3%
異能、際立った才能	46%	46%	3%	6%
独創的な発想力	51%	34%	9%	6%
論理的、体系的な思考力	26%	54%	9%	11%
洞察力、分析力	43%	43%	9%	6%
観察力、気づき力	43%	43%	9%	6%
責任感	14%	69%	6%	11%
面倒見の良さ	14%	60%	20%	6%
柔軟性	29%	51%	14%	6%
実行力、やり遂げる力	14%	69%	9%	9%
コーディネート力、調整力	46%	43%	6%	6%
説得力、交渉力	23%	66%	6%	6%
リーダーシップ	23%	69%	6%	3%
フォロアーズ	29%	57%	6%	9%
企画力、立案力	43%	46%	6%	6%
計画力、段取り力	37%	51%	6%	6%
提案力	37%	54%	3%	6%
問題発見力	37%	51%	6%	6%
問題解決力	41%	44%	6%	9%
課題形成力	29%	50%	12%	9%
語学力	20%	43%	26%	11%
地頭力	9%	69%	13%	9%

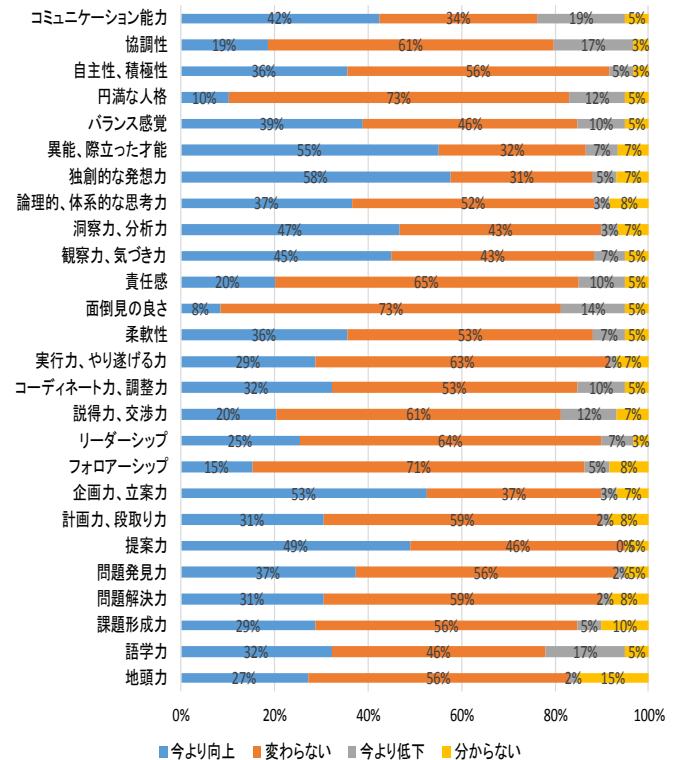
300～1,000人未満



1,000～5,000人未満

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
コミュニケーション能力	42%	34%	19%	5%
協調性	19%	61%	17%	3%
自主性、積極性	36%	56%	5%	3%
円満な人格	10%	73%	12%	5%
バランス感覚	39%	46%	10%	5%
異能、際立った才能	55%	32%	7%	7%
独創的な発想力	58%	31%	5%	7%
論理的、体系的な思考力	37%	52%	3%	8%
洞察力、分析力	47%	43%	3%	7%
観察力、気づき力	45%	43%	7%	5%
責任感	20%	65%	10%	5%
面倒見の良さ	8%	73%	14%	5%
柔軟性	36%	53%	7%	5%
実行力、やり遂げる力	29%	63%	2%	7%
コーディネート力、調整力	32%	53%	10%	5%
説得力、交渉力	20%	61%	12%	7%
リーダーシップ	25%	64%	7%	3%
フォローアップ	15%	71%	5%	8%
企画力、立案力	53%	37%	3%	7%
計画力、段取り力	31%	59%	2%	8%
提案力	49%	46%	0%	5%
問題発見力	37%	56%	2%	5%
問題解決力	31%	59%	2%	8%
課題形成力	29%	56%	5%	10%
語学力	32%	46%	17%	5%
地頭力	27%	56%	2%	15%

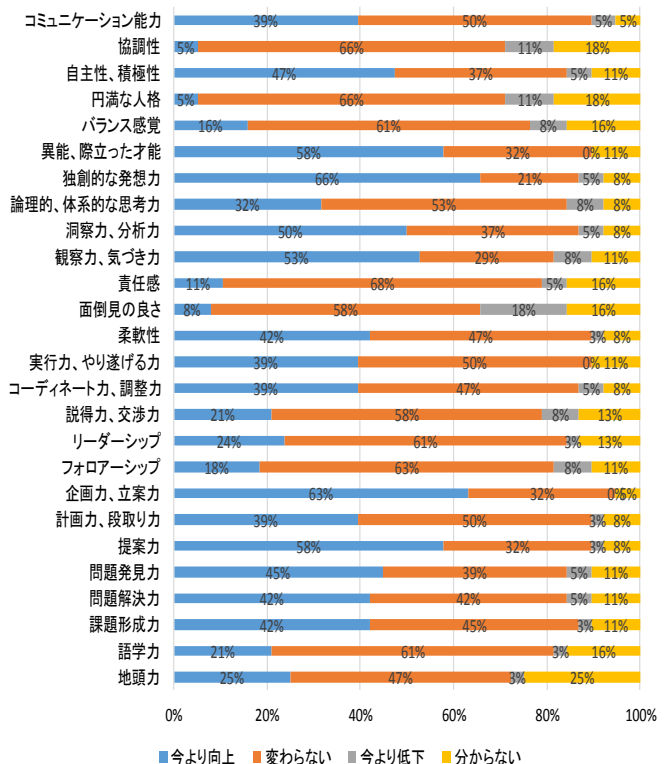
1,000～5,000人未満



5,000人以上

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
コミュニケーション能力	39%	50%	5%	5%
協調性	5%	66%	11%	18%
自主性、積極性	47%	37%	5%	11%
円満な人格	5%	66%	11%	18%
バランス感覚	16%	61%	8%	16%
異能、際立った才能	58%	32%	0%	11%
独創的な発想力	66%	21%	5%	8%
論理的、体系的な思考力	32%	53%	8%	8%
洞察力、分析力	50%	37%	5%	8%
観察力、気づき力	53%	29%	8%	11%
責任感	11%	68%	5%	16%
面倒見の良さ	8%	58%	18%	16%
柔軟性	42%	47%	3%	8%
実行力、やり遂げる力	39%	50%	0%	11%
コーディネート力、調整力	39%	47%	5%	8%
説得力、交渉力	21%	58%	8%	13%
リーダーシップ	24%	61%	3%	13%
フォローアップ	18%	63%	8%	11%
企画力、立案力	63%	32%	0%	8%
計画力、段取り力	39%	50%	3%	8%
提案力	58%	32%	0%	8%
問題発見力	45%	39%	5%	11%
問題解決力	42%	42%	5%	11%
課題形成力	42%	45%	3%	11%
語学力	21%	61%	3%	16%
地頭力	25%	47%	3%	25%

5,000人以上

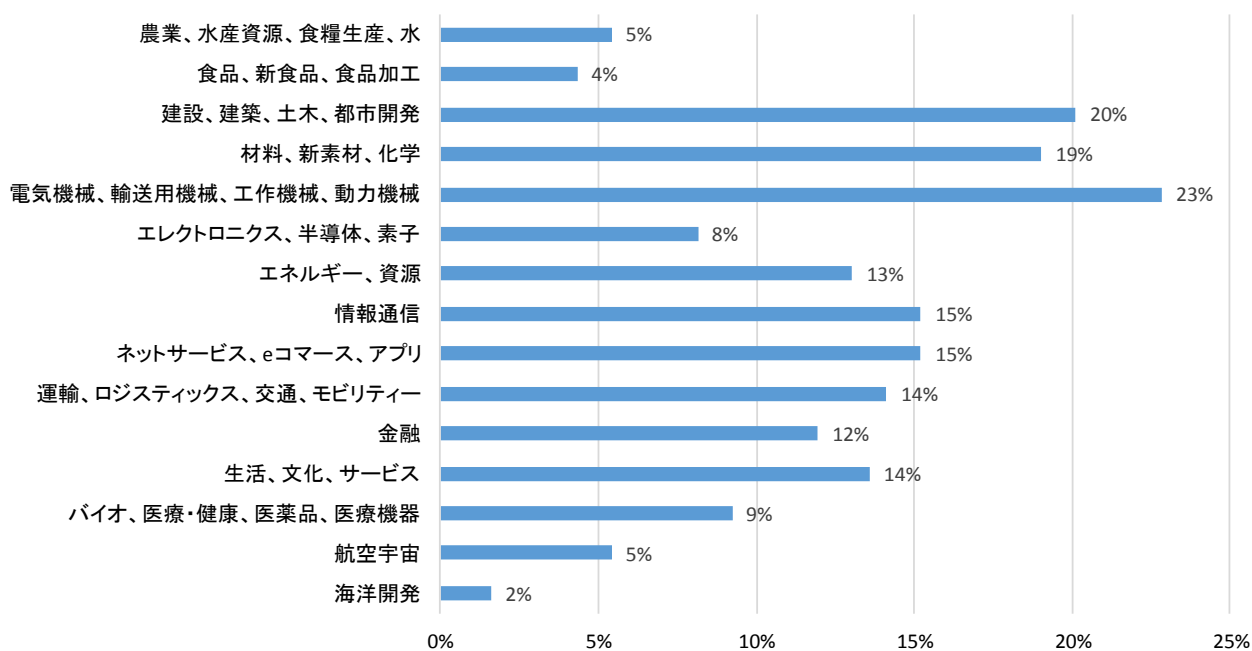


セクション3. 研究開発の現在と今後について

問9 現在、貴方が取り組んでおられる研究開発の領域・分野について、該当する選択肢をお選びください（いくつでも） 【「産」会員のみ】

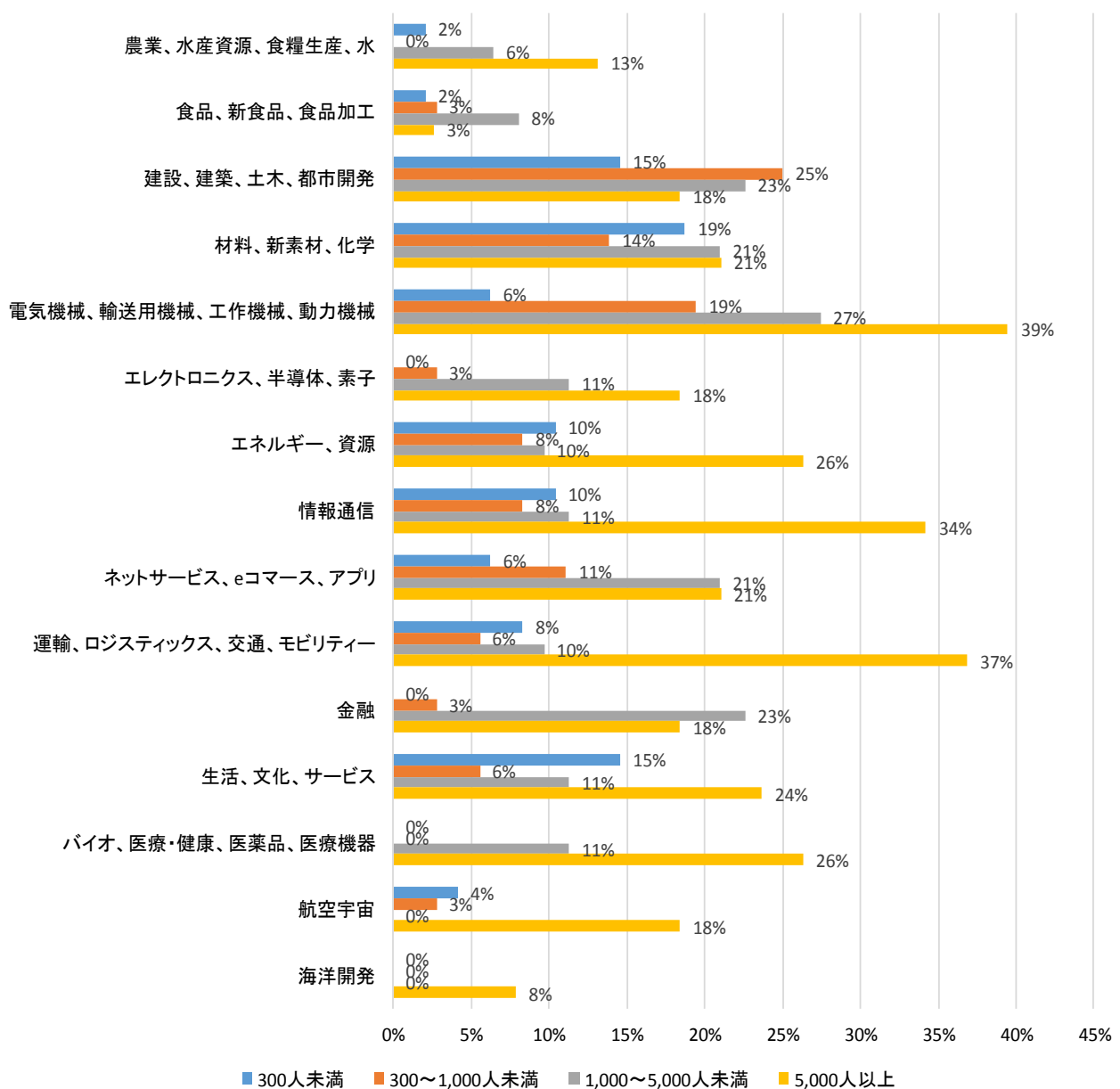
全体

農業、水産資源、食糧生産、水	5%
食品、新食品、食品加工	4%
建設、建築、土木、都市開発	20%
材料、新素材、化学	19%
電気機械、輸送用機械、工作機械、動力機械	23%
エレクトロニクス、半導体、素子	8%
エネルギー、資源	13%
情報通信	15%
ネットサービス、eコマース、アプリ	15%
運輸、ロジスティックス、交通、モビリティ	14%
金融	12%
生活、文化、サービス	14%
バイオ、医療・健康、医薬品、医療機器	9%
航空宇宙	5%
海洋開発	2%



規模別

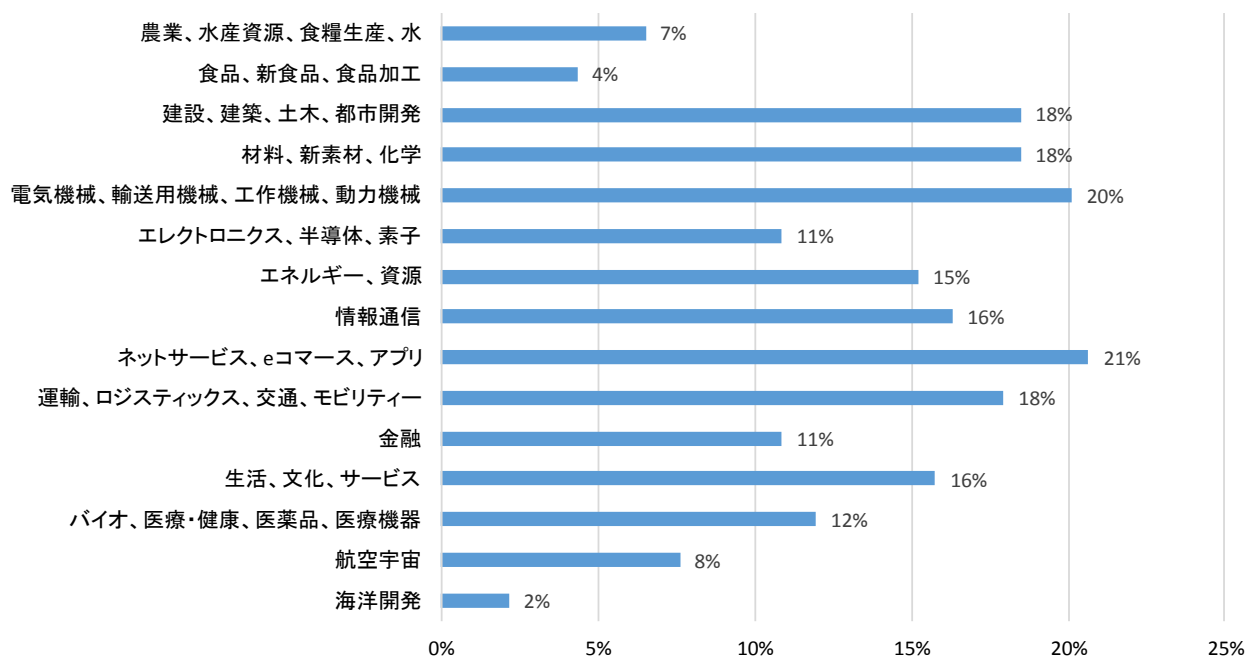
	300人未満	300～1,000人未満	1,000～5,000人未満	5,000人以上
農業、水産資源、食糧生産、水	2%	0%	6%	13%
食品、新食品、食品加工	2%	3%	8%	3%
建設、建築、土木、都市開発	15%	25%	23%	18%
材料、新素材、化学	19%	14%	21%	21%
電気機械、輸送用機械、工作機械、動力機械	6%	19%	27%	39%
エレクトロニクス、半導体、素子	0%	3%	11%	18%
エネルギー、資源	10%	8%	10%	26%
情報通信	10%	8%	11%	34%
ネットサービス、eコマース、アプリ	6%	11%	21%	21%
運輸、ロジスティックス、交通、モビリティ	8%	6%	10%	37%
金融	0%	3%	23%	18%
生活、文化、サービス	15%	6%	11%	24%
バイオ、医療・健康、医薬品、医療機器	0%	0%	11%	26%
航空宇宙	4%	3%	0%	18%
海洋開発	0%	0%	0%	8%



問 10 今後、貴方が取り組むお考えの研究開発の領域・分野について、該当する選択肢をお選びください（いくつでも） 【「産」会員のみ】

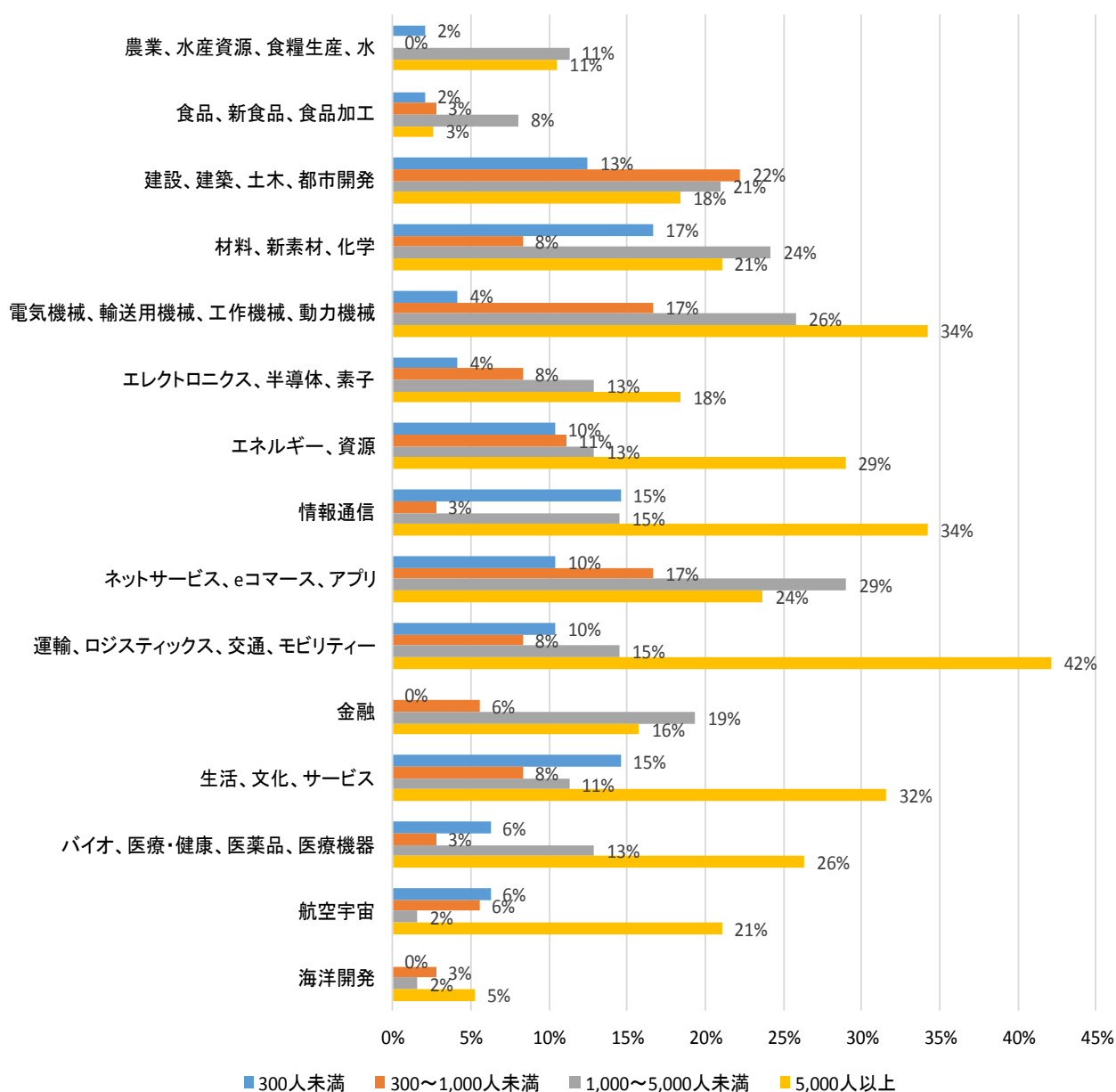
全体

農業、水産資源、食糧生産、水	7%
食品、新食品、食品加工	4%
建設、建築、土木、都市開発	18%
材料、新素材、化学	18%
電気機械、輸送用機械、工作機械、動力機械	20%
エレクトロニクス、半導体、素子	11%
エネルギー、資源	15%
情報通信	16%
ネットサービス、eコマース、アプリ	21%
運輸、ロジスティックス、交通、モビリティ	18%
金融	11%
生活、文化、サービス	16%
バイオ、医療・健康、医薬品、医療機器	12%
航空宇宙	8%
海洋開発	2%



規模別

	300人未満	300～1,000人未満	1,000～5,000人未満	5,000人以上
農業、水産資源、食糧生産、水	2%	0%	11%	11%
食品、新食品、食品加工	2%	3%	8%	3%
建設、建築、土木、都市開発	13%	22%	21%	18%
材料、新素材、化学	17%	8%	24%	21%
電気機械、輸送用機械、工作機械、動力機械	4%	17%	26%	34%
エレクトロニクス、半導体、素子	4%	8%	13%	18%
エネルギー、資源	10%	11%	13%	29%
情報通信	15%	3%	15%	34%
ネットサービス、eコマース、アプリ	10%	17%	29%	24%
運輸、ロジスティックス、交通、モビリティ	10%	8%	15%	42%
金融	0%	6%	19%	16%
生活、文化、サービス	15%	8%	11%	32%
バイオ、医療・健康、医薬品、医療機器	6%	3%	13%	26%
航空宇宙	6%	6%	2%	21%
海洋開発	0%	3%	2%	5%

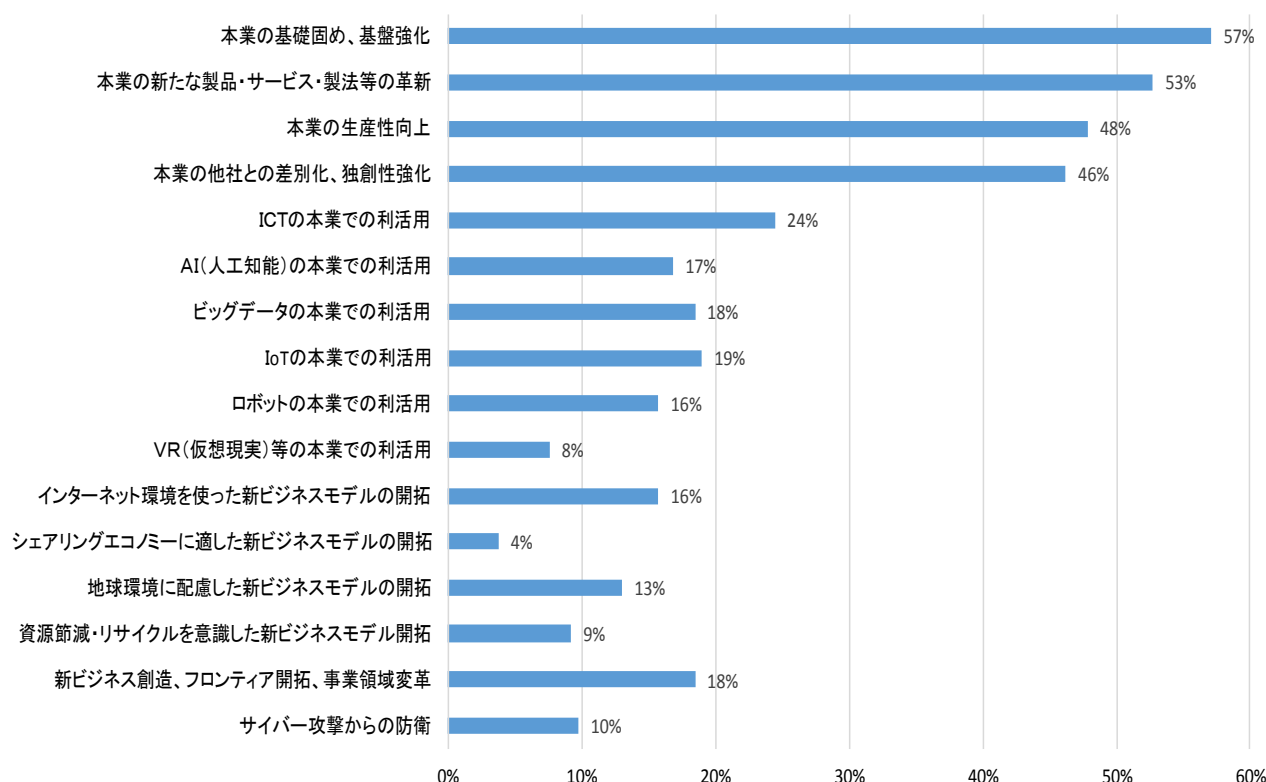


問 11 現在、貴方が取り組んでおられる研究開発の目的・ねらいについて、該当する選択肢をお選びください（いくつでも）

【「産」会員のみ】

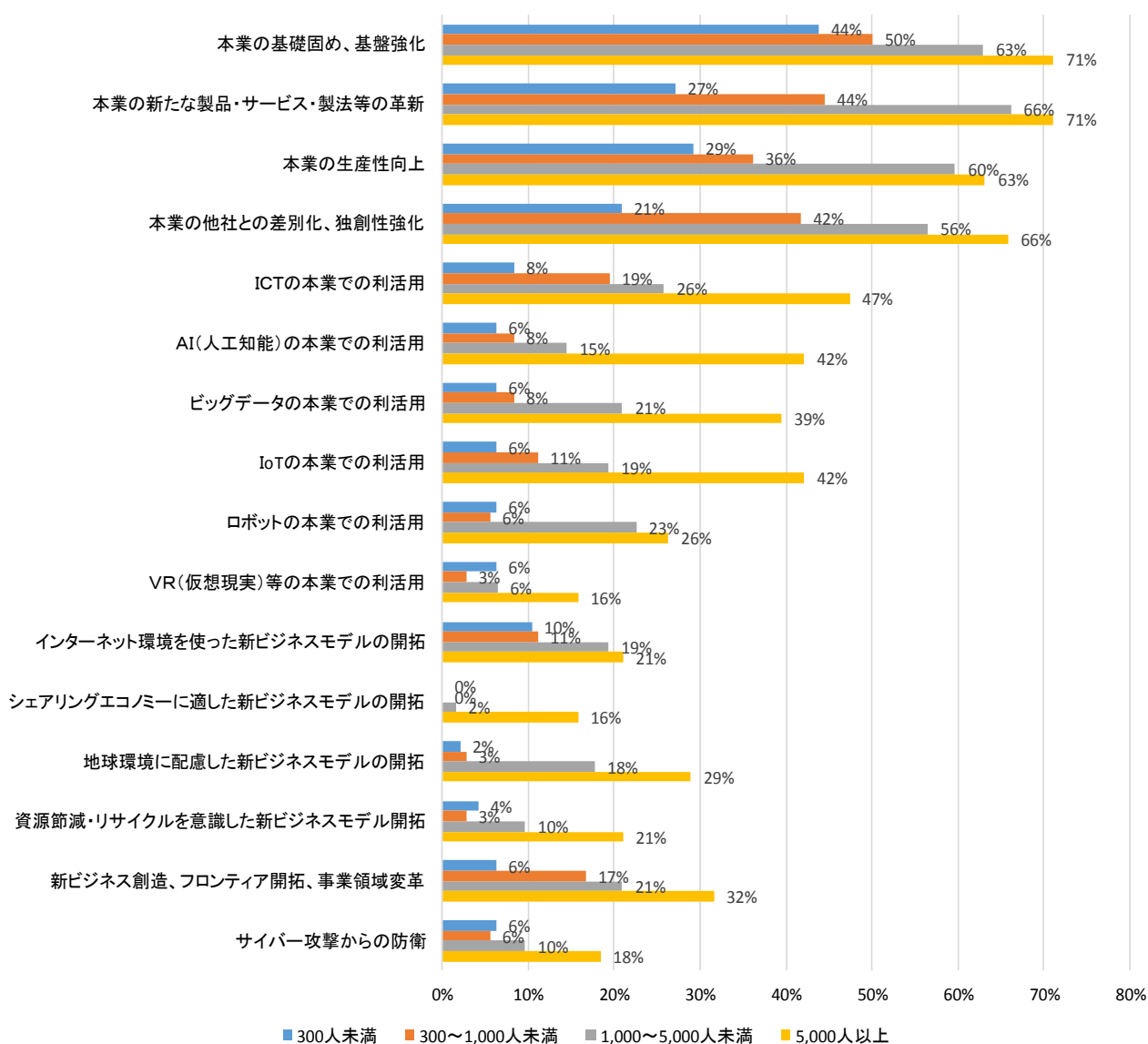
全体

本業の基礎固め、基盤強化	57%
本業の新たな製品・サービス・製法等の革新	53%
本業の生産性向上	48%
本業の他社との差別化、独創性強化	46%
ICTの本業での利活用	24%
AI(人工知能)の本業での利活用	17%
ビッグデータの本業での利活用	18%
IoTの本業での利活用	19%
ロボットの本業での利活用	16%
VR(仮想現実)等の本業での利活用	8%
インターネット環境を使った新ビジネスモデルの開拓	16%
シェアリングエコノミーに適した新ビジネスモデルの開拓	4%
地球環境に配慮した新ビジネスモデルの開拓	13%
資源節減・リサイクルを意識した新ビジネスモデル開拓	9%
新ビジネス創造、フロンティア開拓、事業領域変革	18%
サイバー攻撃からの防衛	10%



規模別

	300人未満	300～1,000人未満	1,000～5,000人未満	5,000人以上
本業の基礎固め、基盤強化	44%	50%	63%	71%
本業の新たな製品・サービス・製法等の革新	27%	44%	66%	71%
本業の生産性向上	29%	36%	60%	63%
本業の他社との差別化、独創性強化	21%	42%	56%	66%
ICTの本業での利活用	8%	19%	26%	47%
AI(人工知能)の本業での利活用	6%	8%	15%	42%
ビッグデータの本業での利活用	6%	8%	21%	39%
IoTの本業での利活用	6%	11%	19%	42%
ロボットの本業での利活用	6%	6%	23%	26%
VR(仮想現実)等の本業での利活用	6%	3%	6%	16%
インターネット環境を使った新ビジネスモデルの開拓	10%	11%	19%	21%
シェアリングエコノミーに適した新ビジネスモデルの開拓	0%	0%	2%	16%
地球環境に配慮した新ビジネスモデルの開拓	2%	3%	18%	29%
資源節減・リサイクルを意識した新ビジネスモデル開拓	4%	3%	10%	21%
新ビジネス創造、フロンティア開拓、事業領域変革	6%	17%	21%	32%
サイバー攻撃からの防衛	6%	6%	10%	18%

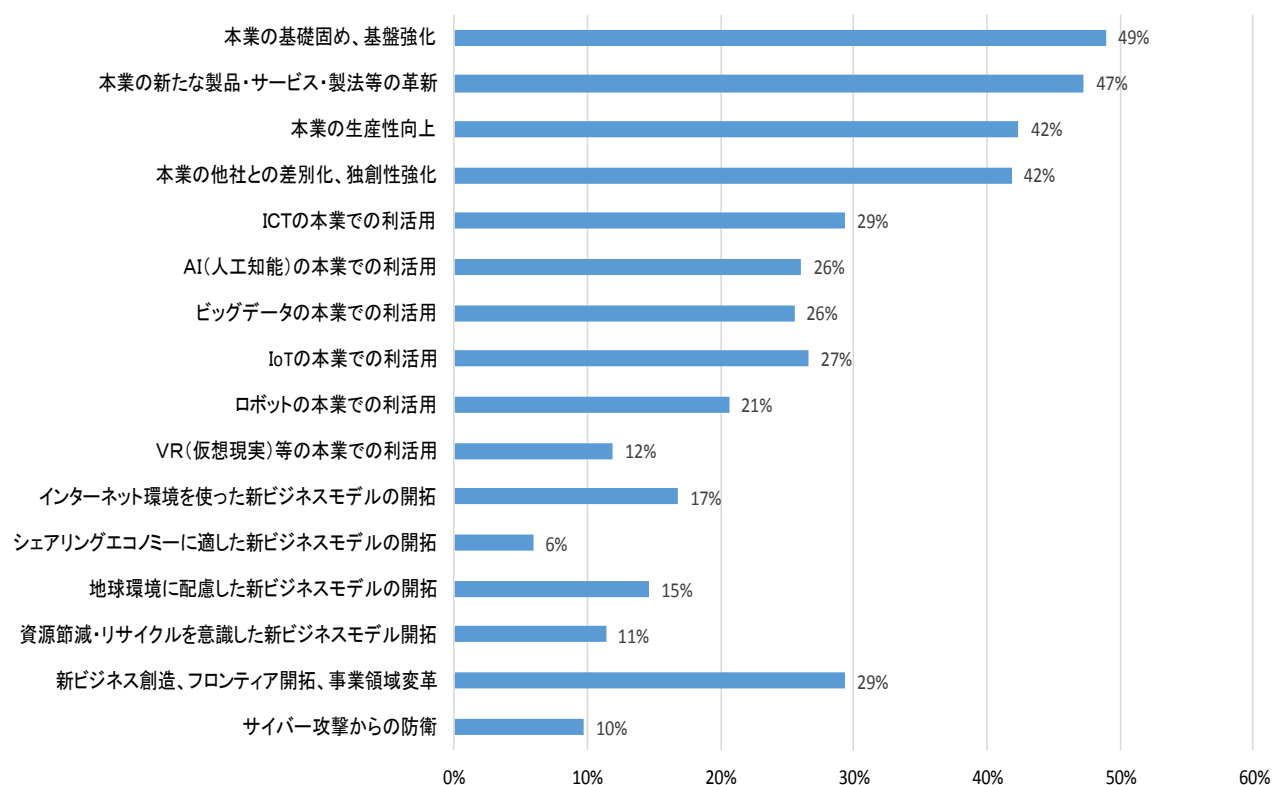


問 12 今後、貴方が取り組むお考えの研究開発の目的・ねらいについて、該当する選択肢をお選びください（いくつでも）

【「産」会員のみ】

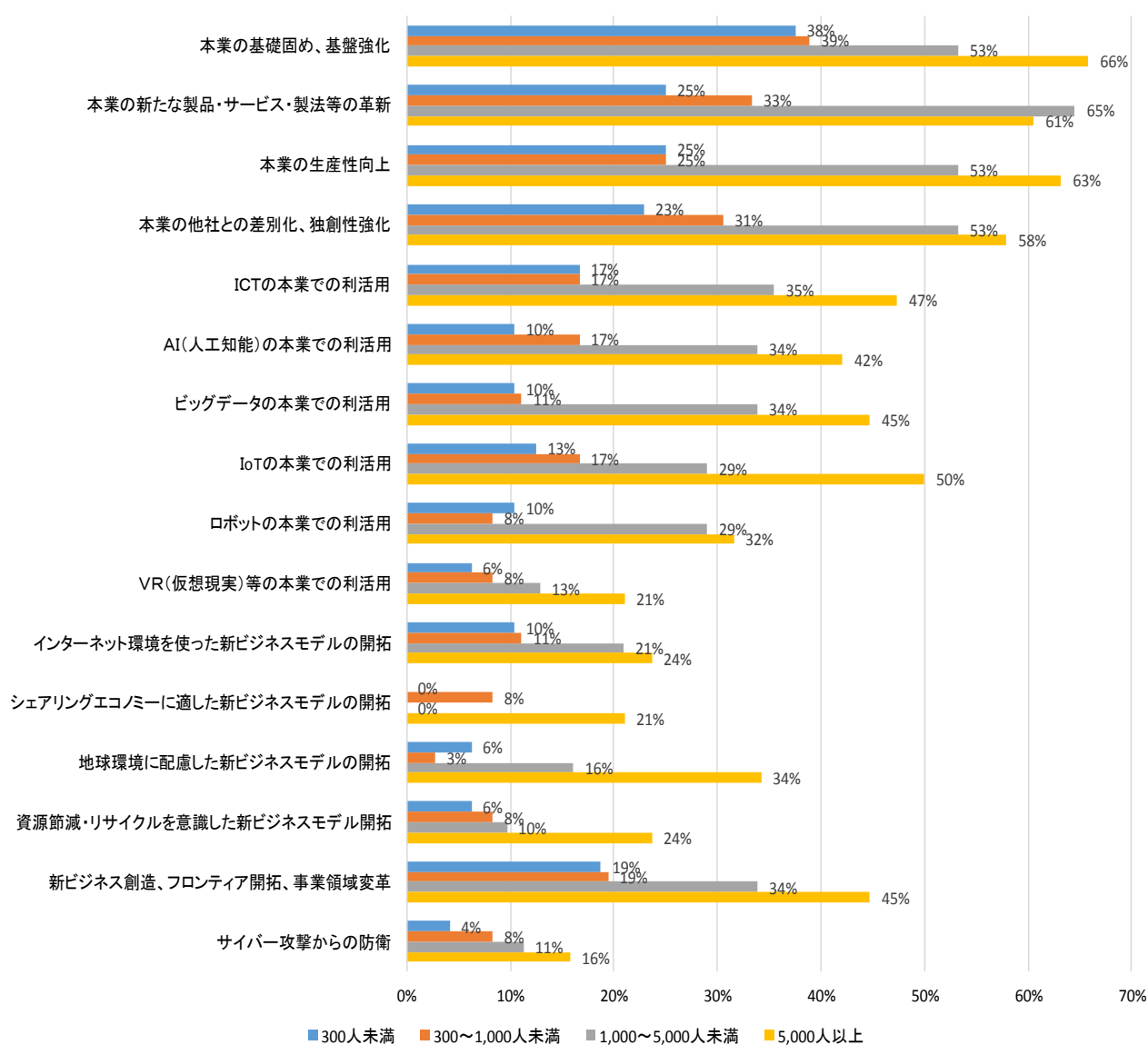
全体

本業の基礎固め、基盤強化	49%
本業の新たな製品・サービス・製法等の革新	47%
本業の生産性向上	42%
本業の他社との差別化、独創性強化	42%
ICTの本業での利活用	29%
AI(人工知能)の本業での利活用	26%
ビッグデータの本業での利活用	26%
IoTの本業での利活用	27%
ロボットの本業での利活用	21%
VR(仮想現実)等の本業での利活用	12%
インターネット環境を使った新ビジネスモデルの開拓	17%
シェアリングエコノミーに適した新ビジネスモデルの開拓	6%
地球環境に配慮した新ビジネスモデルの開拓	15%
資源節減・リサイクルを意識した新ビジネスモデル開拓	11%
新ビジネス創造、フロンティア開拓、事業領域変革	29%
サイバー攻撃からの防衛	10%



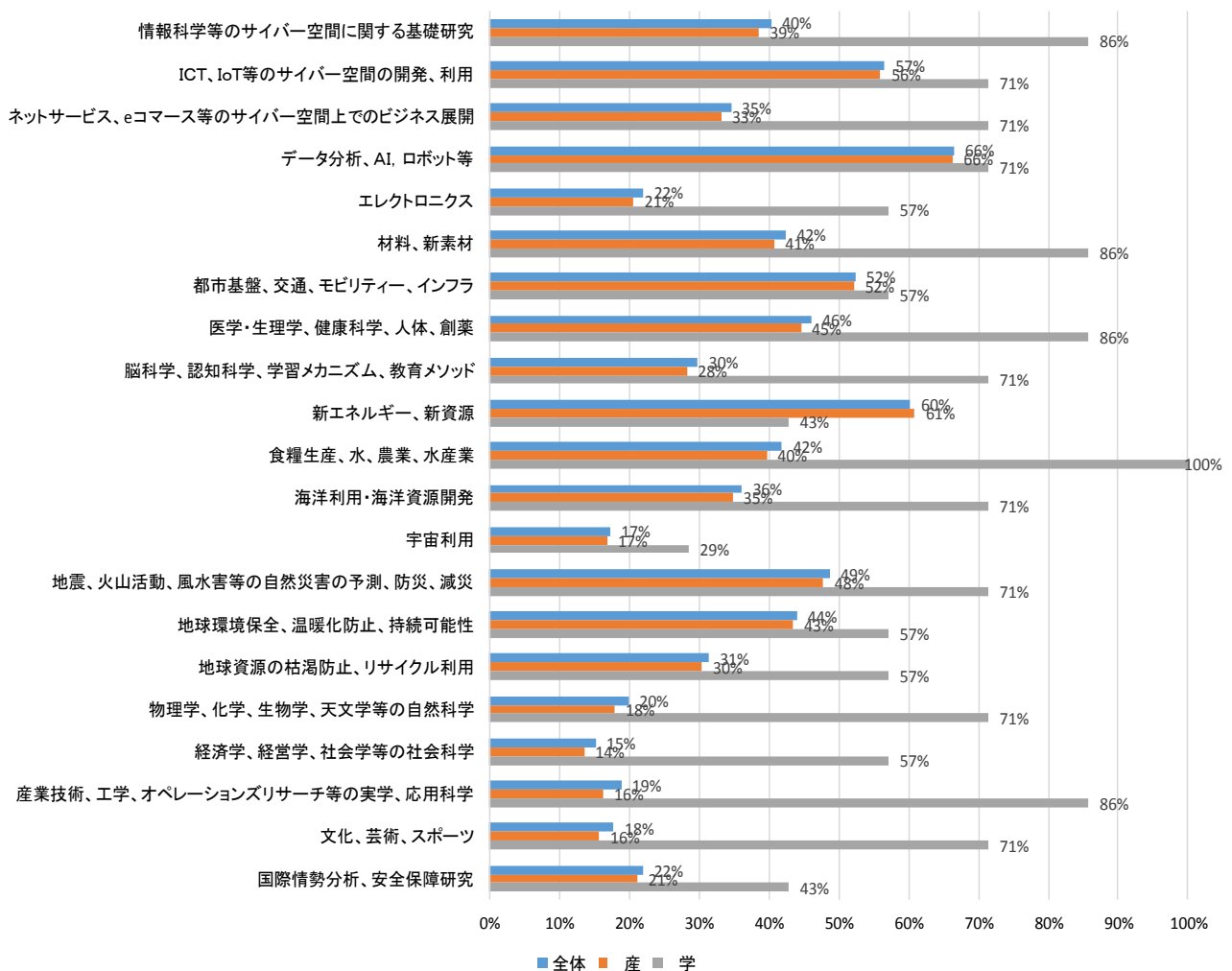
規模別

	300人未満	300～1,000人未満	1,000～5,000人未満	5,000人以上
本業の基礎固め、基盤強化	38%	39%	53%	66%
本業の新たな製品・サービス・製法等の革新	25%	33%	65%	61%
本業の生産性向上	25%	25%	53%	63%
本業の他社との差別化、独創性強化	23%	31%	53%	58%
ICTの本業での利活用	17%	17%	35%	47%
AI(人工知能)の本業での利活用	10%	17%	34%	42%
ビッグデータの本業での利活用	10%	11%	34%	45%
IoTの本業での利活用	13%	17%	29%	50%
ロボットの本業での利活用	10%	8%	29%	32%
VR(仮想現実)等の本業での利活用	6%	8%	13%	21%
インターネット環境を使った新ビジネスモデルの開拓	10%	11%	21%	24%
シェアリングエコノミーに適した新ビジネスモデルの開拓	0%	8%	0%	21%
地球環境に配慮した新ビジネスモデルの開拓	6%	3%	16%	34%
資源節減・リサイクルを意識した新ビジネスモデル開拓	6%	8%	10%	24%
新ビジネス創造、フロンティア開拓、事業領域変革	19%	19%	34%	45%
サイバー攻撃からの防衛	4%	8%	11%	16%



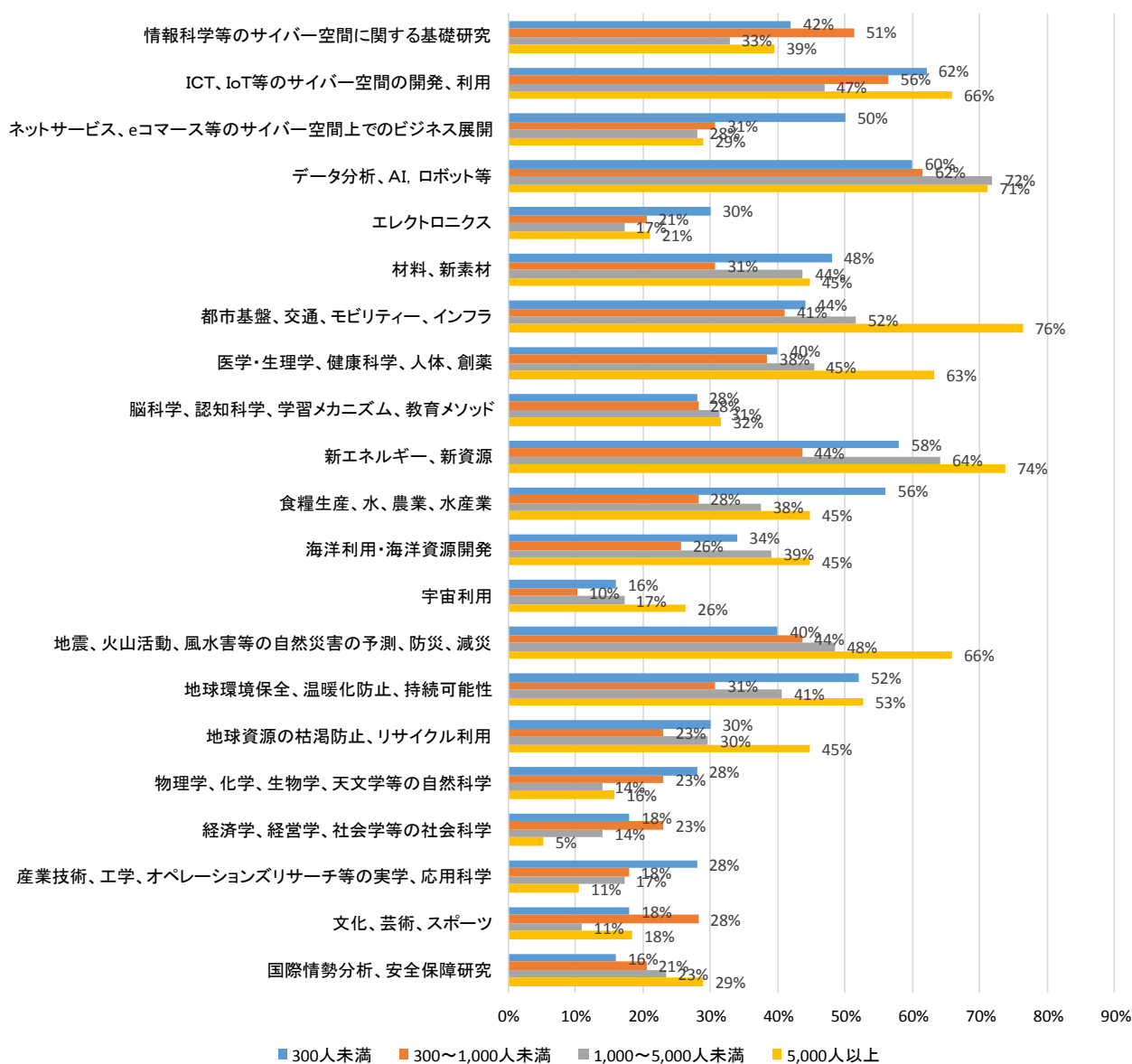
問 13 今後、国か民間かを問わず、わが国が一層力を注ぐべきとお考えの研究領域・分野について、該当する選択肢をお選びください（いくつでも） 【「産」「学」共通】

	全体	産	学
情報科学等のサイバー空間に関する基礎研究	40%	39%	86%
ICT、IoT等のサイバー空間の開発、利用	57%	56%	71%
ネットサービス、eコマース等のサイバー空間上でのビジネス展開	35%	33%	71%
データ分析、AI、ロボット等	66%	66%	71%
エレクトロニクス	22%	21%	57%
材料、新素材	42%	41%	86%
都市基盤、交通、モビリティ、インフラ	52%	52%	57%
医学・生理学、健康科学、人体、創薬	46%	45%	86%
脳科学、認知科学、学習メカニズム、教育メソッド	30%	28%	71%
新エネルギー、新資源	60%	61%	43%
食糧生産、水、農業、水産業	42%	40%	100%
海洋利用・海洋資源開発	36%	35%	71%
宇宙利用	17%	17%	29%
地震、火山活動、風水害等の自然災害の予測、防災、減災	49%	48%	71%
地球環境保全、温暖化防止、持続可能性	44%	43%	57%
地球資源の枯渇防止、リサイクル利用	31%	30%	57%
物理学、化学、生物学、天文学等の自然科学	20%	18%	71%
経済学、経営学、社会学等の社会科学	15%	14%	57%
産業技術、工学、オペレーションズリサーチ等の実学、応用科学	19%	16%	86%
文化、芸術、スポーツ	18%	16%	71%
国際情勢分析、安全保障研究	22%	21%	43%



規模別

	300人未満	300～1,000人未満	1,000～5,000人未満	5,000人以上
情報科学等のサイバー空間に関する基礎研究	42%	51%	33%	39%
ICT、IoT等のサイバー空間の開発、利用	62%	56%	47%	66%
ネットサービス、eコマース等のサイバー空間上でのビジネス展開	50%	31%	28%	29%
データ分析、AI、ロボット等	60%	62%	72%	71%
エレクトロニクス	30%	21%	17%	21%
材料、新素材	48%	31%	44%	45%
都市基盤、交通、モビリティ、インフラ	44%	41%	52%	76%
医学・生理学、健康科学、人体、創薬	40%	38%	45%	63%
脳科学、認知科学、学習メカニズム、教育メソッド	28%	28%	31%	32%
新エネルギー、新資源	58%	44%	64%	74%
食糧生産、水、農業、水産業	56%	28%	38%	45%
海洋利用・海洋資源開発	34%	26%	39%	45%
宇宙利用	16%	10%	17%	26%
地震、火山活動、風水害等の自然災害の予測、防災、減災	40%	44%	48%	66%
地球環境保全、温暖化防止、持続可能性	52%	31%	41%	53%
地球資源の枯渇防止、リサイクル利用	30%	23%	30%	45%
物理学、化学、生物学、天文学等の自然科学	28%	23%	14%	16%
経済学、経営学、社会学等の社会科学	18%	23%	14%	5%
産業技術、工学、オペレーションズリサーチ等の実学、応用科学	28%	18%	17%	11%
文化、芸術、スポーツ	18%	28%	11%	18%
国際情勢分析、安全保障研究	16%	21%	23%	29%



問 14 貴方が注目あるいは関心をお持ちの研究をしている企業や研究機関と研究テーマについて、
差し支えない範囲でお教えてください。 【「産」会員のみの回答】

関心のある研究をしている企業・研究機関	研究テーマ
MUFG、みずほ	仮想通貨
本田技研工業	ロボティクス
富士フイルム	圧力可視化フィルム
GE	プレティクス
日立製作所	ルマーダ
NEC	インバリエント分析
日立製作所	スマート保安
富士通	スマート保安
CCCマーケティング	データベースマーケティング
サムライ・インキュベート	起業支援
株式会社オルツ	P. A. I(パーソナル人工知能)
トヨタ自動車	自動運転に関する研究
witrix	ワイヤレス給電
NCC(名古屋大学ナショナルコンポジットセンター)	CFRP複合素材
東京大学	生産性損失の可視化
東京大学	人口光合成、水素分離膜
東京工科大学、IHI	セラミック基複合材料(CMC)、耐環境コーティング
東北大学	セラミックスレーザー焼体、セラミックスレーザーCVD
産業技術総合研究所	ロボット開発等(人工知能、ロボット技能等)
産業技術総合研究所	IOT応用技術、センサー技術などの産業応用分野に関する研究
産業技術総合研究所	ビジュアルスラム、ピッキングロボ
情報通信研究機構	サイバーセキュリティ技術、ウェアラブル、植え込み等のデバイス技術
—	環境技術
—	生産性向上技術(AI、IoT、ロボット含む)
—	メタンハイドレート海洋産出
—	食品栽培/LED電球での栽培
—	3Dプリンターの航空宇宙分野への適用

問 15 現在、貴方が取り組んでおられる自然科学・工学・医学・理学系の研究の領域・分野について、該当する選択肢をお選びください（いくつでも） 【「学」会員のみの回答】

情報通信領域	回答数
1. 高速通信、暗号化、人体通信、近距離無線通信等の新たな通信方法	5
2. ワイヤレス給電等の新たな給電方法	3
3. MEMS、マイクロマシン、分子モーター等のデバイス分野	4
4. プリンテッドメモリ、プリンテッドエレクトロニクス等の分野	2
5. 太陽フレア観測、電離層プラズマ観測等の通信障害分野	0
エレクトロニクス領域	
6. 量子コンピュータ分野	3
7. 味覚センサ、五感応用、人工感覚、バイオセンサ、イメージセンサ、磁気センサ、ジャイロセンサ等のセンサ技術分野	4
8. 音声認識、音声合成、ポーカロイド等の分野	4
9. AR・VR・SR・MR、3D投影、遠隔臨場制御、テレグジスタンス等の仮想現実分野	2
10. 有機エレクトロニクス分野	3
11. 音響場、超音波浮揚等の分野	0
12. 熱電変換素子、パワー半導体、不揮発性半導体、ニューロモフィック・デバイス等の半導体デバイス分野	4
13. ロボット分野	5
AI・データ分析領域	
14. 機械学習、深層学習、遺伝的アルゴリズム、ニューラルネットワーク、パセプトロン等の人工知能の基礎分野	5
15. 画像認識、自然言語処理、自動会話システム、翻訳システム等の人工知能の応用分野	5
16. ビッグデータ、データマイニング、多変量解析等のデータサイエンス分野	4
デザイン・生産領域	
17. デジタルモデリング、3D設計、エルゴノミクス、ユニバーサルデザイン、UXデザイン、ハプティック等のデザイン分野	4
18. 単一分子計測、極微量分析、3D計測等の新たな計測、計量方法の分野	3
19. 炭素繊維強化プラスチック、有機金属錯体、セルロースナノファイバー、グラフェン等の新素材、材料の分野	4
移動・交通領域	
20. 運転支援、自動運転分野	4
21. 燃料電池自動車、電気自動車、ハイブリッド自動車等の新動力源の自動車分野	3
22. 交通事故防止システム、協調ITS、モバイル通信等の交通制御システム分野	4
健康・医療領域	
23. DNA修復、ゲノム医療・遺伝子治療(miRNA)、発生工学・再生医療・細胞治療等の分野	3
24. がん医療、オンコロジー分野	3
25. 認知症予防、治療の分野	4
26. 難病治療の分野	2
27. 生殖工学、不妊治療、体外受精等の分野	3
28. プレシジョンメディスン、バイオコンジュゲーション、ドラッグデリバリーシステム等の創薬の分野	1
29. 遠隔医療、遠隔手術、補完代替医療等の新たな医療の提供方法の分野	3
30. 画像診断、生体イメージング、手術ロボット等の先進医療機器分野	3
31. 人工臓器、インプラント、生体親和性材料等の生体材料分野	3
農業、漁業、食糧生産、食品加工領域	
32. 無農薬農業、農業ICT、植物工場等のスマートアグリ分野	1
33. 極限環境生物、超好熱菌、ファイコレメディエーション、環境浄化等の微生物利用分野	2
34. 淡水化、水処理等の途上国を意識した水資源分野	2
35. 魚類養殖、栽培漁業、海洋生物資源、海洋生態系等の分野	1
36. 機能性食品／飲料、醸造食品、発酵食品、調理科学等の分野	2
社会、都市、インフラ領域	
37. マートシティ、ゼロエネルギービル(ZEB)、次世代超高層ビル、地下大空間等の都市利用の分野	2
38. 壁面緑化、屋上緑化、ビル緑化等の都市環境分野	3
39. ランドスケープ工学(景観工学)の分野	3
40. 道路、橋梁、堤防、護岸、トンネル等のインフラ管理・利用の分野	2
エネルギー、環境領域	
41. 太陽光発電、人工光合成、ペロブスカイト等の太陽エネルギー利用の分野	4
42. 地熱発電、バイオマス発電、海洋エネルギー発電、藻類バイオ燃料等の自然エネルギー分野	2
43. メタンハイドレート等の新エネルギー資源の分野	1
44. 核融合の分野	1
45. 大気浄化、CO2分離・回収・地下貯蔵等の分野	2
46. 気象予測、火山活動予測、地震予測等の分野	2
47. 大気圏、水圏、岩圏の総合的研究の分野	1
48. 宇宙商用利用、スペースデブリ除去、スペースラボ、有人宇宙探査等の宇宙開発の分野	0
49. その他()	0

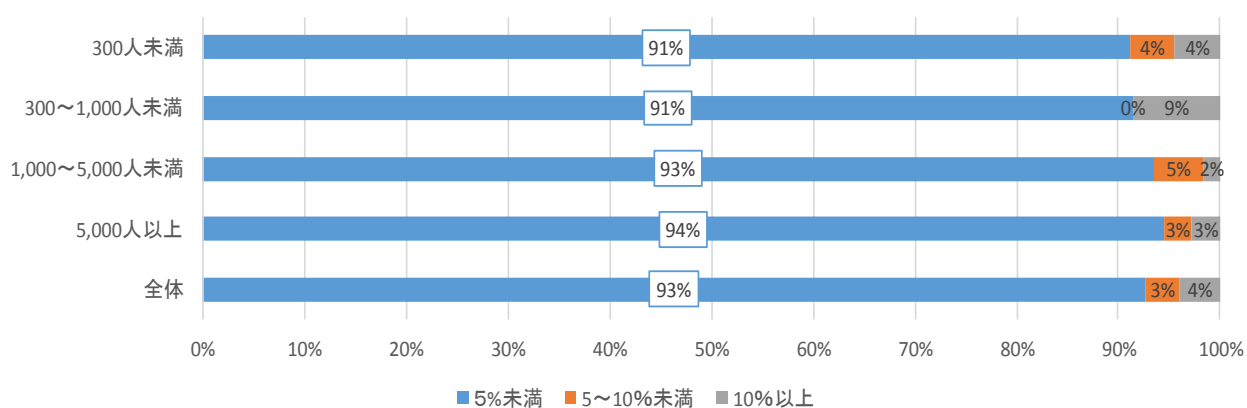
セクション4. 社会のダイバーシティについて

問 16 貴方の外国人の雇用規模について。お尋ねします。

貴方の国内事業場における外国人就業者の就業者全体（正規、非正規を含む全体）に占める割合について、該当する選択肢をお選びください（一つだけ） 【「産」会員のみ】

規模別

	5%未満	5～10%未満	10%以上
300人未満	91%	4%	4%
300～1,000人未満	91%	0%	9%
1,000～5,000人未満	93%	5%	2%
5,000人以上	94%	3%	3%
全体	93%	3%	4%



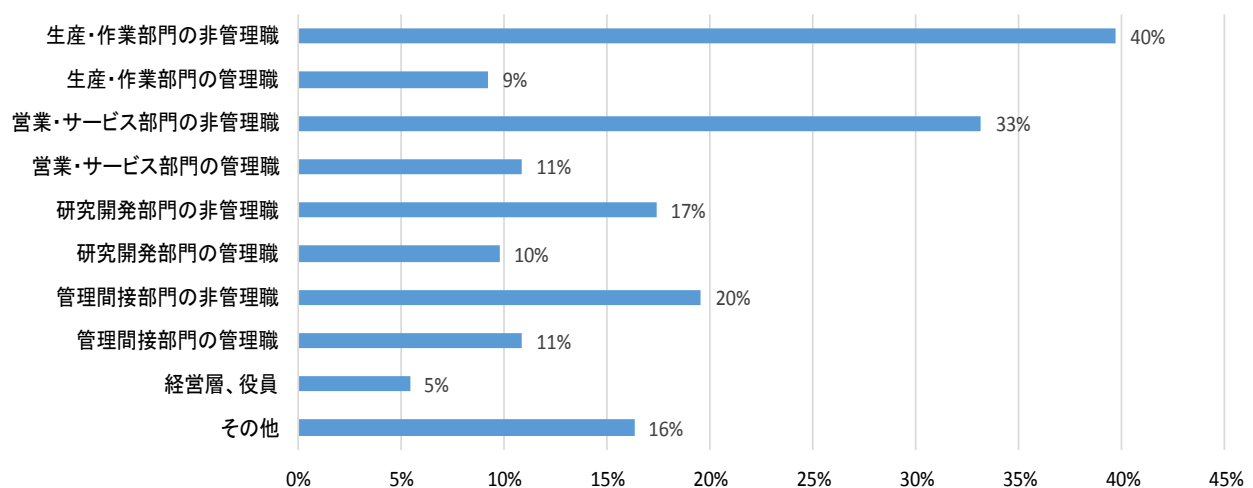
問 17 貴方の外国人の活躍について、お尋ねします。

貴方の国内事業場における外国人就業者の活躍の部門および地位について、該当する選択肢
をお選びください（いくつでも）

【「産」会員のみ】

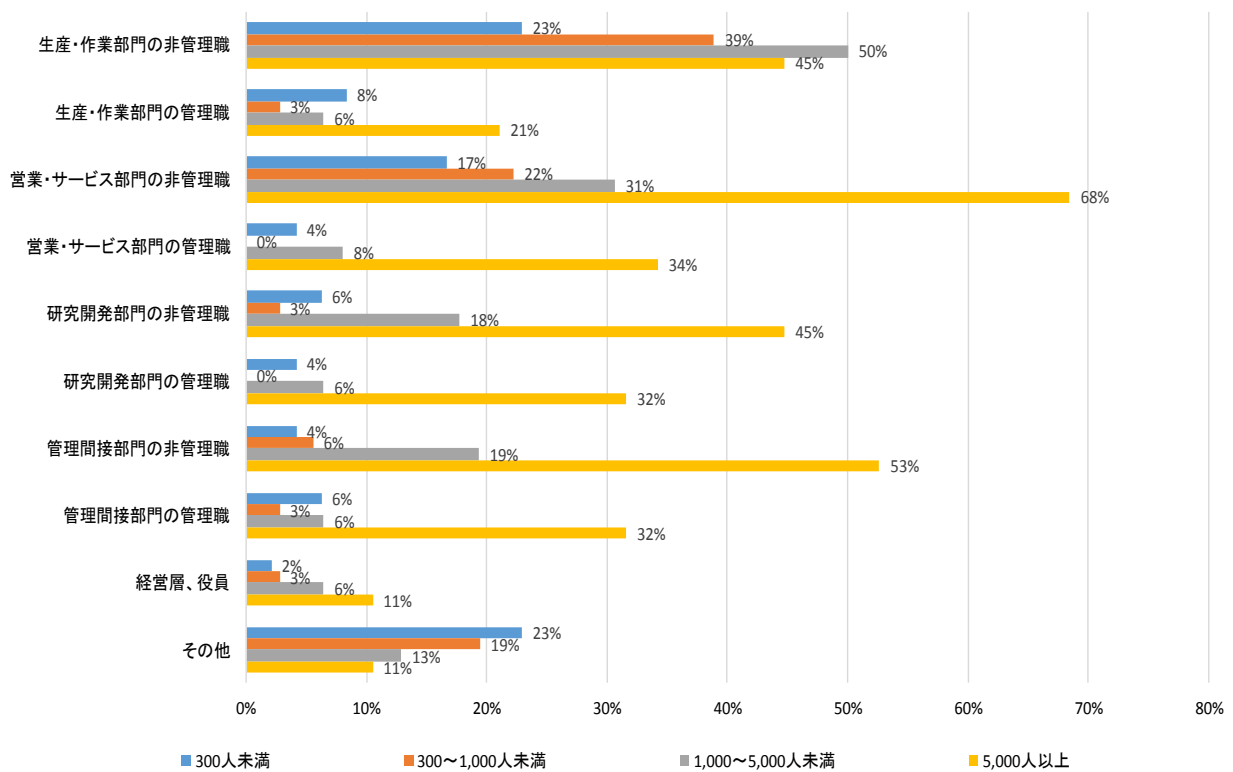
全体

生産・作業部門の非管理職	40%
生産・作業部門の管理職	9%
営業・サービス部門の非管理職	33%
営業・サービス部門の管理職	11%
研究開発部門の非管理職	17%
研究開発部門の管理職	10%
管理間接部門の非管理職	20%
管理間接部門の管理職	11%
経営層、役員	5%
その他	16%



規模別

	300人未満	300～1,000人未満	1,000～5,000人未満	5,000人以上
生産・作業部門の非管理職	23%	39%	50%	45%
生産・作業部門の管理職	8%	3%	6%	21%
営業・サービス部門の非管理職	17%	22%	31%	68%
営業・サービス部門の管理職	4%	0%	8%	34%
研究開発部門の非管理職	6%	3%	18%	45%
研究開発部門の管理職	4%	0%	6%	32%
管理間接部門の非管理職	4%	6%	19%	53%
管理間接部門の管理職	6%	3%	6%	32%
経営層、役員	2%	3%	6%	11%
その他	23%	19%	13%	11%



問 18 貴方の女性の活躍について、お尋ねします。

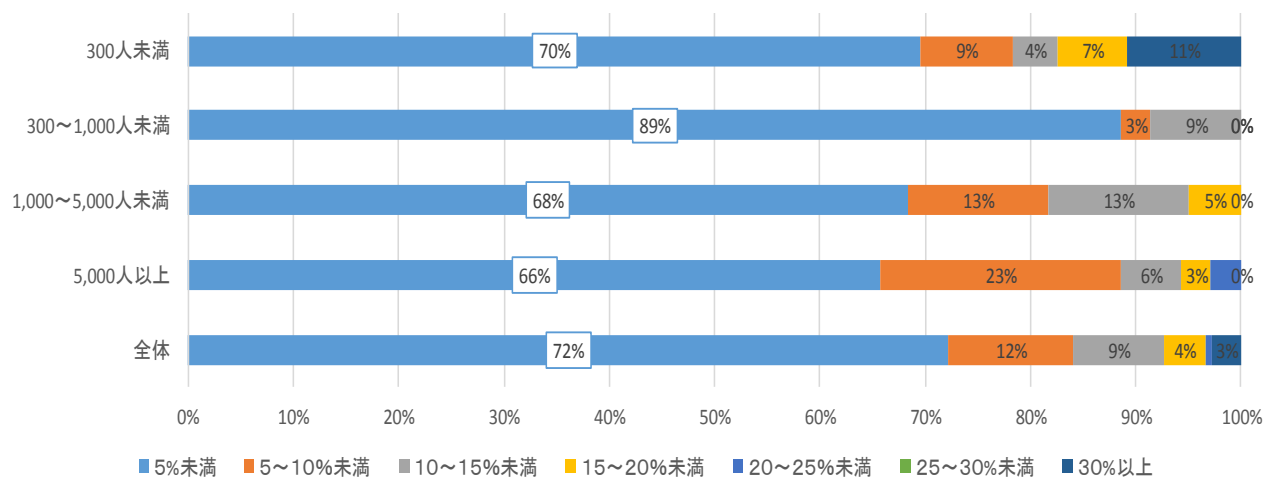
貴方の国内事業場における女性管理職比率について該当する選択肢をお選びください。

(一つだけ)

【「産」会員のみ】

規模別

	5%未満	5～10%未満	10～15%未満	15～20%未満	20～25%未満	25～30%未満	30%以上
300人未満	70%	9%	4%	7%	0%	0%	11%
300～1,000人未満	89%	3%	9%	0%	0%	0%	0%
1,000～5,000人未満	68%	13%	13%	5%	0%	0%	0%
5,000人以上	66%	23%	6%	3%	3%	0%	0%
全体	72%	12%	9%	4%	1%	0%	3%

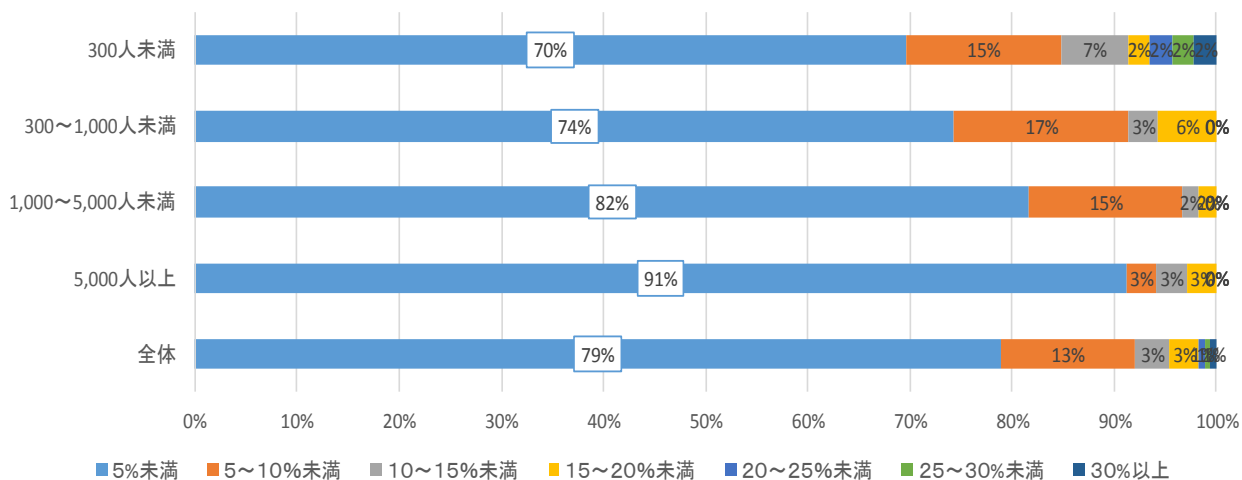


問 19 貴方の高齢者の活躍について、お尋ねします。

貴方の国内事業場における65歳以上の就業者の就業者全体（正規、非正規等を含む全体）に占める割合について、該当する選択肢をお選びください（一つだけ） 【「産」会員のみ】

規模別

	5%未満	5～10%未満	10～15%未満	15～20%未満	20～25%未満	25～30%未満	30%以上
300人未満	70%	15%	7%	2%	2%	2%	2%
300～1,000人未満	74%	17%	3%	6%	0%	0%	0%
1,000～5,000人未満	82%	15%	2%	2%	0%	0%	0%
5,000人以上	91%	3%	3%	3%	0%	0%	0%
全体	79%	13%	3%	3%	1%	1%	1%



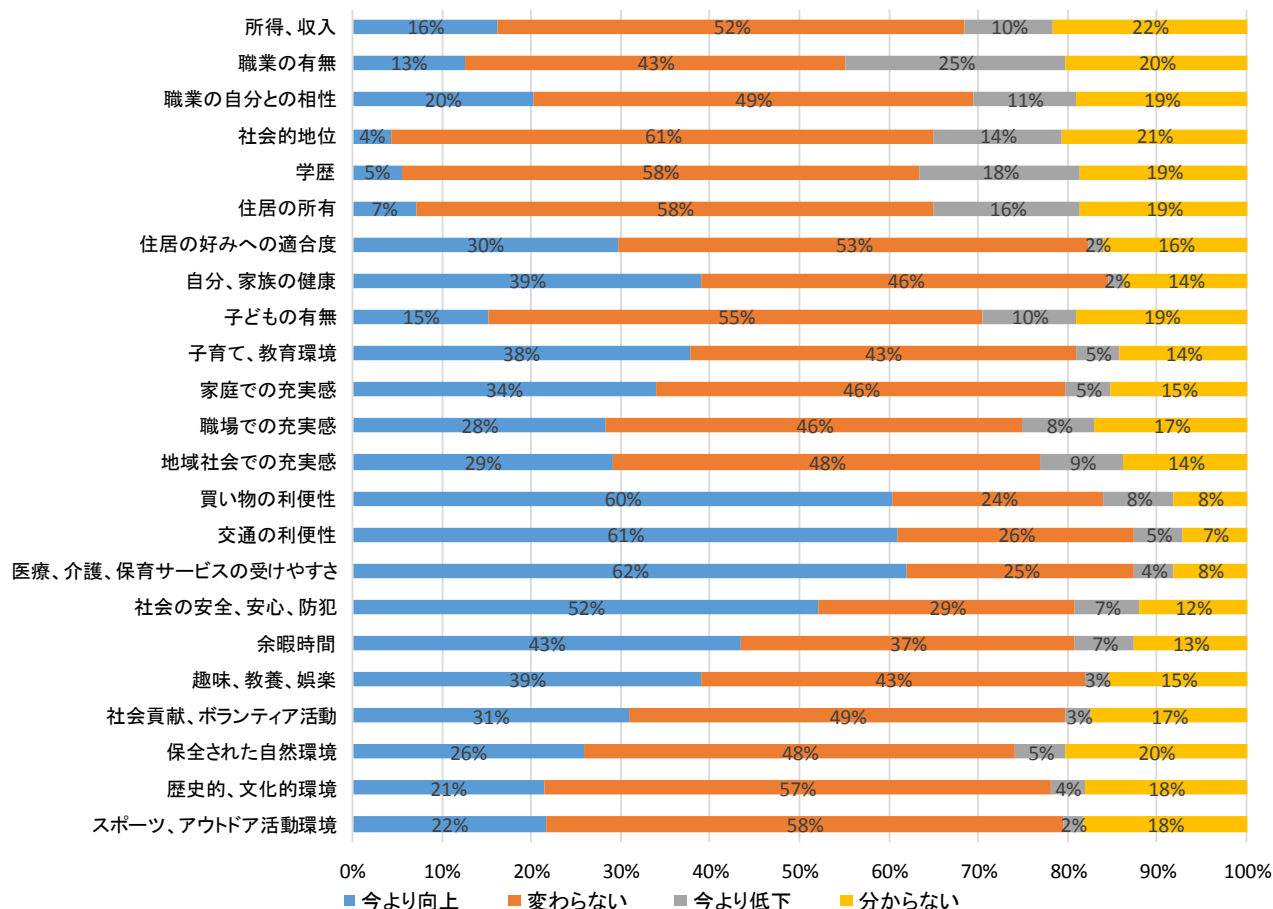
セクション5. 生活者の幸福度に影響を与える要因について

問 20 Society5.0 への移行に伴って生じる生活者の幸福度向上に寄与する要因の変化について、お尋ねします。

下記の表にある各要因の寄与度の変化方向について、お考えに該当する選択肢をお選びください。（各々一つだけ）

【「産」「学」共通】

	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
所得、収入	16%	52%	10%	22%
職業の有無	13%	43%	25%	20%
職業の自分との相性	20%	49%	11%	19%
社会的地位	4%	61%	14%	21%
学歴	5%	58%	18%	19%
住居の所有	7%	58%	16%	19%
住居の好みへの適合度	30%	53%	2%	16%
自分、家族の健康	39%	46%	2%	14%
子どもの有無	15%	55%	10%	19%
子育て、教育環境	38%	43%	5%	14%
家庭での充実感	34%	46%	5%	15%
職場での充実感	28%	46%	8%	17%
地域社会での充実感	29%	48%	9%	14%
買い物の利便性	60%	24%	8%	8%
交通の利便性	61%	26%	5%	7%
医療、介護、保育サービスの受けやすさ	62%	25%	4%	8%
社会の安全、安心、防犯	52%	29%	7%	12%
余暇時間	43%	37%	7%	13%
趣味、教養、娯楽	39%	43%	3%	15%
社会貢献、ボランティア活動	31%	49%	3%	17%
保全された自然環境	26%	48%	5%	20%
歴史的、文化的環境	21%	57%	4%	18%
スポーツ、アウトドア活動環境	22%	58%	2%	18%



セクション6. その他ご意見

Q21 ご意見、ご感想、お気づきの点などがございましたら、どのようなことでも構いませんので、ご自由にご記入ください。 【「産」「学」共通】

意見	産・学別
society5.0につき不勉強のため非常に回答しづらい。会社としての意見というより個人的な感覚です。	産
ICTが進展すると人間らしさが失われることが懸念される。又、理論(コンピューターやデータ上の机上論)が優先されて3現主義(現地・現物・現実)を見失う懸念もある。	産
様々な面で格差の芽を摘んでゆくことが肝要と思います。	産
society5.0について十分理解できていないので回答することが難しいです	産
例えば、高齢化が進む地域のお年寄りにとって、無人運転は交通困難を解消する一方で、対人コミュニケーションの機会喪失となるかもしれません。Society5.0において、真に人間中心の社会を目指すためには、サイバー空間とフィジカル空間の融合のあり方を多面的に議論する必要がある、そのためには産学官民の連携が今まで以上に重要になってくるのではないのでしょうか。	学
期待と不安は多少想像できますが、予測と備えは困難です。大切だと考えているもの・ことは、どんな世の中になっても変わりません。	産
中部経済連合会にてsociety5.0に関する勉強会、講演会を開催していただきたい。	産
society5.0が実現した都市構造とその影響にとっても興味があります。	産
方向性がよくわからない	産
大変有意義で興味深いアンケートです	産
イロハのみならず企業間でもITリテラシーには大きな格差があります。Society5.0の社会でその格差が企業業績の格差につながってしまわないか、心配です。	産
ポジティブな面よりもネガティブな面への不安が今は大きい。あらゆる意味での「分断」が進み、その果てに何が待っているのか。	産
一応回答しましたが、正直なところどう答えてよいのか分からないものが多かったです。	産
正直想像がつかない。	産
日常生活の利便性の向上が期待できる一方で、増加の一途をたどる情報の管理や選別に追われる懸念があります。「豊かさとは何か」が常にここに問われる時代になると考えます。	産
大変興味深いアンケートです。集計・分析結果を楽しみにしています。	学
society5.0の実現に当たっては、個人がその利便性を享受するために、ある1機関(企業)が把握した個人情報、その他を他の機関(企業)でも利用できるような法整備、環境整備が必要だと考えます。	産
society5.0の社会においては、現在の業態の範囲を超えた事業・サービスが実現されるべきものであるため、今日における制度や仕組みは抜本的に見直す必要があると考える。	産
弊社は建設業界に属しており、産官学共同でプロジェクトを立ち上げる等、業界として統一で取り組むことで、効率的で大きな変革をもたらすことが出来ると思います。	産

以上

Ⅲ. アンケート調査表

Society5.0 の実現に関するアンケート

目 次

■ 貴方のプロフィールについて	43
■ セクション1 Society5.0 について	45
■ セクション2 Society5.0 にふさわしい経営のあり方について	48
■ セクション3 研究開発の現在と今後について	52
■ セクション4 社会のダイバーシティーについて	57
■ セクション5 生活者の幸福度に影響を与える要因について	59
■ セクション6 その他ご意見	60

2017年10月

一般社団法人中部経済連合会

■ 貴方のプロフィールについて

1. 貴組織名およびご回答者等について

それぞれの項目につき、回答用紙にご記入下さい。

- | | |
|--------|---------------|
| ① 貴組織名 | ④ 電話番号 |
| ② 役職名 | ⑤ ファックス番号 |
| ③ ご芳名 | ⑥ E-mail アドレス |

2. 貴方のプロフィールについて

それぞれの項目につき、該当する選択肢を、回答用紙にご記入ください。

(1) 業種 (主たるもの一つだけ)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 17. 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 2. 建設業・設備工事業 | 18. 情報通信業 |
| 3. 食品、飲料・たばこ・飼料製造業 | 19. 運輸業、郵便業 |
| 4. 繊維工業 | 20. 卸売業、小売業 |
| 5. 木材・木製品、家具・装備品製造業 | 21. 金融業、保険業 |
| 6. パルプ・紙・紙加工品製造業 | 22. 不動産業、物品賃貸業 |
| 7. 印刷・同関連業 | 23. 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 8. 化学工業 | 24. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 9. 石油・石炭製品、プラスチック、ゴム製品製造業 | 25. 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 10. なめし革・同製品・毛皮製造業 | 26. 教育、学習支援業 |
| 11. 窯業・土石製品製造業 | 27. 医療、福祉 |
| 12. 鉄鋼、非鉄金属、金属製品製造業 | 28. 複合サービス業 |
| 13. はん用・生産用・業務用機械製造業 | 29. サービス（他に分類されないもの） |
| 14. 電子部品、電気機械、情報通信機械製造業 | |
| 15. 輸送用機械製造業 | |
| 16. その他の製造業 | |

(2) 従業員数（常時使用している従業員数）（一つだけ）

- | |
|--------------------|
| 1. 300 人未満 |
| 2. 300～1,000 人未満 |
| 3. 1,000～5,000 人未満 |
| 4. 5,000 人以上 |

以降の質問のご回答上のお願

- このアンケートは、会員が「産」と「学」の大きく2つの部門に分かれることを意識しています。

「産」 … 企業、団体、商工会議所等の産業界の会員

「学」 … 学校法人の会員

- 各質問の向け先は「産」か「学」が明示されています。案内に従ってご回答ください。

■ セクション 1 Society5.0 について

このセクションでは、Society5.0 に対するご認識やご関心などについて、お伺いします。お答えは別添の回答用紙にご記入ください

(Society5.0 という言葉の認識度)

【「産」「学」共通の質問】

問 1 Society5.0 という言葉に対するご認識について、お尋ねします。該当する選択肢をお選びください。(一つだけ)

《選択肢》

1. 知らない
2. 聞いたことはあるが、詳しくはわからない
3. ある程度知っている
4. よく知っている
5. その他 ()

(Society5.0 に対する期待)

【「産」「学」共通の質問】

問 2 Society5.0 とは、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、超スマート社会であって、①サイバー空間とフィジカル空間の高度な融合、②経済的発展と社会的課題の解決の両立、③質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会であるとされます。(詳しくは別添参考をご覧ください)

これを踏まえて、Society5.0 に対する貴方のご期待について、お尋ねします。お考えに該当する選択肢をお選びください。(いくつでも)

《選択肢》

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 経済産業活動のスマートさの向上 | 9. 生活の利便性・Q O L の向上 |
| 2. 移動、交通、物流システムのスマートさの向上 | 10. 健康寿命の延伸、難病の克服 |
| 3. エネルギー供給のスマートさの向上 | 11. 人々の幸福度の向上、人生の進路選択の多様化 |
| 4. インフラの維持管理・利用のスマートさの向上 | 12. 社会の多様性の向上、多文化共生の進展 |
| 5. 行政サービスのスマートさの向上 | 13. 地球環境保全、地球温暖化防止の進展 |
| 6. 医療・介護・福祉・教育・子育てのスマートさの向上 | 14. シェアリングエコノミーの進展 |
| 7. 新たな産業の登場 | 15. 資源循環型社会の進展 |
| 8. 防災・減災、社会の安全・安心の向上 | 16. その他 () |

問3 Society5.0 に対する貴方のご不安について、お尋ねします。お考えに該当する選択肢をお選びください。(いくつかでも)

《選択肢》

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 多くの職業の消滅、失業の発生 | 9. 生活のゆとりの減少 |
| 2. 所得格差の拡大 | 10. あまりにも素早い社会の変化 |
| 3. I Tリテラシーの個人間格差の拡大 | 11. ビジネスモデルの激変による日本企業の衰退 |
| 4. サイバー攻撃、サイバー犯罪、知能犯罪の増加 | 12. わが国のものづくりの衰退、国際的な優位性の喪失 |
| 5. 東京一極集中の一層の進展 | 13. 新興国の追い上げ |
| 6. 地域間格差の拡大 | 14. 欧米先進国に対するわが国の遅れの拡大 |
| 7. 過疎地域の一層の増加 | 15. その他 () |
| 8. 人口減少問題、少子高齢化問題の深刻化 | |

問4 ICTの一層の浸透が社会の各分野へ及ぼす影響度について、お尋ねします。

下記の表の各分野が受けると考えられる影響度について、お考えに該当する選択肢をお選びください。(各々につき一つだけ)

社会の各分野	«選択肢»					
	極めて大きい	大きい	やや大きい	少ない	あまりない	分からない
①生産・製造	a	b	c	d	e	f
②物流・運輸	a	b	c	d	e	f
③交通	a	b	c	d	e	f
④金融	a	b	c	d	e	f
⑤流通・小売	a	b	c	d	e	f
⑥サービス提供	a	b	c	d	e	f
⑦エネルギー供給	a	b	c	d	e	f
⑧医療・介護	a	b	c	d	e	f
⑨教育	a	b	c	d	e	f
⑩研究開発	a	b	c	d	e	f
⑪行政サービス	a	b	c	d	e	f
⑫オフィス業務	a	b	c	d	e	f
⑬家庭生活	a	b	c	d	e	f
⑭文化・芸術・スポーツ	a	b	c	d	e	f
⑮観光	a	b	c	d	e	f
⑯農林水産業	a	b	c	d	e	f
⑰社会インフラ	a	b	c	d	e	f
⑱都市基盤	a	b	c	d	e	f
⑲その他 ()	a	b	c	d	e	f

■ セクション2 Society5.0 にふさわしい経営のあり方について

このセクションでは、Society5.0 への移行に伴って生じる貴方の経営のあり方の変化について、お考えをお伺いします。
お答えは別添の回答用紙にご記入ください。

（経営方針や経営施策のプライオリティーの変化）

【「産」の会員への質問】

問5 Society5.0 への移行に伴って生じる貴方の経営施策等のプライオリティーの変化について、お尋ねします。

下記の表にある各経営方針や経営施策のプライオリティーの変化方向について、お考えに該当する選択肢をお選びください。（各々につき一つだけ）

経営方針や経営施策	«選択肢»			
	今より向上	変わらない	今より低下	分らない
①スピーディーな意思決定	a	b	c	d
②柔軟な実行・中断・撤退	a	b	c	d
③集権的企業統治	a	b	c	d
④分権的企業統治	a	b	c	d
⑤コンプライアンス、法令順守、企業規律	a	b	c	d
⑥ビジネスモデルの革新	a	b	c	d
⑦新ビジネスの開拓	a	b	c	d
⑧研究開発	a	b	c	d
⑨デジタルエコノミーへの対応	a	b	c	d
⑩ICTの利活用	a	b	c	d
⑪サイバー攻撃からの防衛	a	b	c	d
⑫製品・サービスの生産能力の増強	a	b	c	d
⑬製品・サービスの生産性向上	a	b	c	d
⑭製品・サービスの差別化	a	b	c	d
⑮製品・サービスのイノベーション	a	b	c	d
⑯生産方法・サービス提供方法のイノベーション	a	b	c	d
⑰国際化、海外展開	a	b	c	d
⑱雇用の維持	a	b	c	d
⑲ブランド戦略	a	b	c	d
⑳ソフトウェア開発	a	b	c	d
㉑社会的責任投資	a	b	c	d
㉒資源リサイクル・リユース	a	b	c	d
㉓地球環境保全	a	b	c	d
㉔その他（ ）	a	b	c	d

（経営資源のプライオリティーの変化）

【「産」の会員への質問】

問 6 Society5.0 への移行に伴って生じる貴方の経営資源のプライオリティーの変化について、お尋ねします。

下記の表にある各経営資源のプライオリティーの変化方向について、お考えに該当する選択肢をお選びください。

（各々につき一つだけ）

経営資源	«選択肢»			
	今より向上	変わらない	今より低下	分らない
①人材	a	b	c	d
②生産事業場	a	b	c	d
③営業事業場	a	b	c	d
④研究開発事業場	a	b	c	d
⑤経営資金、キャッシュフロー	a	b	c	d
⑥生産関係データ、情報	a	b	c	d
⑦営業関係データ、情報	a	b	c	d
⑧研究開発関係データ、情報	a	b	c	d
⑨生産関係ソフトウェア	a	b	c	d
⑩営業関係ソフトウェア	a	b	c	d
⑪研究開発関係ソフトウェア	a	b	c	d
⑫技術・ノウハウ、デザイン、意匠等の知財	a	b	c	d
⑬技術標準、各種プラットフォーム	a	b	c	d
⑭経営各層の社外人脈、人的関係	a	b	c	d
⑮企業間の提携関係、資本関係	a	b	c	d
⑯その他（ ）	a	b	c	d

（部門や職種のプライオリティーの変化）

【「産」の会員への質問】

問7 Society5.0 への移行に伴って生じる貴方組織における部門や職種のプライオリティーの変化について、お尋ねします。

下記の表にある各部門や職種のプライオリティーの変化方向について、お考えに該当する選択肢をお選びください。
（各々につき一つだけ）

部門や職種	«選択肢»			
	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
①経営戦略、企業統治	a	b	c	d
②コンプライアンス、法令順守、企業規律	a	b	c	d
③マーケティング、市場開拓、市場分析	a	b	c	d
④ブランド戦略、企業宣伝	a	b	c	d
⑤財務、資金調達	a	b	c	d
⑥税務、タックスプランニング	a	b	c	d
⑦資材調達、サプライチェーン	a	b	c	d
⑧デザイン・設計	a	b	c	d
⑨生産、製造	a	b	c	d
⑩営業、販売	a	b	c	d
⑪サービス提供	a	b	c	d
⑫製品・サービスの研究開発	a	b	c	d
⑬生産方法・技術の研究開発	a	b	c	d
⑭ソフトウェア開発、ソフトウェアエンジニア	a	b	c	d
⑮データ開発、データサイエンティスト	a	b	c	d
⑯その他（ ）	a	b	c	d

（人材の能力特性のプライオリティーの変化）

【「産」の会員への質問】

問8 Society5.0 への移行に伴って生じる貴方が期待する人材の能力特性のプライオリティーの変化について、お尋ねします。

下記の表にある人材の各能力特性のプライオリティーの変化方向について、お考えに該当する選択肢をお選びください。（各々につき一つだけ）

人材の能力特性	«選択肢»			
	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
①コミュニケーション能力	a	b	c	d
②協調性	a	b	c	d
③自主性、積極性	a	b	c	d
④円満な人格	a	b	c	d
⑤バランス感覚	a	b	c	d
⑥異能、際立った才能	a	b	c	d
⑦独創的な発想力	a	b	c	d
⑧論理的・体系的な思考力	a	b	c	d
⑨洞察力、分析力	a	b	c	d
⑩観察力、気づき力	a	b	c	d
⑪責任感	a	b	c	d
⑫面倒見の良さ	a	b	c	d
⑬柔軟性	a	b	c	d
⑭実行力、やり遂げる力	a	b	c	d
⑮コーディネート力、調整力	a	b	c	d
⑯説得力、交渉力	a	b	c	d
⑰リーダーシップ	a	b	c	d
⑱フォロアーシップ	a	b	c	d
⑲企画力、立案力	a	b	c	d
⑳計画力、段取り力	a	b	c	d
㉑提案力	a	b	c	d
㉒問題発見力	a	b	c	d
㉓問題解決力	a	b	c	d
㉔課題形成力	a	b	c	d
㉕語学力	a	b	c	d
㉖地頭力	a	b	c	d
㉗その他（ ）	a	b	c	d

■ セクション3 研究開発の現在と今後について

このセクションでは、研究開発の現在と今後について、お伺いします。お答えは別添の回答用紙にご記入ください。

(現在の研究開発の領域・分野)

【「産」の会員への質問】

問9 現在、貴方が取り組んでおられる研究開発の領域・分野について、該当する選択肢をお選びください。(いくつでも)

«選択肢»

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 農業、水産資源、食糧生産、水 | 9. ネットサービス、eコマース、アプリ |
| 2. 食品、新食品、食品加工 | 10. 運輸、ロジスティクス、交通、モビリティ |
| 3. 建設、建築、土木、都市開発 | 11. 金融 |
| 4. 材料、新素材、化学 | 12. 生活、文化、サービス |
| 5. 電気機械、輸送用機械、工作機械、動力機械 | 13. バイオ、医療・健康、医薬品、医療機器 |
| 6. エレクトロニクス、半導体、素子 | 14. 航空宇宙 |
| 7. エネルギー、資源 | 15. 海洋開発 |
| 8. 情報通信 | 16. その他 () |

(今後の研究開発の領域・分野)

【「産」の会員への質問】

問10 今後、貴方が取り組むお考えの研究開発の領域・分野について、該当する選択肢をお選びください。(いくつでも)

«選択肢»

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 農業、水産資源、食糧生産、水 | 9. ネットサービス、eコマース、アプリ |
| 2. 食品、新食品、食品加工 | 10. 運輸、ロジスティクス、交通、モビリティ |
| 3. 建設、建築、土木、都市開発 | 11. 金融 |
| 4. 材料、新素材、化学 | 12. 生活、文化、サービス |
| 5. 電気機械、輸送用機械、工作機械、動力機械 | 13. バイオ、医療・健康、医薬品、医療機器 |
| 6. エレクトロニクス、半導体、素子 | 14. 航空宇宙 |
| 7. エネルギー、資源 | 15. 海洋開発 |
| 8. 情報通信 | 16. その他 () |

（現在の研究開発の目的・ねらい）

【「産」の会員への質問】

問 1 1 現在、貴方が取り組んでおられる研究開発の目的・ねらいについて、該当する選択肢をお選びください。（いくつでも）

《選択肢》

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. 本業の基礎固め、基盤強化 | 10. V R（仮想現実）等の本業での利活用 |
| 2. 本業の新たな製品・サービス・製法等の革新 | 11. インターネット環境を使った新ビジネスモデル開拓 |
| 3. 本業の生産性向上 | 12. シェアリングエコノミーに適した新ビジネスモデル開拓 |
| 4. 本業の他社との差別化、独創性強化 | 13. 地球環境に配慮した新ビジネスモデル開拓 |
| 5. I C Tの本業での利活用 | 14. 資源節減・リサイクルを意識した新ビジネスモデル開拓 |
| 6. A I（人工知能）の本業での利活用 | 15. 新ビジネス創造、フロンティア開拓、事業領域変革 |
| 7. ビッグデータの本業での利活用 | 16. サイバー攻撃からの防衛 |
| 8. I o Tの本業での利活用 | 17. その他（ ） |
| 9. ロボットの本業での利活用 | |

（今後の研究開発の目的・ねらい）

【「産」の会員への質問】

問 1 2 今後、貴方が取り組むお考えの研究開発の目的・ねらいについて、該当する選択肢をお選びください。（いくつでも）

《選択肢》

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. 本業の基礎固め、基盤強化 | 10. V R（仮想現実）等の本業での利活用 |
| 2. 本業の新たな製品・サービス・製法等の革新 | 11. インターネット環境を使った新ビジネスモデル開拓 |
| 3. 本業の生産性向上 | 12. シェアリングエコノミーに適した新ビジネスモデル開拓 |
| 4. 本業の他社との差別化、独創性強化 | 13. 地球環境に配慮した新ビジネスモデル開拓 |
| 5. I C Tの本業での利活用 | 14. 資源節減・リサイクルを意識した新ビジネスモデル開拓 |
| 6. A I（人工知能）の本業での利活用 | 15. 新ビジネス創造、フロンティア開拓、事業領域変革 |
| 7. ビッグデータの本業での利活用 | 16. サイバー攻撃からの防衛 |
| 8. I o Tの本業での利活用 | 17. その他（ ） |
| 9. ロボットの本業での利活用 | |

(わが国が一層力を注ぐべき研究領域・分野)

【「産」「学」共通の質問】

問 1 3 今後、国か民間かを問わず、わが国が一層力を注ぐべきとお考えの研究領域・分野について、該当する選択肢をお選びください。(いくつでも)

«選択肢»

1. 情報科学等のサイバー空間に関する基礎研究
2. I C T、I o T等のサイバー空間の開発、利用
3. ネットサービス、eコマース等のサイバー空間上でのビジネス開発
4. データ分析、A I、ロボット等
5. エレクトロニクス
6. 材料、新素材
7. 都市基盤、交通、モビリティ、インフラ
8. 医学・生理学、健康科学、人体、創薬
9. 脳科学、認知科学、学習メカニズム、教育メソッド
10. 新エネルギー、新資源
11. 食糧生産、水、農業、水産業
12. 海洋利用・海洋資源開発
13. 宇宙利用
14. 地震、火山活動、風水害等の自然災害の予測、防災、減災
15. 地球環境保全、温暖化防止、持続可能性
16. 地球資源の枯渇防止、リサイクル利用
17. 物理学、化学、生物学、天文学等の自然科学
18. 経済学、経営学、社会学等の社会科学
19. 産業技術、工学、オペレーションズリサーチ等の実学、応用科学
20. 文化、芸術、スポーツ
21. 国際情勢分析、安全保障研究
22. その他 ()

(関心をお持ちの企業あるは研究機関)

【「産」の会員への質問】

問 1 4 貴方が注目あるいは関心をお持ちの研究をしている企業や研究機関と研究テーマについて、差支えない範囲でお教えてください。

問 1 5 現在、貴方が取り組んでおられる自然科学・工学・医学・理学系の研究の領域・分野について、該当する選択肢をお選びください。(いくつでも)

《選択肢》

= 情報通信領域 =

1. 高速通信、暗号化、人体通信、近距離無線通信等の新たな通信方法
2. ワイヤレス給電等の新たな給電方法
3. M E M S、マイクロマシン、分子モーター等のデバイス分野
4. プリンテッドメモリ、プリンテッドエレクトロニクス等の分野
5. 太陽フレア観測、電離層プラズマ観測等の通信障害分野

= エレクトロニクス領域 =

6. 量子コンピュータ分野
7. 味覚センサ、五感応用、人工感覚、バイオセンサ、イメージセンサ、磁気センサ、ジャイロセンサ等のセンサ技術分野
8. 音声認識、音声合成、ボコーロイド等の分野
9. AR・VR・SR・MR、3D 投影、遠隔臨場制御、テレグジスタンス等の仮想現実分野
10. 有機エレクトロニクス分野
11. 音響場、超音波浮揚等の分野
12. 熱電変換素子、パワー半導体、不揮発性半導体、ニューロモフィック・デバイス等の半導体デバイス分野
13. ロボット分野

= AI・データ分析領域 =

14. 機械学習、深層学習、遺伝的アルゴリズム、ニューラルネットワーク、パセプトロン等の人工知能の基礎分野
15. 画像認識、自然言語処理、自動会話システム、翻訳システム等の人工知能の応用分野
16. ビッグデータ、データマイニング、多変量解析等のデータサイエンス分野

= デザイン・生産領域 =

17. デジタルモデリング、3D 設計、エルゴノミクス、ユニバーサルデザイン、UX デザイン、ハプティック等のデザイン分野
18. 単一分子計測、極微量分析、3D 計測等の新たな計測、計量方法の分野
19. 炭素繊維強化プラスチック、有機金属錯体、セルロースナノファイバー、グラフェン等の新素材、材料の分野

= 移動・交通領域 =

20. 運転支援、自動運転分野
21. 燃料電池自動車、電気自動車、ハイブリッド自動車等の新動力源の自動車分野
22. 交通事故防止システム、協調 ITS、モバイル通信等の交通制御システム分野

= 健康・医療領域 =

23. DNA 修復、ゲノム医療・遺伝子治療 (miRNA)、発生工学・再生医療・細胞治療等の分野
24. がん医療、オンコロジー分野
25. 認知症予防、治療の分野
26. 難病治療の分野
27. 生殖工学、不妊治療、体外受精等の分野

- 28. プレシジョンメディスン、バイオコンジュゲーション、ドラッグデリバリーシステム等の創薬の分野
 - 29. 遠隔医療、遠隔手術、補完代替医療等の新たな医療の提供方法の分野
 - 30. 画像診断、生体イメージング、手術ロボット等の先進医療機器分野
 - 31. 人工臓器、インプラント、生体親和性材料等の生体材料分野
- = 農業、漁業、食糧生産、食品加工領域 =
- 32. 無農薬農業、農業 ICT、植物工場等のスマートアグリ分野
 - 33. 極限環境生物、超好熱菌、ファイコレメディエーション、環境浄化等の微生物利用分野
 - 34. 淡水化、水処理等の途上国を意識した水資源分野
 - 35. 魚類養殖、栽培漁業、海洋生物資源、海洋生態系等の分野
 - 36. 機能的食品／飲料、醸造食品、発酵食品、調理科学等の分野
- = 社会、都市、インフラ領域 =
- 37. マートシティ、ゼロエネルギービル（ZEB）、次世代超高層ビル、地下大空間等の都市利用の分野
 - 38. 壁面緑化、屋上緑化、ビル緑化等の都市環境分野
 - 39. ランドスケープ工学（景観工学）の分野
 - 40. 道路、橋梁、堤防、護岸、トンネル等のインフラ管理・利用の分野
- = エネルギー、環境領域 =
- 41. 太陽光発電、人工光合成、ペロブスカイト等の太陽エネルギー利用の分野
 - 42. 地熱発電、バイオマス発電、海洋エネルギー発電、藻類バイオ燃料等の自然エネルギー分野
 - 43. メタンハイドレート等の新エネルギー資源の分野
 - 44. 核融合の分野
 - 45. 大気浄化、CO₂ 分離・回収・地下貯蔵等の分野
 - 46. 気象予測、火山活動予測、地震予測等の分野
 - 47. 大気圏、水圏、岩圏の総合的研究の分野
 - 48. 宇宙商用利用、スペースデブリ除去、スペースラボ、有人宇宙探査等の宇宙開発の分野
 - 49. その他（ ）

■セクション4 社会のダイバーシティーについて

このセクションでは、Society5.0 に期待される社会のダイバーシティーについて、お伺いします。お答えは別添の回答用紙にご記入ください。

(外国人雇用)

【「産」の会員への質問】

問16 貴方の外国人の雇用規模について、お尋ねします。

貴方の国内事業場における外国人就業者の就業者全体（正規、非正規等を含む全体）に占める割合について、該当する選択肢をお選びください。（一つだけ）

《選択肢》

1. 5%未満
2. 5～10%未満
3. 10%以上

(外国人の活躍)

【「産」の会員への質問】

問17 貴方の外国人の活躍について、お尋ねします。

貴方の国内事業場における外国人就業者の活躍の部門および地位について、該当する選択肢をお選びください。（いくつでも）

《選択肢》

1. 生産・作業部門の非管理職
2. 生産・作業部門の管理職
3. 営業・サービス部門の非管理職
4. 営業・サービス部門の管理職
5. 研究開発部門の非管理職
6. 研究開発部門の管理職
7. 管理間接部門の非管理職
8. 管理間接部門の管理職
9. 経営層、役員
10. その他（ ）

（女性の活躍）

【「産」の会員への質問】

問 1 8 貴方の女性の活躍について、お尋ねします。

貴方の国内事業場における女性管理職比率について、該当する選択肢をお選びください。（一つだけ）

«選択肢»

1. 5%未満
2. 5～10%未満
3. 10～15%未満
4. 15～20%未満
5. 20～25%未満
6. 25～30%未満
7. 30%以上

（高齢者の活躍）

【「産」の会員への質問】

問 1 9 貴方の高齢者の活躍について、お尋ねします。

貴方の国内事業場における65歳以上の就業者の就業者全体（正規、非正規等を含む全体）に占める割合について、該当する選択肢をお選びください。（一つだけ）

«選択肢»

1. 5%未満
2. 5～10%未満
3. 10～15%未満
4. 15～20%未満
5. 20～25%未満
6. 25～30%未満
7. 30%以上

■ セクション5 生活者の幸福度に影響を与える要因について

このセクションでは、Society5.0 における生活者の幸福度に影響を与える要因について、お伺いします。お答えは別添の回答用紙にご記入ください。

（幸福度に影響を与える要因）

【「産」「学」共通の質問】

問20 Society5.0 への移行に伴って生じる生活者の幸福度向上に寄与する要因の変化について、お尋ねします。

下記の表にある各要因の寄与度の変化方向について、お考えに該当する選択肢をお選びください。（各々につき一つだけ）

幸福度向上に寄与する要因	«選択肢»			
	今より向上	変わらない	今より低下	分からない
①所得、収入	a	b	c	d
②職業の有無	a	b	c	d
③職業の自分との相性	a	b	c	d
④社会的地位	a	b	c	d
⑤学歴	a	b	c	d
⑥住居の所有	a	b	c	d
⑦住居の好みへの適合度	a	b	c	d
⑧自分、家族の健康	a	b	c	d
⑨子供の有無	a	b	c	d
⑩子育て、教育環境	a	b	c	d
⑪家庭での充実感	a	b	c	d
⑫職場での充実感	a	b	c	d
⑬地域社会での充実感	a	b	c	d
⑭買い物の利便性	a	b	c	d
⑮交通の利便性	a	b	c	d
⑯医療、介護、保育サービスの受けやすさ	a	b	c	d
⑰社会の安全、安心、防犯	a	b	c	d
⑱余暇時間	a	b	c	d
⑲趣味、教養、娯楽	a	b	c	d
⑳社会貢献、ボランティア活動	a	b	c	d
㉑保全された自然環境	a	b	c	d
㉒歴史的、文化的環境	a	b	c	d
㉓スポーツ、アウトドア活動環境	a	b	c	d
㉔その他（ ）	a	b	c	d

■ セクション6 その他ご意見

このセクションでは、ご自由なご意見を頂戴したいと存じます。 お答えは別添の回答用紙にご記入ください。

(ご意見)

【「産」「学」共通の質問】

問 2 1 ご意見、ご感想、お気づきの点などがございましたら、どのようなことでも構いませんので、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

別添参考 Society5.0 について

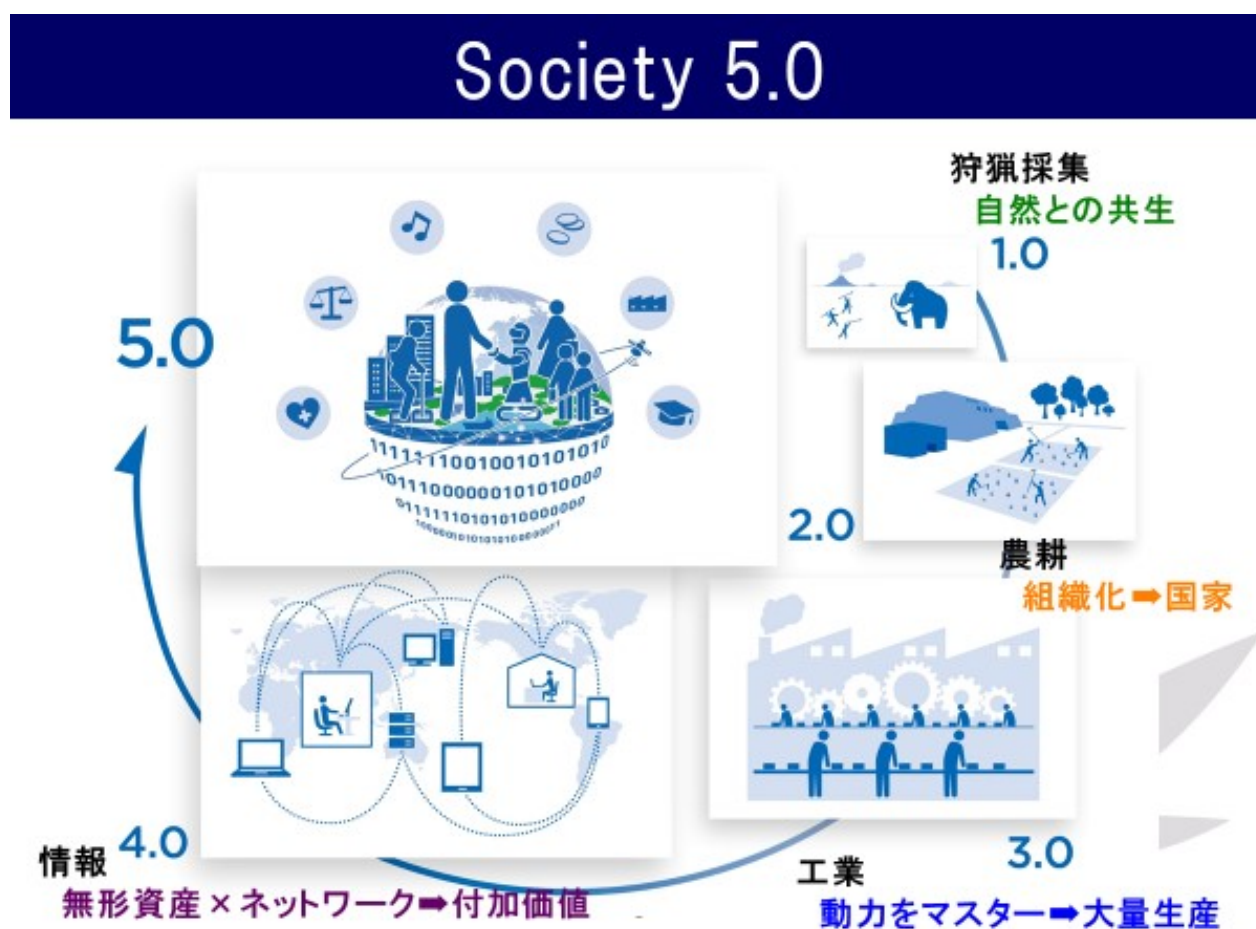
■ Society5.0 とは・・・

必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かく対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な制約を乗り越え、生き生きと快適に暮らすことのできる社会

また、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くような新たな社会を生み出す変革を科学技術イノベーションが先導していく社会

■ 特徴点としては・・・

- ・ 人とロボット・A I の共生
- ・ サービス格差の解消
- ・ オーダーメイド・サービスの実現
- ・ ゲームチェンジ機会の増加



(資料) 第5期科学技術基本計画、平成28年度国土交通白書より引用、加工